

## ⑩第216号住居跡A・B

【位置・検出状況】調査区北部に検出。調査率は100%。掘り込みが浅く、覆土の堆積は希薄。はっきりとした切り合い関係は不明だが、ピットや炉の配置から住居跡2軒が重なっている可能性がある。西側に掘り込み遺構が存在するが、同様に切り合い関係は不明である。

【形状・規模】掘り込みがほとんど無く、壁の立ち上がりも無いため住居範囲は判然としな。ピットの配置から推定すると、Aは300～320cmほどの円形、Bは長軸(370)cm×(350)cmほどの楕円形になると思われる。

【構造】A・B合計14基検出。内10基が柱穴と捉えられ、216号住居跡A・Bともに4本あるいは5本主柱穴と考えられる。

【炉】Aは住居中央に検出。炉体土器を伴い、長軸60cm×短軸(50)cmほどの楕円形で、最深部でも10cm程度の浅い掘り込みである。Bも住居中央に検

出。平面円～楕円形の土坑が3つ連なるように重複しており、南から北へと新しくなる。中央の土坑中層には焼土が厚く堆積しており、作業場を伴う地床炉としての利用が考えられる。

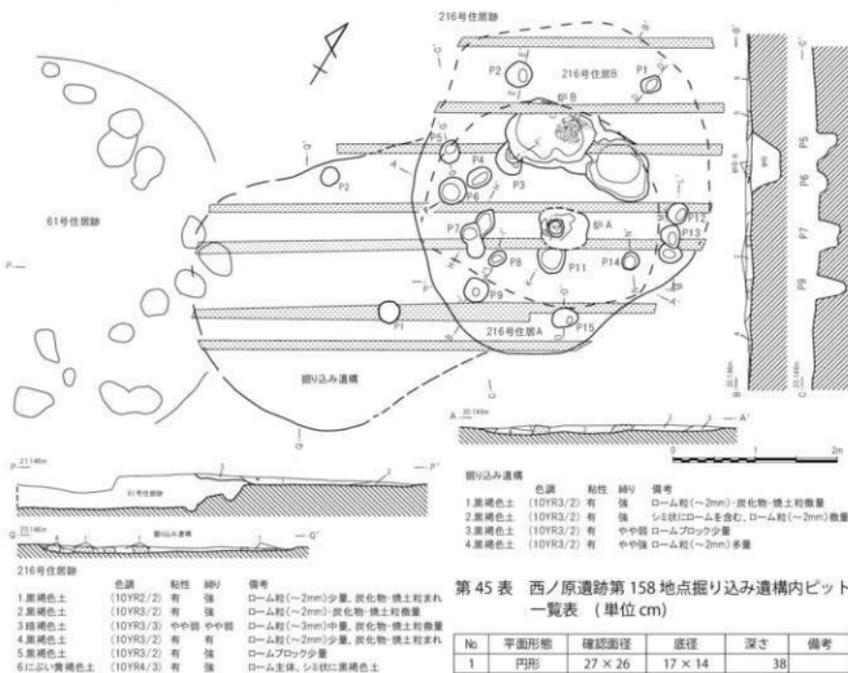
【遺物】No.5はピット7の覆土に半分埋まった状態で出土。その上部には土の堆積を5cmほど挟みNo.2が出土している。炉Bからは、最上層にNo.3がまどまって出土し、同一個体破片も覆土から出土している。また、接合はしないがNo.22と同質の胎土を持つ破片が上層～下層から出土している。

【時期】216号住居跡Aは炉体土器より勝飯Ⅲ式、216号住居跡Bは加曽利EⅢ式と考えられる。

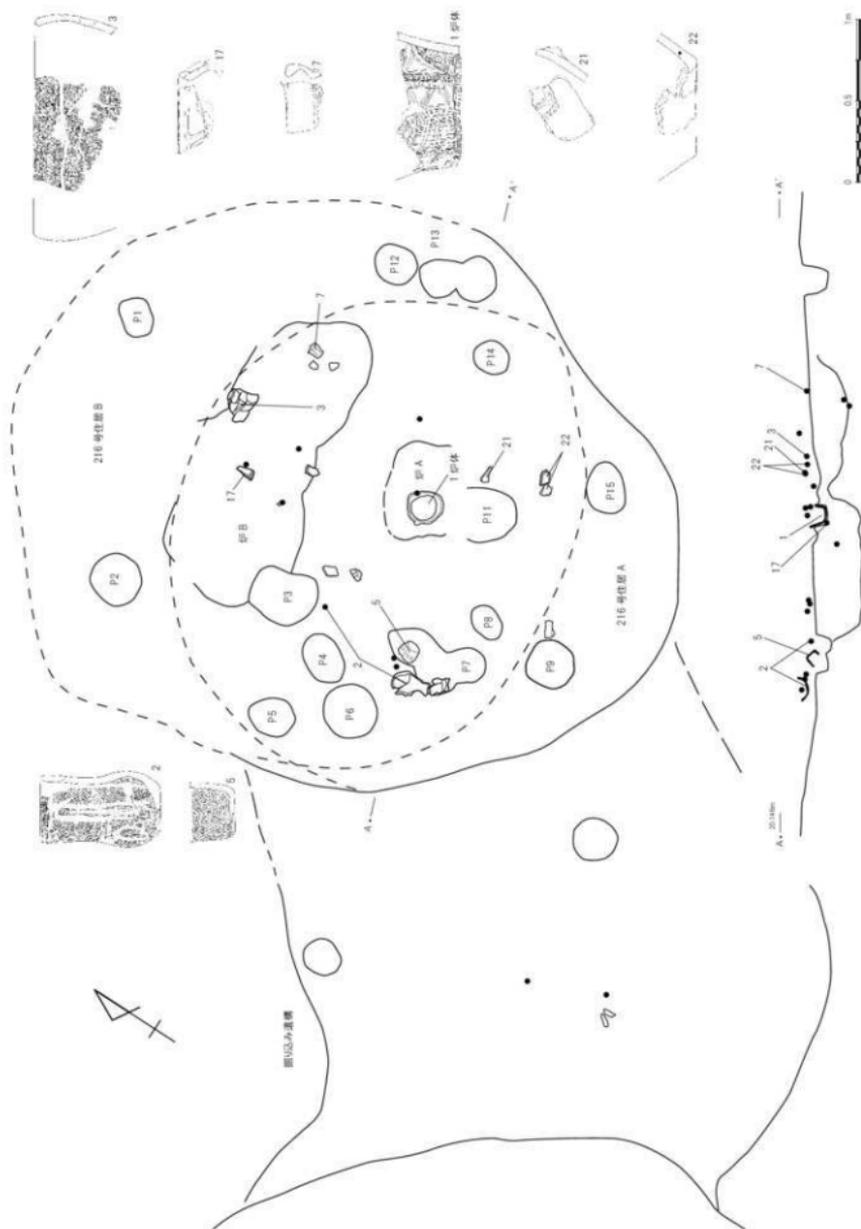
## (2) 掘り込み遺構

【位置・検出状況・所見】調査区北部、61号住居跡、216号住居跡の間に位置する。非常に浅いが、人為的に掘り込んだ痕跡は確認できる。また独立した遺構ではなく、住居に付随する施設である可能性もある。

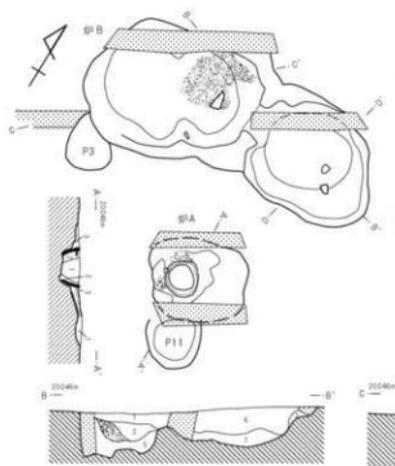
遺構内では遺物も少量だけが出土している。



第68図 西ノ原遺跡第158地点216号住居跡A・B(1/60)



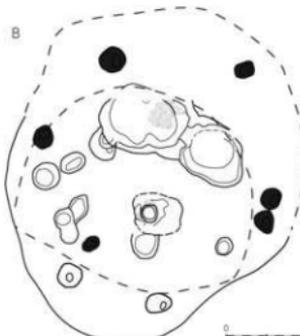
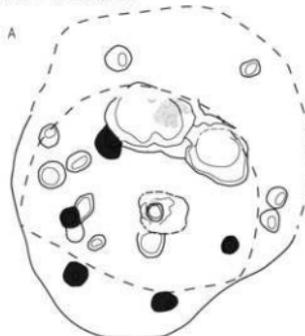
第69図 西ノ原遺跡第158地点216号住居跡A・B、掘り込み遺構遺物出土状況(1/30)



P1~15

ピット	色調	粘性	締り	備考
1 黒褐色土 (10YR3/2)	有	強	ローム粒(～2mm)少量, 炭化物まれ	
2 黒褐色土 (10YR3/2)	強	強	ロームブロック少量	
3 黒褐色土 (10YR3/2)	有	強	ローム粒(～3mm)少量, ロームブロック少量	
4 黒褐色土 (10YR3/2)	強	やや弱	ローム粒(～3mm)少量, 炭化物まれ	
5 黒褐色土 (10YR3/2)	有	強	ロームブロック少量	
6 黒褐色土 (10YR3/2)	有	強	ローム粒(～5mm)少量	
7 黒褐色土 (10YR3/2)	有	強	ローム粒(～2mm)少量, 炭化物まれ	
8 にがい黄褐色土 (10YR4/3)	有	強	ロームブロック少量	
9 黒褐色土 (10YR3/2)	有	強	ローム粒(～3mm)少量	
10 黒褐色土 (10YR3/2)	有	強	ローム粒(～2mm)少量, ロームブロック少量	
11 黒褐色土 (10YR3/2)	有	強	ローム粒(～2mm)少量, ロームブロック少量	
12 黒褐色土 (10YR3/2)	有	強	ロームブロック少量	

216号住居跡A・B柱穴想定図



0 1 2m

第70図 西ノ原遺跡第158地点216号住居跡炉(1/30)、216号住居内ピット(1/60)、A・B住居跡柱穴想定図(1/60)

SP1A

色調	粘性	締り	備考
1 黒褐色土 (10YR3/2)	やや弱	強	ローム粒(～3mm)少量, 炭化物少量
2 黒褐色土 (10YR3/2)	やや弱	強	ローム粒(～3mm)少量, 炭化物少量
3 黒褐色土 (10YR3/2)	やや弱	強	ローム粒(～3mm)少量

SPB

色調	粘性	締り	備考
1 灰青褐色土 (10YR4/2)	有	強	ローム粒(～3mm)少量, 炭化物少量
2 にがい黄褐色土 (10YR4/3)	やや弱	強	ローム粒(～5mm)少量, 炭化物少量
3 にがい黄褐色土 (10YR4/3)	やや弱	強	シラミ状, ブロック状の焼土多量, ローム粒(～5mm)少量, 炭化物少量
4 灰青褐色土 (10YR4/2)	やや弱	有	ローム粒(～5mm)少量, 炭化物少量
5 にがい黄褐色土 (10YR4/3)	有	やや強	シラミ状(ローム), ローム粒(～5mm)少量, 炭化物少量
6 黒褐色土 (10YR3/2)	有	強	ローム粒(～3mm)少量, ロームブロックまれ
7 黒褐色土 (10YR3/2)	有	強	シラミ状(ローム), ローム粒(～3mm)少量
8 黒褐色土 (10YR3/2)	有	やや強	ローム粒(～5mm)少量, 炭化物少量, ロームブロックまれ
9 黒褐色土 (10YR3/2)	やや強	有	ローム粒(～5mm)中量, 炭化物少量

第46表 西ノ原遺跡第158地点216号住居内ピット一覧表 (単位cm)

No.	平面形状	確測面径	底径	深さ	備考
1	方形	24 × 18	17 × 11	17	
2	円形	31 × 30	16 × 9	20.1	
3	不明	(40) × 36	14 × 9	40.8	
4	楕円形	32 × 22	23 × 8	13.4	
5	円形	29 × 25	14 × 11	26	
6	円形	33 × 32	22 × 20	12.2	
7	不整形	50 × (23)	16 × 14	27	
8	楕円形	22 × 15	13 × 7	15.7	
9	円形	29 × 28	10 × 7	36.4	
10欠					跡2に変更
11	円形	38 × 33	25 × 24	6.1	
12	円形	25 × 23	15 × 9	36.7	
13	だるま形	45 × 23	15 × 9	34.6	
14	円形	21 × 20	15 × 13	11.2	
15	楕円形	31 × 22	8 × 6	44.8	

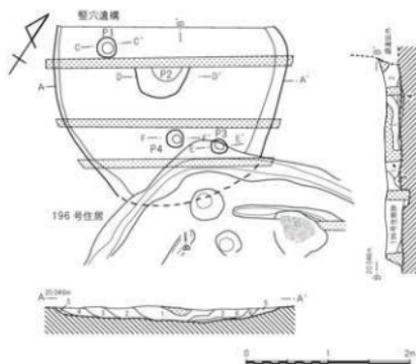
## (3) 竪穴遺構(建物跡)

【位置・検出状況】調査区北部にて1/2を検出。南部で196号住居跡と切り合い、本遺構が古い。

【形状・規模】円～楕円形。検出部で南北(180)cm×東西280cm。深さは201cm程度。血状を呈する。

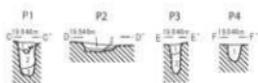
【構造】ピットは4基検出。細く小規模だが、2本は柱穴と考えられる。

遺構中央に血状の掘り込みが存在するが、焼土や被熱は確認できない。がが未検出であり、柱穴も貧弱であることから、住居ないし建物とは考えられない。



【遺物】出土量はさほど多くなく、主体は勝版Ⅲ式であるが、阿玉台式や勝版Ⅱ式もみられる。出土状況からは2ヶ所に集中が見られるが、両者に土器型式の違いは無く、廃棄の方向も共通する。西側の集中部からは、小型の深鉢跡～底部が焼土ブロックを伴って出土した。土器は被熱が顕著で、焼土は土器内部にも入っており、中からこぼれたように周囲に広がっていた。土の詰まった状態で、ほとんど埋まりかけていた当遺構に破壊されたものと思われる。

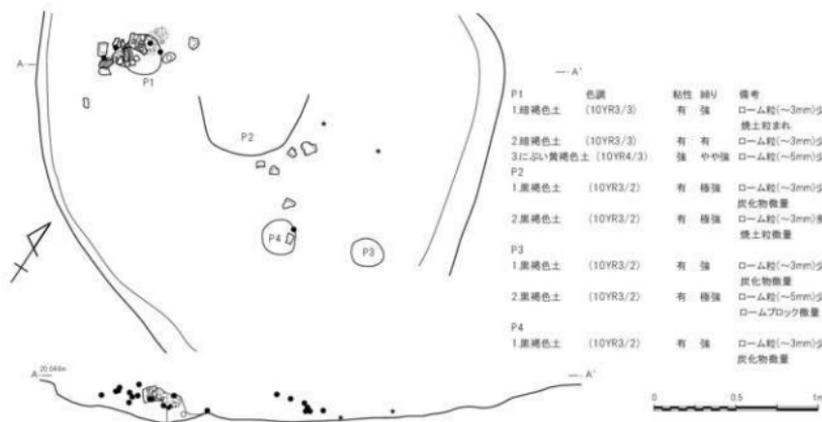
【時期】勝版Ⅲ式。



色調	粘性	締り	備考
1 黒褐色土 (10YR2/2)	有	強	ローム粒(～3mm)少量、焼土粒・炭化物微量
2 黒褐色土 (10YR3/2)	有	極強	ローム粒(～3mm)少量、炭化物微量
3 暗褐色土 (10YR3/3)	有	強	ローム粒(～3mm)少量、炭化物微量
4 暗褐色土 (10YR3/3)	有	強	ローム粒(～5mm)少量、シミ跡に多い黄褐色土
5 暗褐色土 (10YR3/3)	有	有	ローム粒(～3mm)少量、キム跡が多い
6 暗褐色土 (10YR3/3)	有	極強	ロームブロック中量

第47表 西ノ原遺跡第158地点竪穴遺構内ピット一覧表(単位cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
1	円形	25 × 24	15 × 13	45	
2	不明	66 × (36)	37 × (17)	15.1	
3	楕円形	20 × 17	13 × 8	35.7	
4	円形	21 × 20	10 × 10	21.1	



第71図 西ノ原遺跡第158地点竪穴遺構(1/60)、遺物出土状況(1/30)

## ④土坑

土坑は調査区内で4基検出した。詳細については第72図及び第48表参照。

## ①土坑1

調査区北側、第196号住居跡の南側に位置する。出土遺物はない。

## ②土坑2

調査区中央やや南東部、第194号住居跡と第201号住居跡の間に位置する。大部分を擾乱によって破壊されているが、平面形態は楕円形を呈するものと考えられる。出土遺物はない。

第48表 西ノ原遺跡第158地点土坑一覧表 (単位cm)

No.	平面形態	確認直径	底径	深さ	備考
1	楕円形	65×40	11×8	50.1	
2	不明	112×84	94×72	11.9	
3	楕円形	212×128	182×81	53.4	
4	楕円形	108×90	94×77	25.8	

## ③土坑3

調査区中央部よりやや南、第194号住居跡の西側に位置する。出土遺物はない。

## ④土坑4

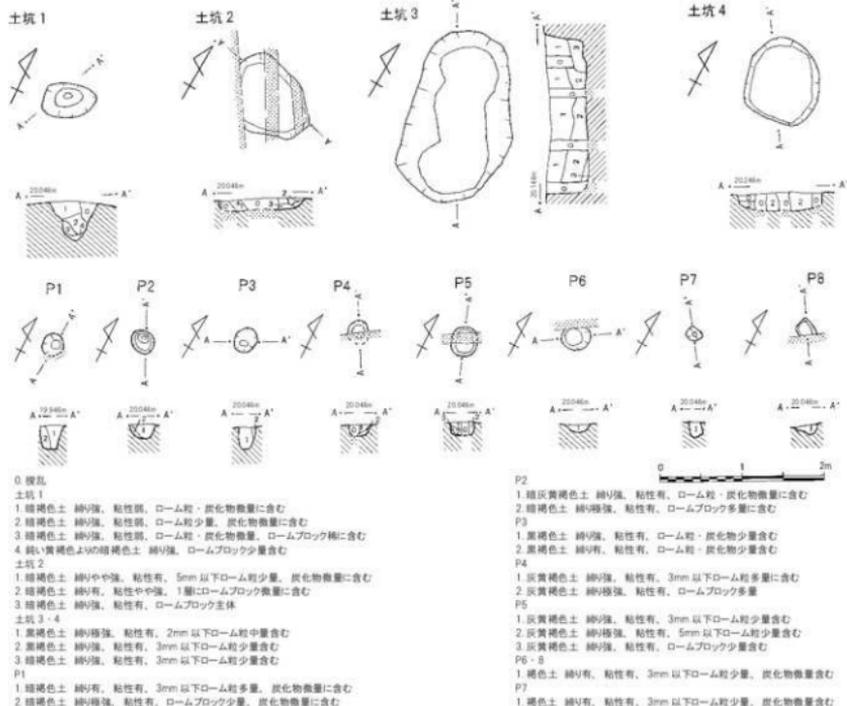
調査区西側に位置する。出土遺物はない。

## (5)ピット

住居跡に伴わないピットは8基検出した。調査区東側に集中する傾向にある。いずれも出土遺物はなく、時期を特定できない。規模等詳細については第49表に掲載した。

第49表 西ノ原遺跡第158地点ピット一覧表 (単位cm)

No.	平面形態	確認直径	底径	深さ	備考
1	(円形)	27×(27)	12×12	30.8	
2	円形	30×25	7×3	27.4	
3	円形	32×27	12×7	27.6	
4	(円形)	25×(15)	15×(10)	15.6	
5	円形	36×31	(28)×22	15.8	
6	不明	36×(27)	21×21	8.8	
7	円形	20×18	7×6	23.9	
8	不明	23×(21)	(17)×16	10	



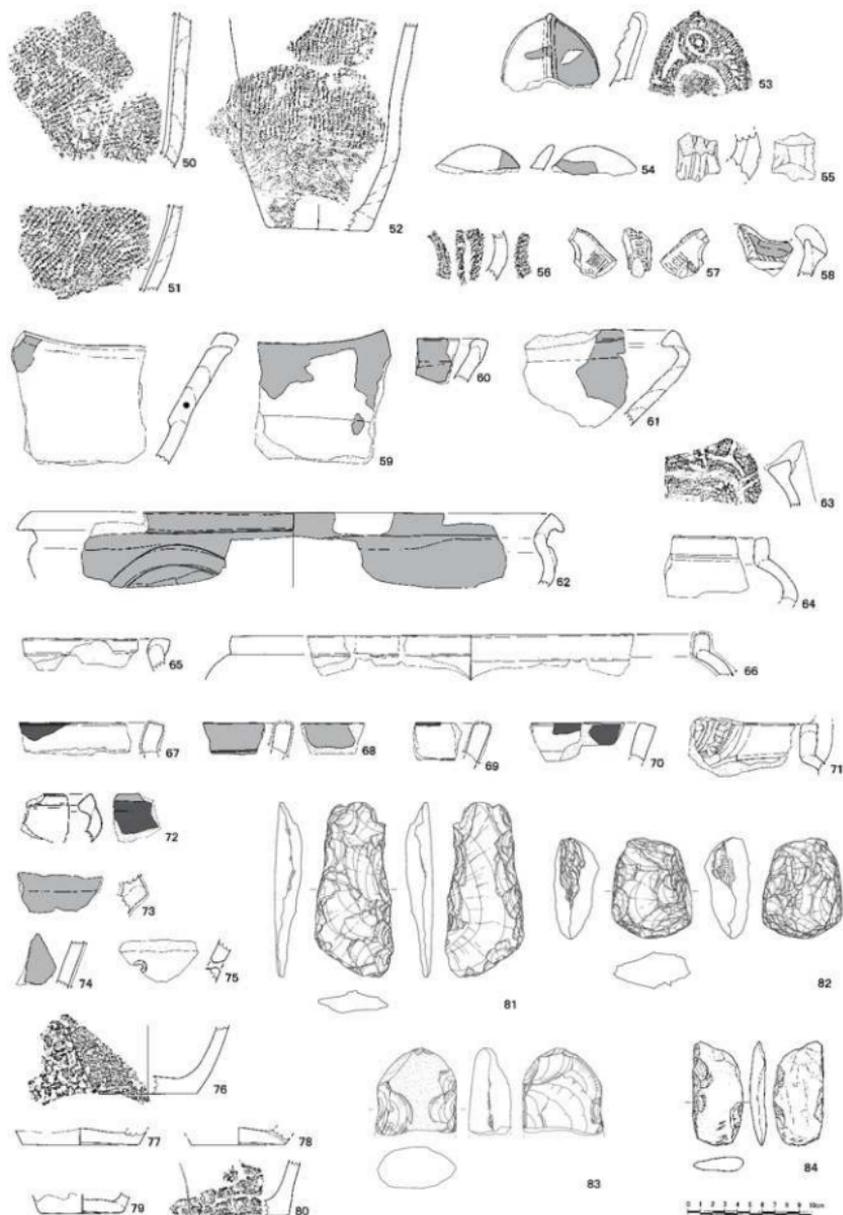
第72図 西ノ原遺跡第158地点土坑・ピット(1/60)



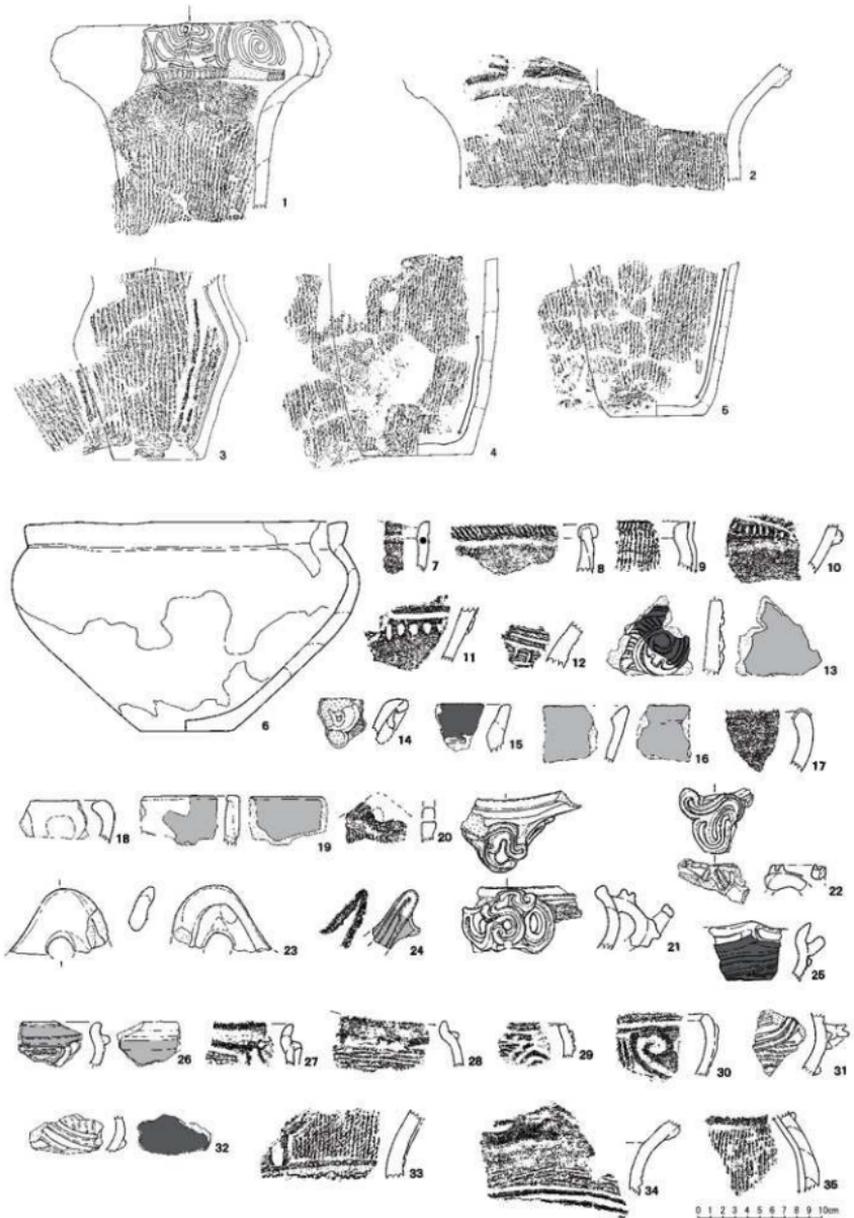
第73図 西ノ原遺跡第158地点61号住居跡出土遺物①(1/4)



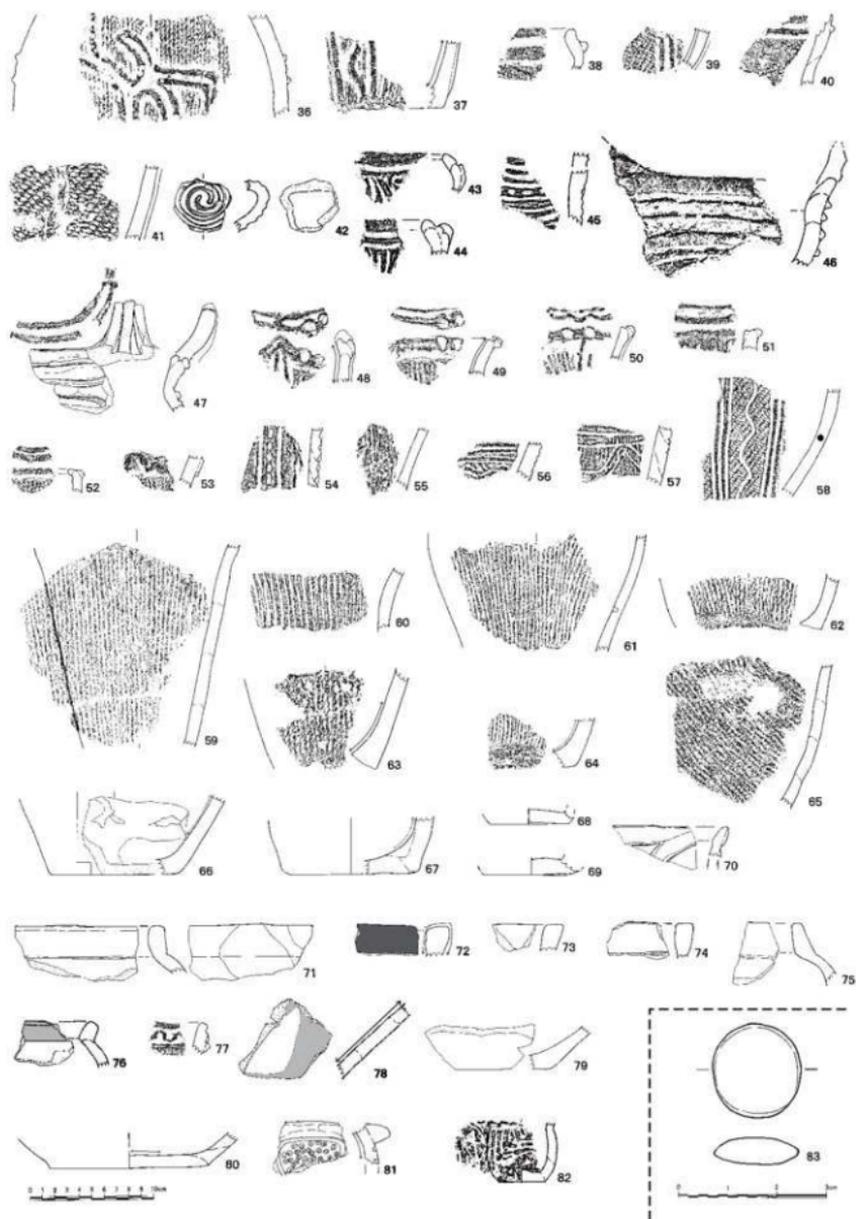
第74図 西ノ原遺跡第158地点61号住居跡出土遺物②(1/4)



第75図 西ノ原遺跡第158地点61号住居跡出土遺物③(1/4)

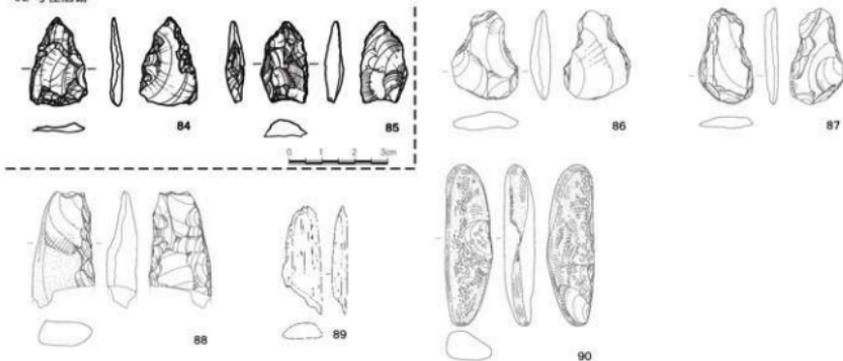


第76図 西ノ原遺跡第158地点62号住居跡出土遺物①(1/4)

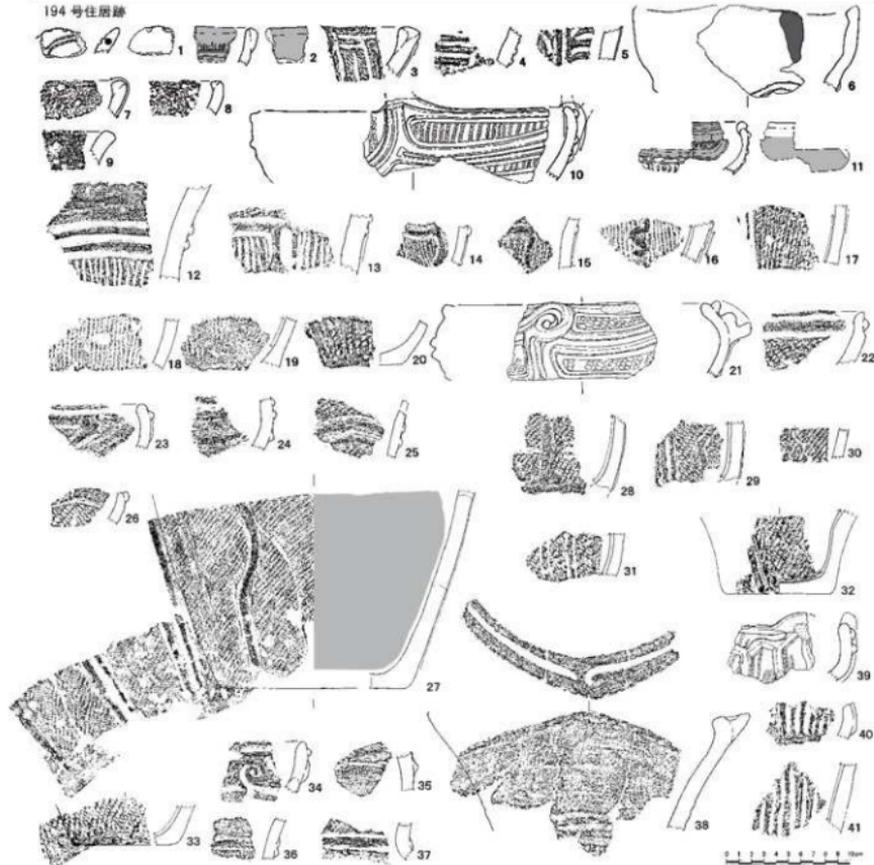


第77図 西ノ原遺跡第158地点62号住居跡出土遺物②(1/4・1/1)

62号住居跡

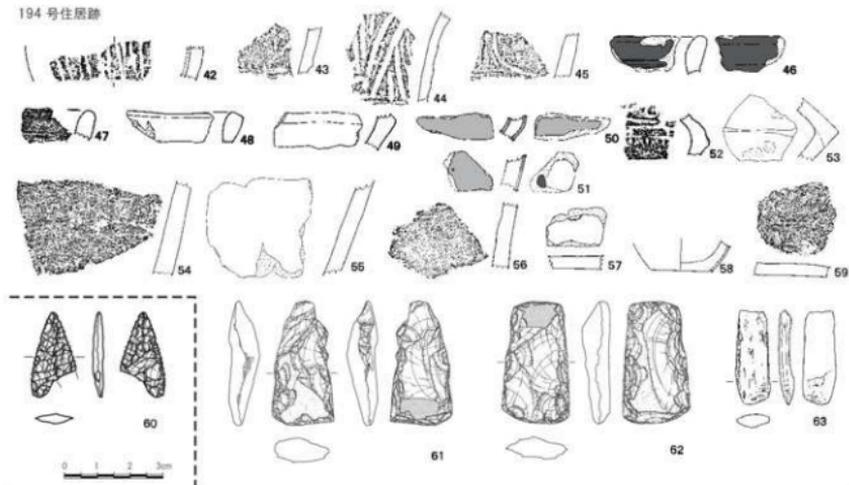


194号住居跡

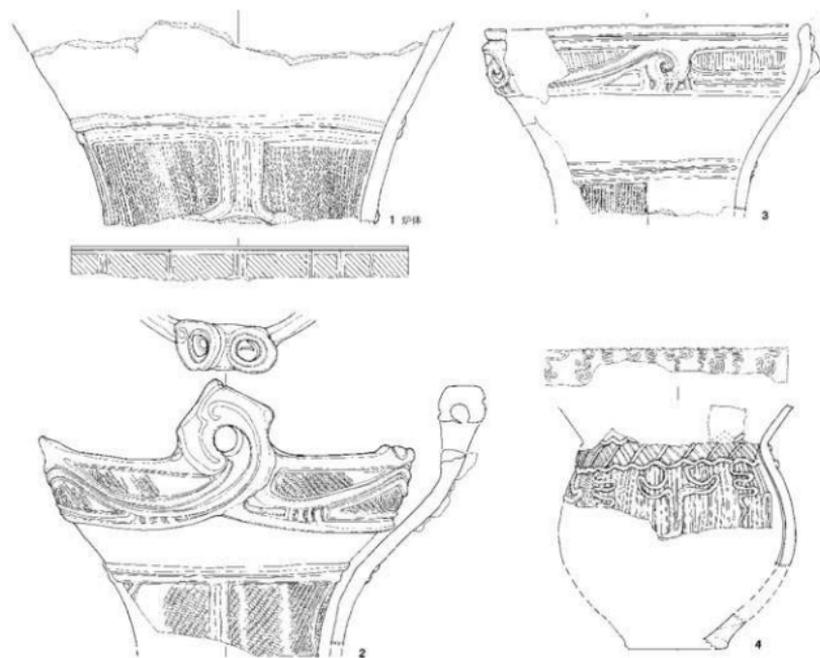


第78図 西ノ原遺跡第158地点62㉓・194①号住居跡出土遺物(1/4・2/3)

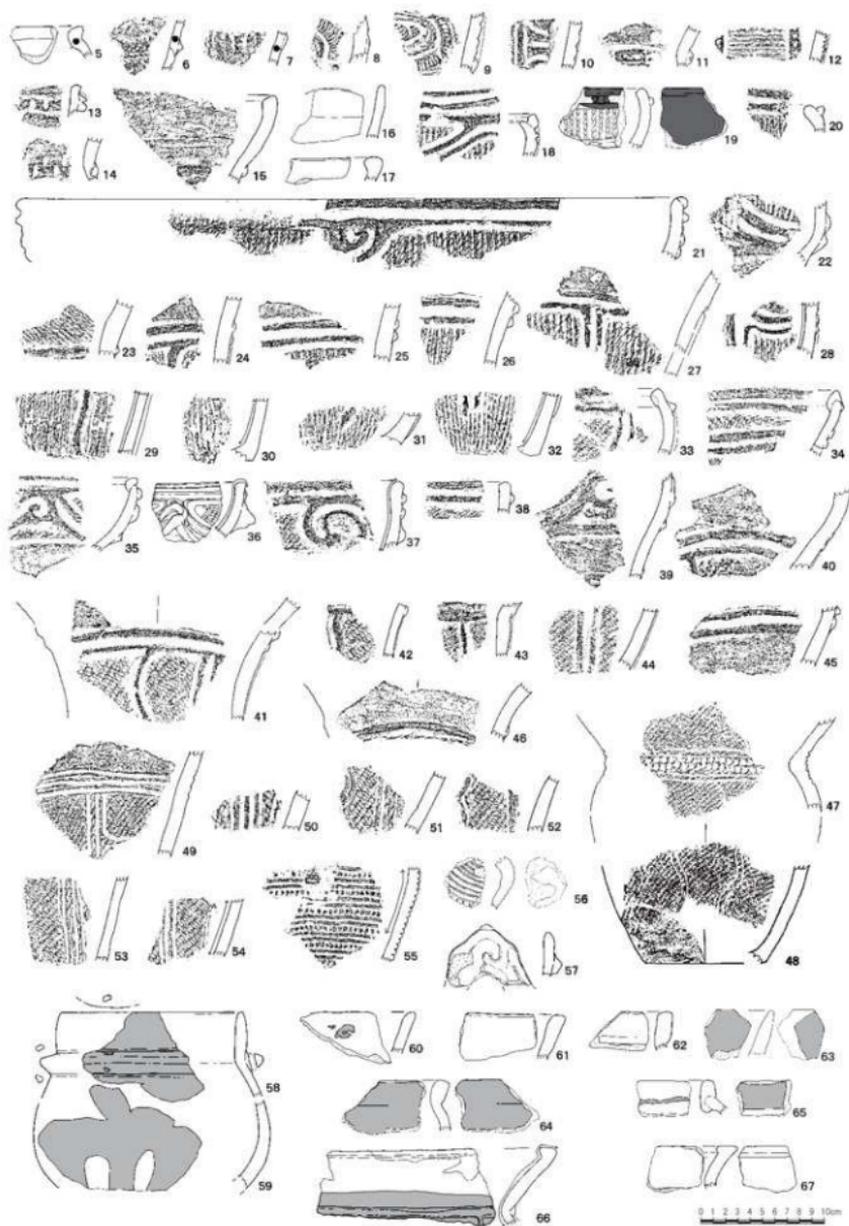
## 194号住居跡



## 196号住居跡

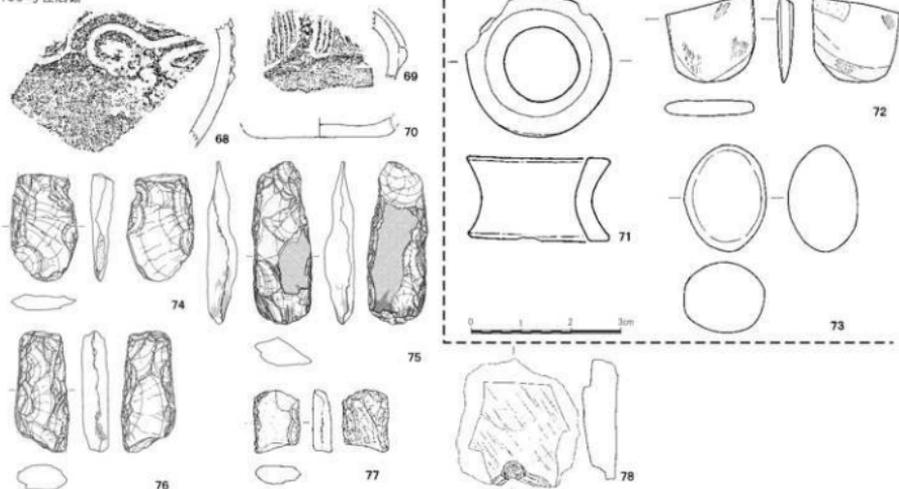


第79図 西ノ原遺跡第158地点194②・196①号住居跡出土遺物(1/4・2/3)

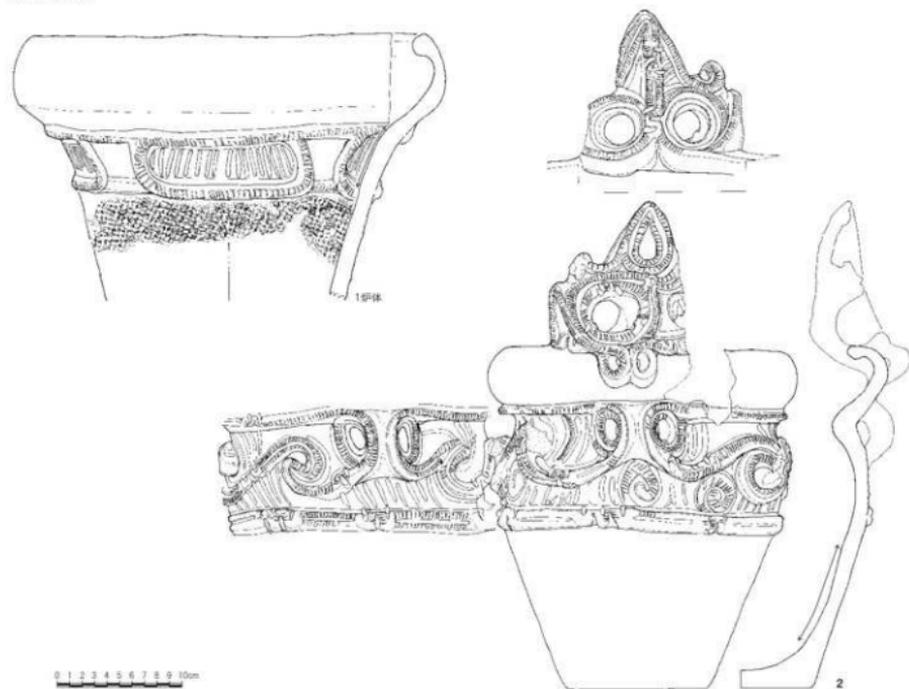


第80図 西ノ原遺跡第158地点196号住居跡出土遺物②(1/4)

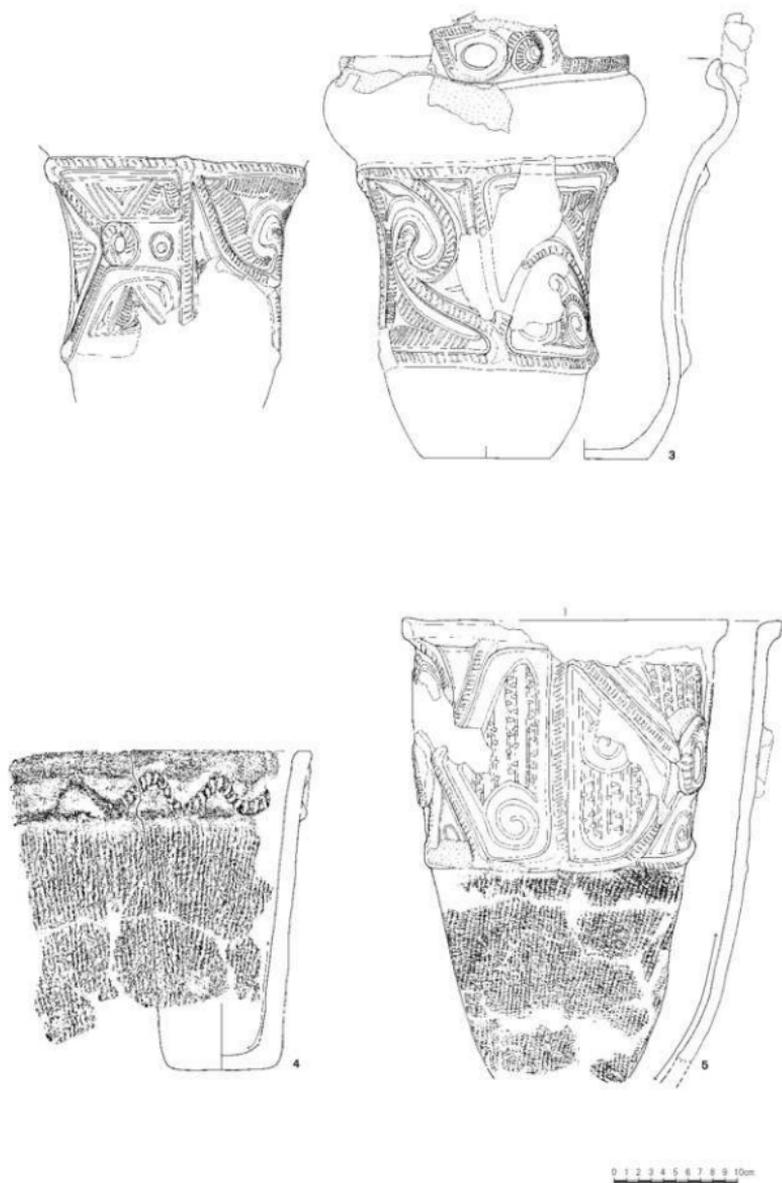
## 196号住居跡



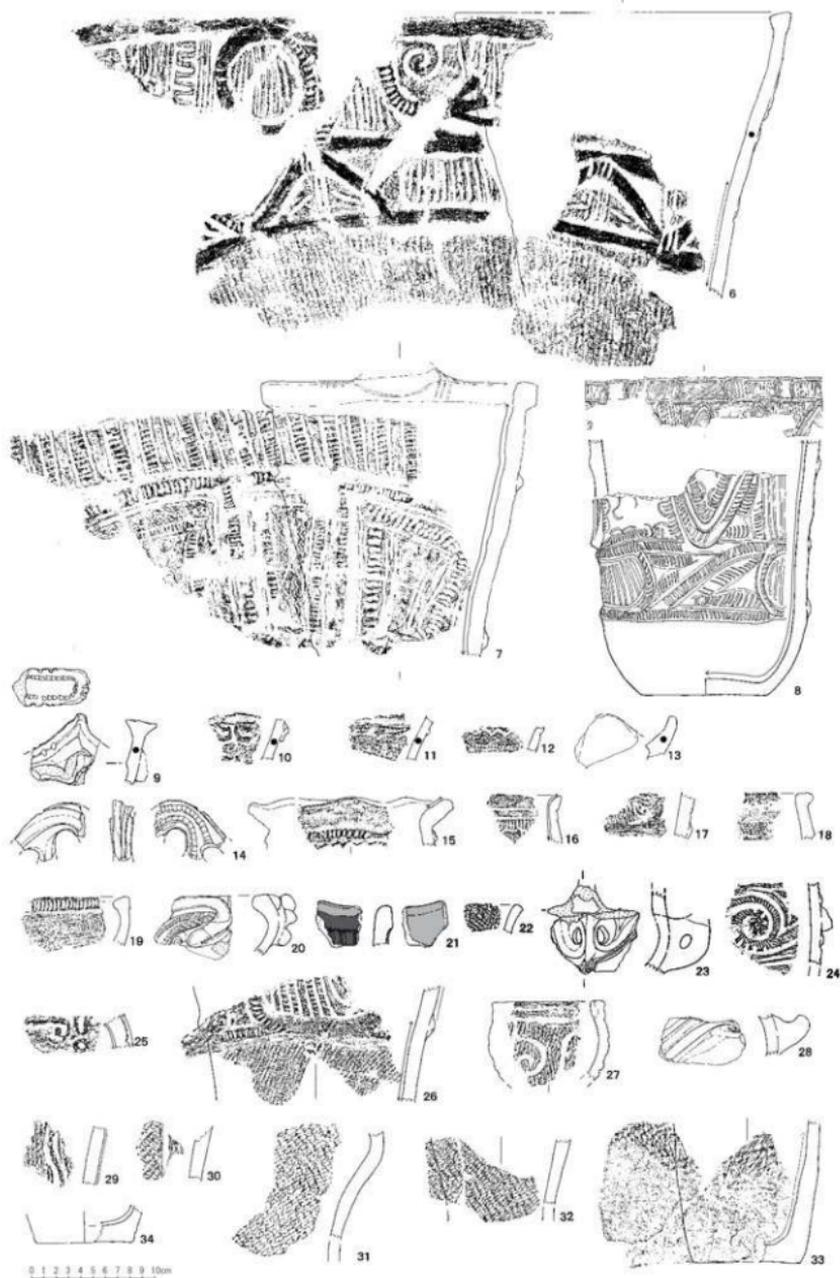
## 197号住居跡



第81図 西ノ原遺跡第158地点196③・197①号住居跡出土遺物(1/4・1/1)

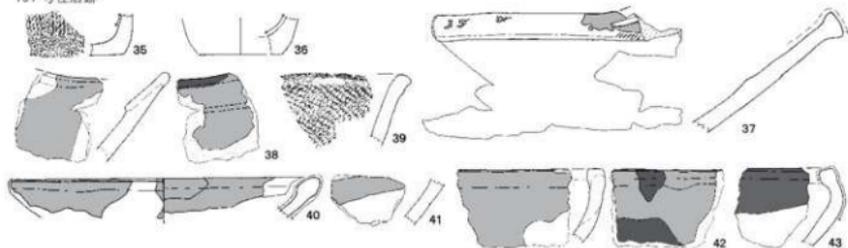


第 82 図 西ノ原遺跡第 158 地点 197 号住居跡出土遺物② (1/4)

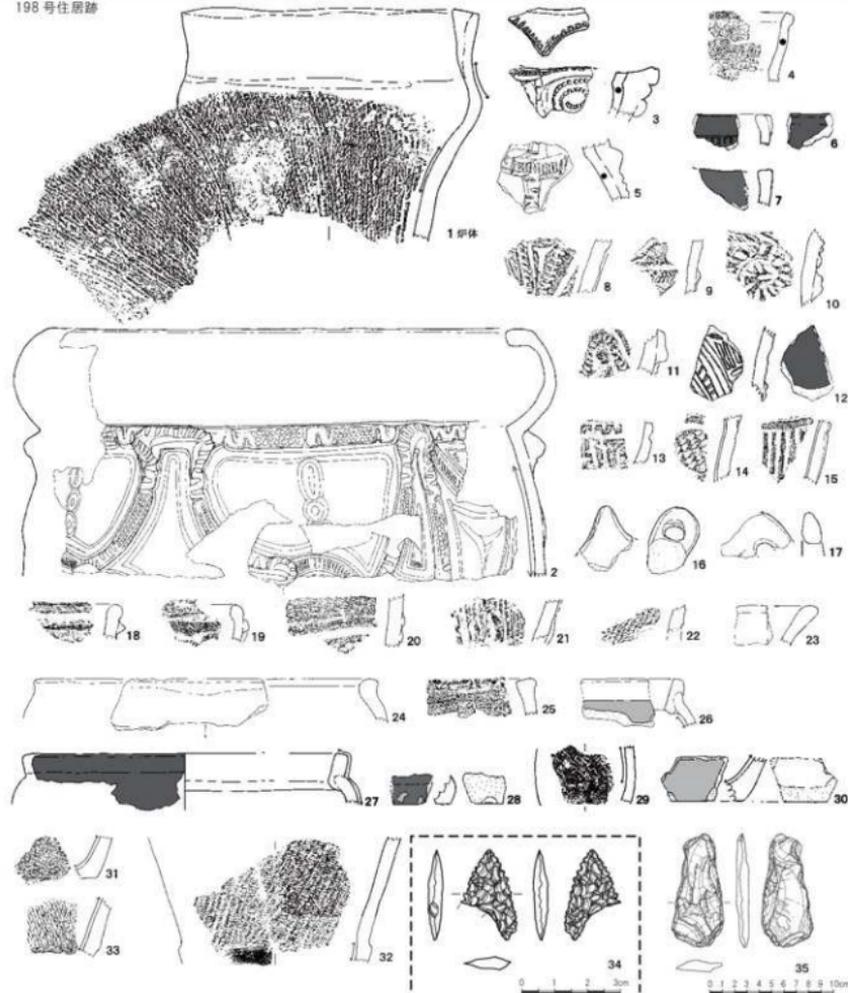


第83図 西ノ原遺跡第158地点197号住居跡出土遺物③(1/4)

197号住居跡

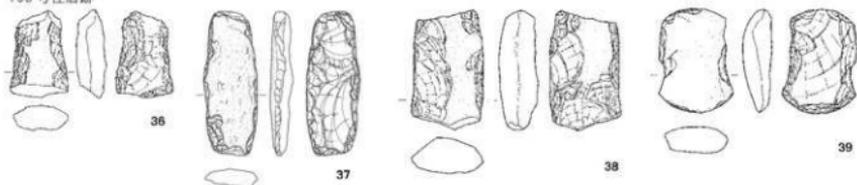


198号住居跡

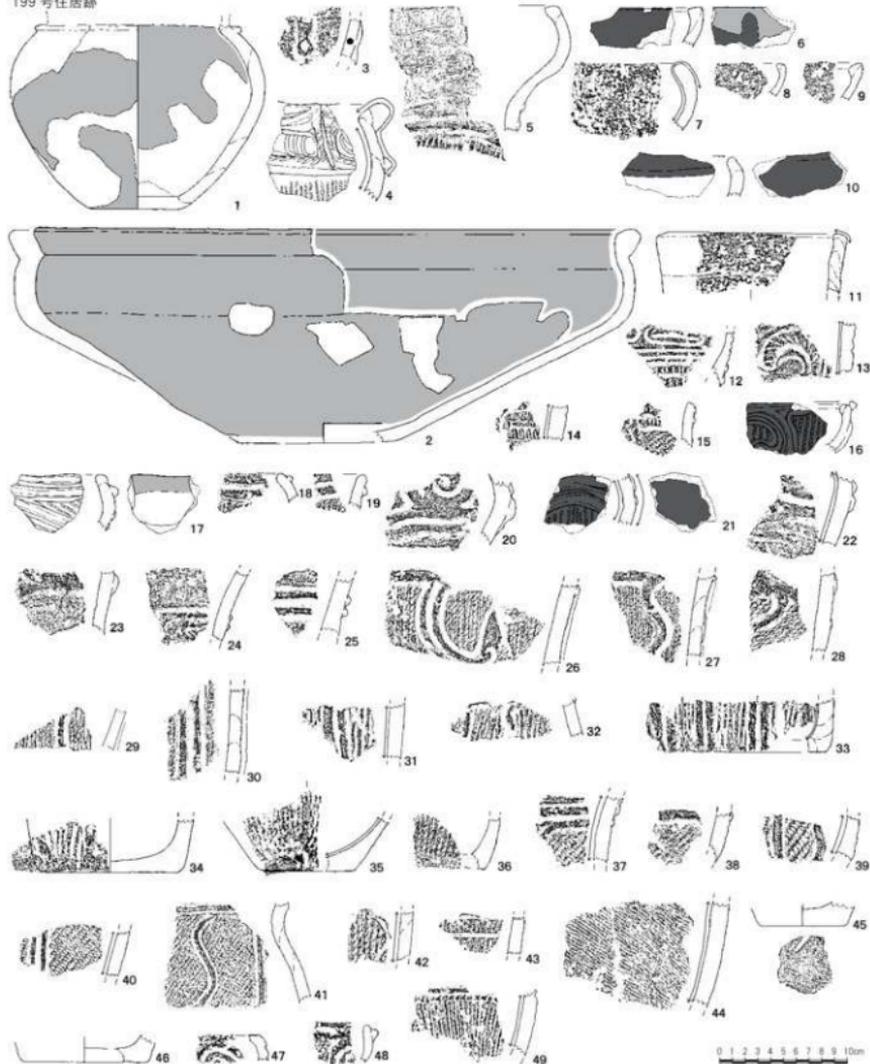


第84図 西ノ原遺跡第158地点197④・198①号住居跡出土遺物(1/4・2/3)

## 198号住居跡

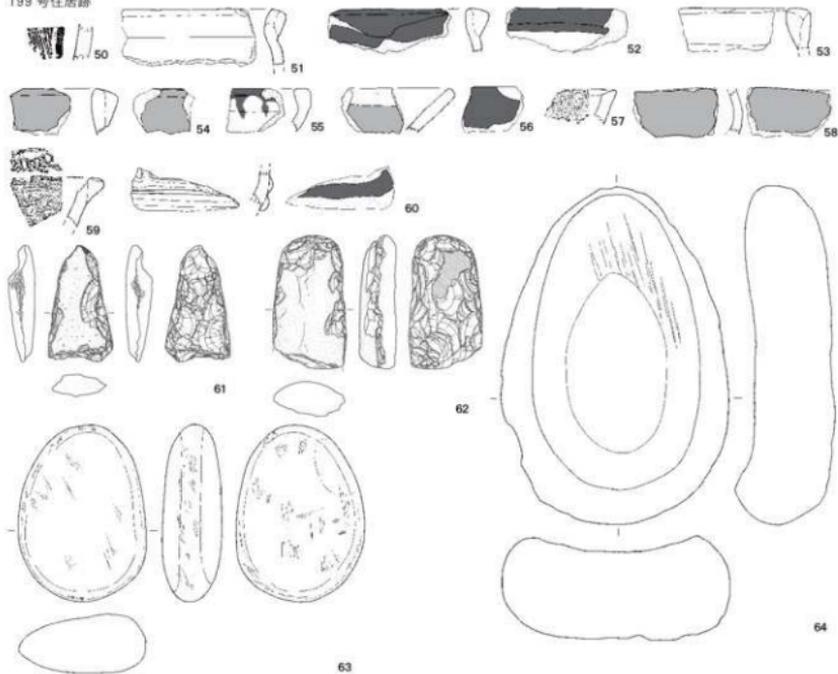


## 199号住居跡

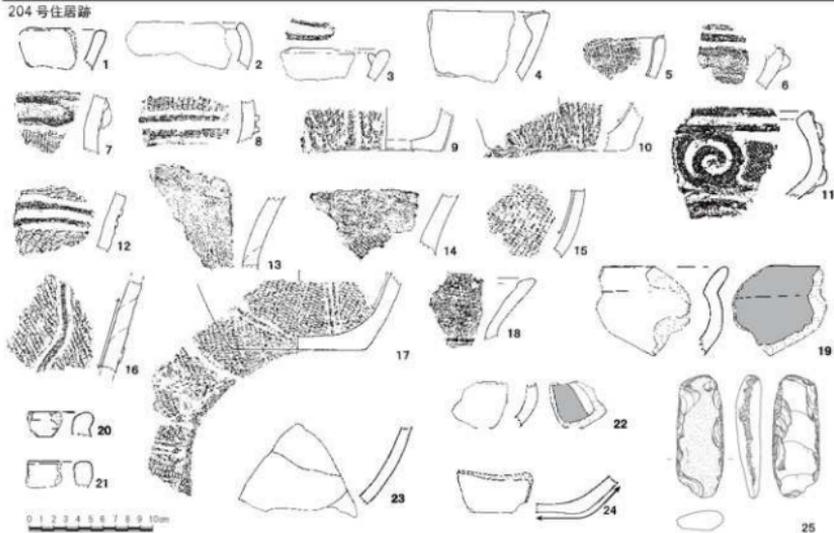


第85図 西ノ原遺跡第158地点198②・199①号住居跡出土遺物(1/4)

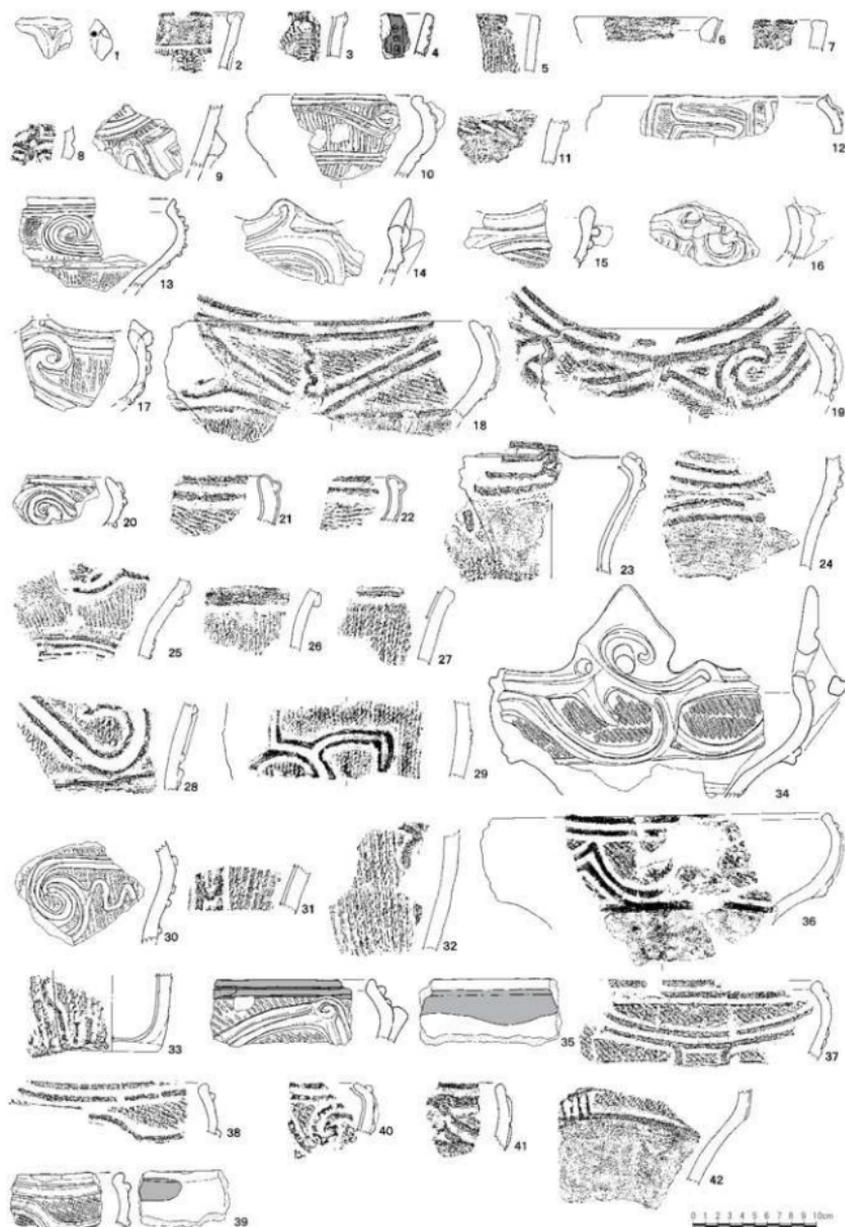
199号住居跡



204号住居跡



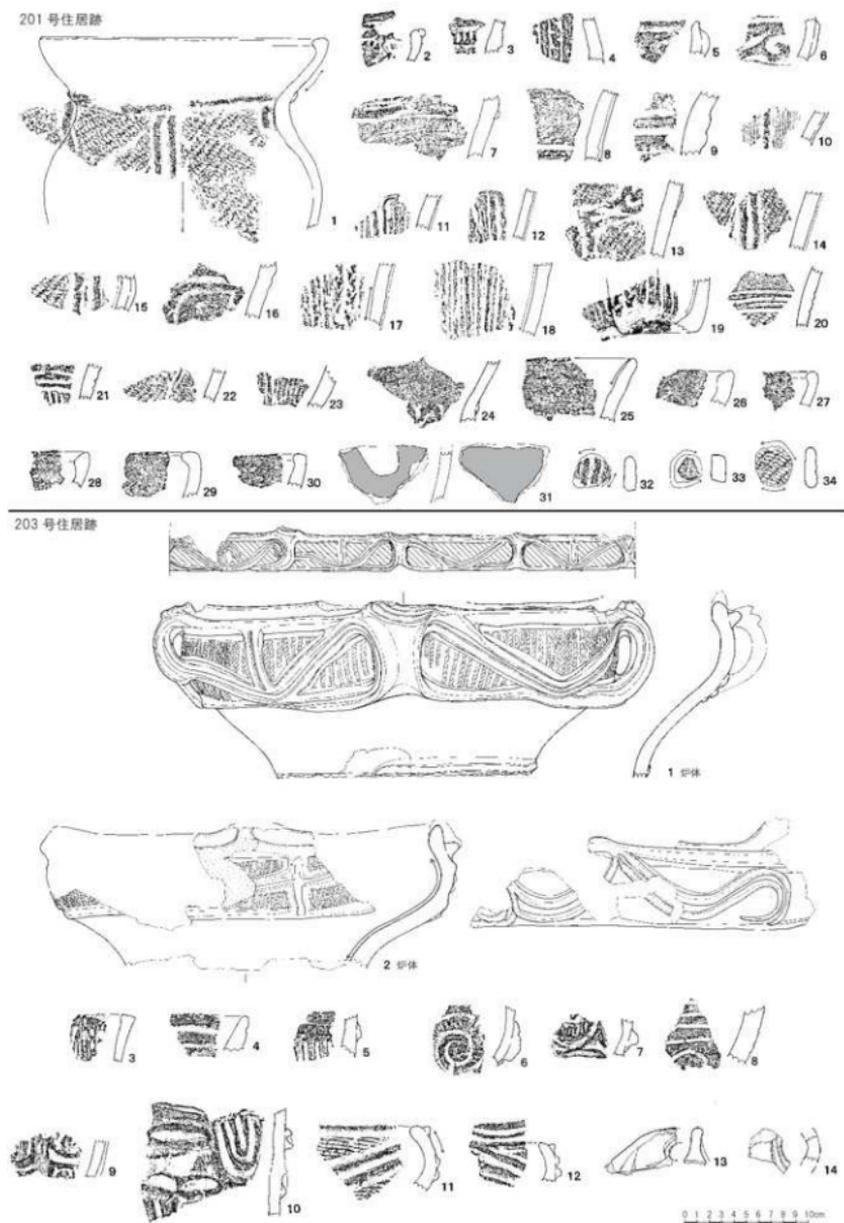
第86図 西ノ原遺跡第158地点199②・204号住居跡出土遺物(1/4)



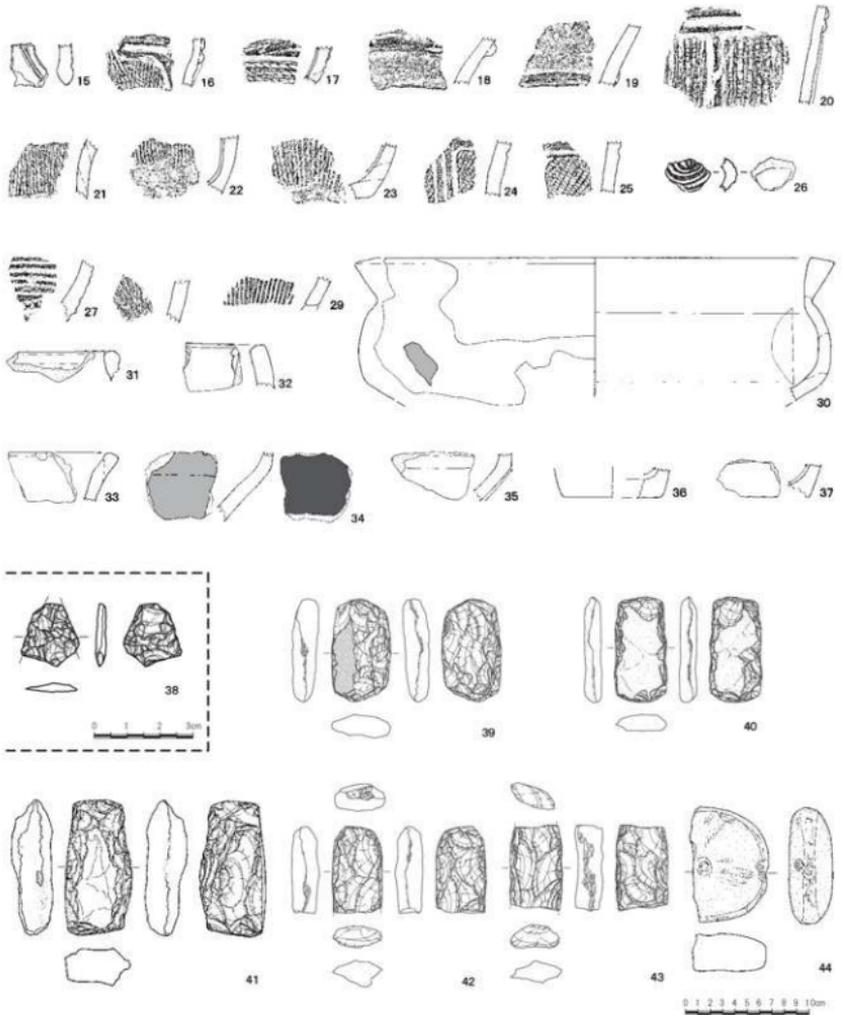
第87図 西ノ原遺跡第158地点200号住居跡出土遺物①(1/4)



第88図 西ノ原遺跡第158地点200号住居跡出土遺物②(1/4・2/3・1/1)

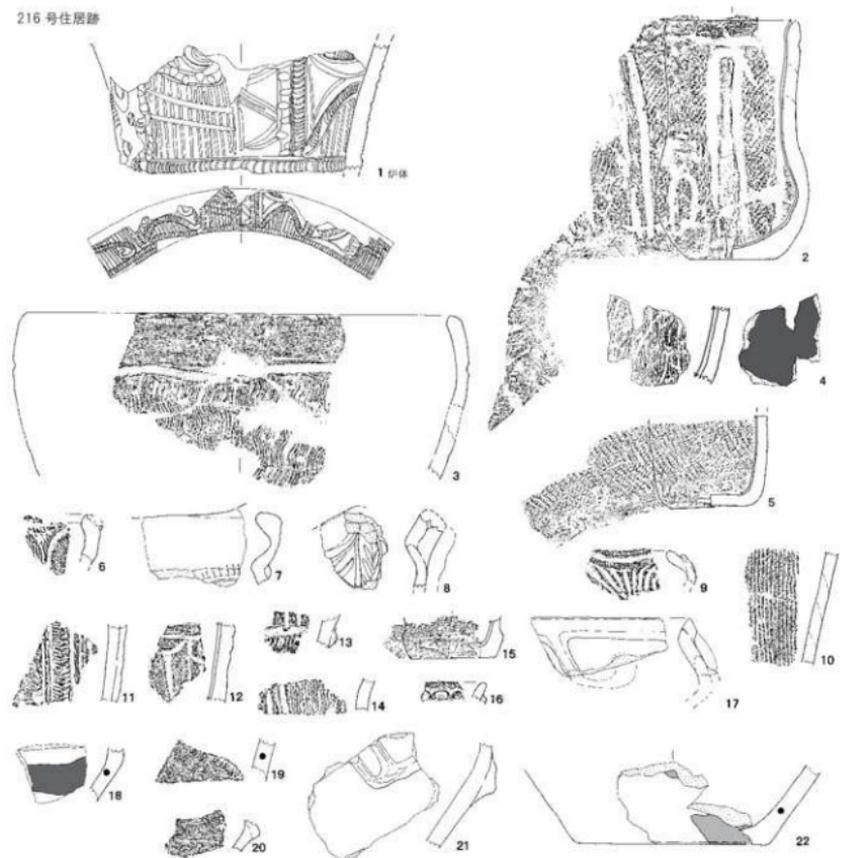


第89図 西ノ原遺跡第158地点201・203①号住居跡出土遺物(1/4)



第90図 西ノ原遺跡第158地点203号住居跡出土遺物②(1/4・2/3)

216号住居跡

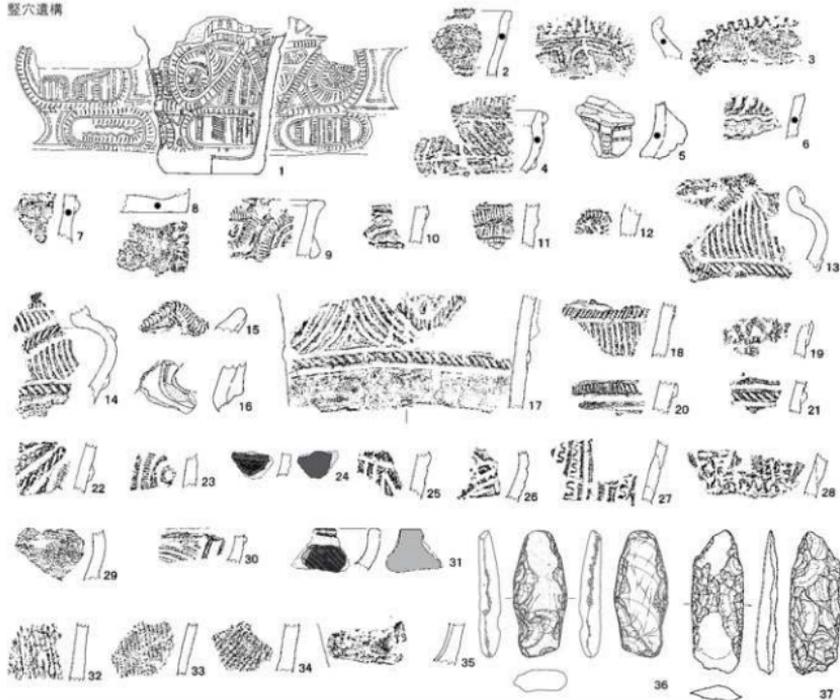


掘り込み遺構

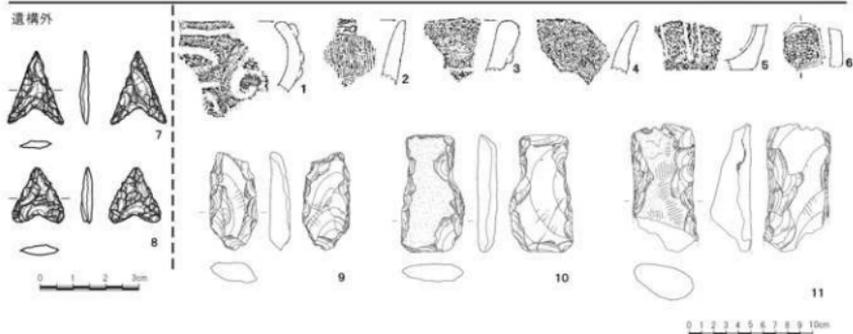


第91図 西ノ原遺跡第158地点216号住居跡、掘り込み遺構出土遺物(1/4)

竪穴遺構



遺構外



第92図 西ノ原遺跡第158地点竪穴遺構・遺構外出土遺物(1/4・2/3)

第50表 西ノ原遺跡第158地点出土遺物観察表

図面番号	出土遺物の種類	種別・形態	口径・長さ	直径・幅	高さ・厚さ	技法・文様・その他	推定年代
第7302-1	61号住居跡	深鉢/口縁～胴部	(32.0)		(22.4)	4単位の変状口縁/口縁部文様帯は別目降帯によるワラビ手・弧状文を組み合わせた4単位(文様は4単位であるが、型は2種類である)。降帯帯には沈線を含む。区画内には汎用文で読む三文字の平行沈線を含む。沈線部下の1/4方には浅溝き文が付いていると見られる。縁部は縁位肌織文・口縁部内面～口縁部外面には部分的に深赤い・黒色の垂刻が付着。胴部内面は焼熱によるハジケが顕著である/粘土結晶片岩を含む	中期中葉/暦後期
第7302-2		深鉢/胴部				伊体土器の外側から出土。旧伊体か/内面は焼熱により表面割れる/割目降帯・沈線による区画。区画内は三文字・周囲に汎用文の文様	中期中葉/暦後期
第7302-3		深鉢	25	11.1	41.4	口縁部に突起。降帯帯には沈線の沈線。胴上部に文様帯を刻ける。別目降帯による八の字状の区画を中心に、大きく2単位に分けられる。それぞれが分割されており、区画内には沈線を充て、胴下部は幅2cmほどの多角工具による縦位条線/粘土・結晶片岩を含む	中期中葉/暦後期
第7302-4		深鉢	18.0	9.8	28.8	5単位に区切られた口縁部文様帯/上は単沈線、下は別目降帯で区画し、縁位の区画には平行沈線に斜め・交互向きを用いる/各区画内では上部に円、下部に三角に近い横円・横丸形状の方が向き合うように配置されている/内面に縦付着	中期中葉/暦後期
第7302-5		深鉢/口縁～胴部	(23.6)		(20.0)	別目降帯を縦位に5単位。三角の区画内には①汎用文に沿う沈線沈線。②先立工具の連続刻列列。③平行沈線を刻す。④と⑤をセット関係と捉えると、2単位余りとなる/表面はナデにより滑らか/粘土結晶片岩・石炭を含む。外蓋赤彩、内面黒漆塗り	中期中葉/暦後期
第7402-6	深鉢/胴部				ヒタ灰産・胎土・胎母・石炭を含む	中期中葉/河玉台	
第7402-7	深鉢/胴部				輪の違う平行押引文・連続刻列による変状文	中期中葉/暦後期	
第7402-8	深鉢/胴部				地文内赤彩。降帯帯に斜目と直交する汎用文	中期中葉/暦後期	
第7402-9	深鉢/口縁部				口縁部連続刻列。降帯帯には焼状工具痕跡の押印	中期中葉/暦後期	
第7402-10	深鉢/口縁部				口縁部・降帯帯に斜目。区画内平行沈線	中期中葉/暦後期	
第7402-11	深鉢/胴部				変状口縁/口縁・降帯帯に斜目。縁には沈線。区画内ペン先立工具の連続刻列列・汎用文	中期中葉/暦後期	
第7402-12	深鉢/胴部				別目降帯帯に沈線。区画内沈線工具の連続刻列列・沈線	中期中葉/暦後期	
第7402-13	深鉢/胴部				降帯帯細かな斜目。降帯帯に沿う沈線	中期中葉/暦後期	
第7402-14	深鉢/胴部				降帯帯に汎用文。部分的に矢羽状になる	中期中葉/暦後期	
第7402-15	深鉢/胴部				降帯帯に斜目。縁に沈線	中期中葉/暦後期	
第7402-16	深鉢/胴部				降帯帯に斜目。縁・区画内に沈線	中期中葉/暦後期	
第7402-17	深鉢/胴部				降帯帯に斜目沈線による円文	中期中葉/暦後期	
第7402-18	深鉢/胴部				輪状の降帯・幅広で低い降帯の上面・側面に斜目。縁に沈線/内面ミガキ	中期中葉/暦後期	
第7402-19	深鉢/胴部				降帯帯に斜目。単沈線による浅溝き	中期中葉/暦後期	
第7402-20	深鉢/胴部				降帯帯に斜目。単沈線で三文字・溝巻文	中期中葉/暦後期	
第7402-21	深鉢/口縁～胴部	(14.4)		(11.2)	地文縦位肌織文。沈線による文様/内面に縦付着	中期中葉/暦後期	
第7402-22	深鉢/口縁部	(17.8)		(6.5)	沈線による区画。区画内平行沈線・斜目	中期中葉/暦後期	
第7402-23	深鉢/口縁部				沈線による区画/外面黒色	中期中葉/暦後期	
第7402-24	深鉢/口縁部				沈線部に斜目	中期中葉/暦後期	
第7402-25	深鉢/口縁部				沈線部連続刻列	中期中葉/暦後期	
第7402-26	深鉢/口縁部				沈線部に絶縁の沈線を充て/粘土角閃石を含む	中期中葉/暦後期	
第7402-27	深鉢/口縁部				沈線と斜目による文様	中期中葉/暦後期	
第7402-28	深鉢/胴部				№27と同一物体	中期中葉/暦後期	
第7402-29	深鉢/胴部				沈線による区画。斜目の充填。内面ミガキ	中期中葉/暦後期	
第7402-30	深鉢/胴部				縁位区画として平行沈線部の交互沈線。沈線間斜目/粘土角閃石を含む	中期中葉/暦後期	
第7402-31	深鉢/胴部				沈線による区画。区画内斜位の平行する沈線	中期中葉/暦後期	
第7402-32	深鉢/胴部				沈線区画内に押引文/内外面赤化	中期中葉/暦後期	
第7402-33	深鉢/口縁部	(22.2)			口縁部赤化。幅広で低い別目降帯による頸部区画。降帯帯には沈線/粘土白色粒・小塊	中期中葉/暦後期	
第7402-34	深鉢/口縁部				無文	中期中葉/暦後期	
第7402-35	深鉢/口縁部				無文/外面黒色	中期中葉/暦後期	
第7402-36	深鉢/口縁部				無文/内外面赤彩	中期中葉/暦後期	
第7402-37	深鉢/口縁部				沈線部に汎用文/粘土角閃石を含む。内面に縦付着	中期中葉/暦後期	
第7402-38	深鉢/口縁部				沈線/粘土胎母を含む	中期中葉/暦後期	
第7402-39	深鉢/口縁部				外面赤彩。内面黒漆あり	中期中葉/暦後期	
第7402-40	深鉢/胴部				縦位肌織文/内面赤化	中期中葉/暦後期	
第7402-41	深鉢/胴部		(11.0)		縦～斜位肌織文/内面にわずかに縦付着	中期中葉/暦後期	
第7402-42	深鉢/口縁部				口縁部平行する降帯。一部交互斜交をもつ降帯による方形区画。区画内縦位肌織文/粘土角閃石を含む	中期中葉/暦後期	
第7402-43	深鉢/口縁部				地文縦位肌織文。口縁に沈線の沈線/粘土結晶片岩を含む	中期中葉/暦後期	
第7402-44	深鉢/口縁～胴部	(20)		(15.8)	変状口縁/地文縦位肌織文。縁に別目降帯帯に先の太った工具による刻列・変状沈線	中期中葉/暦後期	
第7402-45	深鉢/口縁部				地文縦位肌織文。沈線による縦巻文。玉粒き三文字/粘土結晶片岩を含む	中期中葉/暦後期	
第7402-46	深鉢/胴部				№45と同一物体	中期中葉/暦後期	
第7402-47	深鉢/胴～底部		11.6	(27.4)	縦位肌織文/外面焼熱により上部が変色し、下部にはハジケが見られる。内面は下部に腐け付着	中期	
第7402-48	深鉢/胴部				胴上部/沈線による区画内ペン先立工具の刻列列/内面黒色	中期中葉/暦後期	
第7402-49	深鉢/胴～底部	(8.8)		(14.0)	胴下部/平行沈線による上部との区画。縦位肌織文/内面は黒色を刻す。平滑にナデられ、やや光沢を持つ/№48と同一物体	中期中葉/暦後期	
第7502-50	深鉢/胴部				縁位肌織文。内面赤化	中期	
第7502-51	深鉢/胴部				縦位肌織文。内面赤化	中期	
第7502-52	深鉢/胴～底部	(8.2)		(17.0)	斜位肌織文	中期	
第7502-53	口縁部突起				沈線による玉粒き三文字。右側の三文字の縁に斜交も加え、周囲に斜目を刻す	中期中葉/暦後期	
第7502-54	口縁部突起				一部赤彩	中期	
第7502-55	縁状把手				3本の断面三角形の縁帯	中期	
第7502-56	縁状把手				縦位肌織文/粘土角閃石を含む	中期	
第7502-57	口縁部突起				3面に斜目	中期	
第7502-58	口縁部突起				断面三角形の降帯を三文字状に斜りに付ける。縁線上に斜目。内面ミガキ	中期	
第7502-59	浅鉢/口縁部				変状口縁/内外面に赤彩/粘土胎母を含む	中期	

図版番号	出土遺構名	種別・部種	口縁・長さ	底径・厚さ	高さ・厚さ	技法・文様・その他	推定年代
第7500-60		浅鉢/口縁部				内外面ミガキ、内外面赤彩、縁らに煤が付着	中期
第7500-61		浅鉢/口縁部				口縁上の突起を欠損/胎土角閃石・白色粒子を含む	中期
第7500-62		浅鉢/口縁部	(44.2)			内外面赤彩・ミガキ、口縁内面の一部分が無彩/内面に煤が付着	中期
第7500-63		浅鉢/口縁部				波状口縁辺部/三叉文、内外面ミガキ	中期
第7500-64		浅鉢/口縁部				内外面ミガキ	中期
第7500-65		浅鉢/口縁部				内外面ミガキ/胎土結晶内岩を含む	中期
第7500-66		浅鉢/口縁部	(38.8)			内外面赤彩・ミガキ	中期
第7500-67		浅鉢/口縁部				内外面赤彩・ミガキ	中期
第7500-68		浅鉢/口縁部				内外面赤彩・ミガキ	中期
第7500-69		浅鉢/口縁部				内外面赤彩・ミガキ	中期
第7500-70		浅鉢/口縁部				内外面ミガキ	中期
第7500-71		浅鉢/口縁部				口縁から幅の広くて厚い隆帯を垂下、隆帯上は平行波線と刺突/胎土角閃石・白色粒子を含む	中期
第7500-72	61号住居跡	浅鉢/口縁部				内面赤彩、内外面ミガキ	中期
第7500-73		浅鉢/胴部				内外面赤彩・ミガキ	中期
第7500-74		浅鉢/胴部				外面赤彩・ミガキ/外面に赤色顔料付着	中期
第7500-75		浅鉢/胴部				内外面ミガキ/先工具の凹削による穿孔	中期
第7500-76		深鉢/底部	(8.0)			被熱によるハジケ、底面は焼成不良?で白色を呈する/胎土角閃石・白色粒子	中期
第7500-77		深鉢/底部		9.5		被熱によるハジケ、特に内面に顕著	中期
第7500-78		深鉢/底部		7.7		被熱によるハジケ状、胎土に白色粒子を多く含む	中期
第7500-79		深鉢/底部		7		底面と胴部の接合部にはヒダ状の指痕押圧が施され、その上に編織みを行う	中期
第7500-80		深鉢/底部	(8.0)			無文深鉢	中期
第7500-81		石葺/打製石葺	14.29	6.17	2.07	石葺・質量210.24g/先形/輪型/方部摩滅し偏刃となち、右側面に方直し状の縞が1割程	
第7500-82		石葺/打製石葺	8.02	6.55	3.38	石葺・予小シフェルス/229.65g/先形/輪型/基部に原表面を残す、長さ、厚み共に1と対称的である	
第7500-83		石葺/打製石葺	(6.77)	(6.58)	(3.37)	石葺・中粒砂質/207.18g/基部破片/ややくびれる分型/くびれ部分に摩滅が見られる	
第7500-84	石葺/磨削磨製石葺	8.12	4.17	1.26	石葺・細粒凝灰岩/65.02g/先形/方部のみ研磨する。表面は自然面		
第7600-1	深鉢/口縁～胴部				口縁部の3箇所が突出する。口縁部沈没による褐色文、胴部無文等と各自縦帯により区画。胴部は地文焼成(赤彩・内外面赤彩、胎土・赤褐色を呈し、白色粒子を含む)	中期中国/加群1区 I	
第7600-2	深鉢/胴～胴部				隆帯による胴部との区画、縦位し黒系/胎土角閃石・白色粒子を含む	中期中国/加群1区 I	
第7600-3	深鉢/胴～底部		7.0	(15.0)	地文縦位し黒系/隆帯による赤系文/内面と外面上部に煤が付着	中期中国/加群1区 I	
第7600-4	深鉢/胴～底部		9.0	(16.0)	縦位し黒系/内面下部に煤が付着	中期	
第7600-5	深鉢/胴～底部		7.6	(12.5)	縦位し黒系/内面に煤付着	中期	
第7600-6	浅鉢	(26.4)	7.8	17.1	内外面ミガキ、外面には黒斑が広がる	中期	
第7600-7	深鉢/口縁部				胎土金雲母・石葉を含む	中期中国/阿玉台	
第7600-8	深鉢/口縁部				口縁部に凸形文	中期中国/藤原田	
第7600-9	深鉢/口縁部				口縁部に凸形文	中期中国/藤原田	
第7600-10	深鉢/口縁部				創目隆帯による口縁部区画/内面に黒斑あり	中期中国/藤原田	
第7600-11	深鉢/口縁部				創目隆帯による口縁部区画、隆帯上には棒状工具による刺突/頸部無彩/胎土角閃石を含む	中期中国/藤原田	
第7600-12	深鉢/胴部				波線間に凸形文	中期中国/藤原田	
第7600-13	深鉢/胴部				創目隆帯と波線による文様/内面赤彩	中期中国/藤原田	
第7600-14	深鉢/口縁部				隆帯による凸文、下位にボタン状の貼り付け文が連なる	中期中国/藤原田	
第7600-15	深鉢/口縁部				無文口縁部/基部部に沈線/外面赤系	中期	
第7600-16	深鉢/口縁部				無文口縁部/外面赤彩・黒色、内面黒色	中期	
第7600-17	深鉢/口縁部				無文口縁部/口唇部煤付着	中期	
第7600-18	深鉢/口縁部				無文口縁部	中期	
第7600-19	深鉢/口縁部				無文口縁部/内外面赤彩	中期	
第7600-20	深鉢/口縁部				波線部/中央に穿孔、下部に創痕あり	中期	
第7600-21	深鉢/口縁部				縦線状突起、地文縦位し黒系/S字の平行隆帯が正面と上面に付く	中期中国/加群1区 I	
第7600-22	深鉢/口縁部				縦線状突起上部破片/取り上げ%88同様、縦線状突起にS字の平行隆帯を付けたもの/胎土は%21と同一である	中期中国/加群1区 I	
第7600-23	深鉢/口縁部				山型の口縁上突起	中期中国/加群1区 I	
第7600-24	深鉢/口縁部				突起部、平行する隆帯を用いる/赤彩	中期中国/加群1区 I	
第7600-25	深鉢/口縁部				地文縦位し黒系/平行する隆帯	中期中国/加群1区 I	
第7600-26	深鉢/口縁部				地文縦位し黒系/隆帯による文様/外面赤彩	中期中国/加群1区 I	
第7600-27	深鉢/口縁部				波状口縁/地文縦位し黒系/隆帯による文様	中期中国/加群1区 I	
第7600-28	深鉢/口縁部				地文縦位し黒系/隆帯、内面赤彩あり	中期中国/加群1区 I	
第7600-29	深鉢/口縁部				地文縦位し黒系/平行隆帯による渦巻き文	中期中国/加群1区 I	
第7600-30	深鉢/口縁部				地文縦位し黒系/低い平行隆帯によるフラビ字文	中期中国/加群1区 I	
第7600-31	深鉢/口縁部				地文縦位し黒系/突出する平行隆帯	中期中国/加群1区 I	
第7600-32	深鉢/口縁部				地文縦位し黒系/突出する平行隆帯/内面黒色	中期中国/加群1区 I	
第7600-33	深鉢/口縁部				地文縦位し黒系/平行隆帯による文様/内外面被熱によるハジケあり	中期中国/加群1区 I	
第7600-34	深鉢/胴部				頸部無文等/口縁部とは隆帯、胴部とは波線で区画する/内面はナデにより光沢を持つ、内外面に被熱によるハジケあり	中期中国/加群1区 I	
第7600-35	深鉢/胴部				地文縦位し黒系/胴部との境に創目隆帯を貼り付け/被熱によるハジケあり、内面炭化	中期	
第7700-36	深鉢/胴部				地文縦位し黒系/平行隆帯による胴部文様/外面被熱によるハジケあり	中期中国/加群1区 I	
第7700-37	深鉢/底部				地文縦位し黒系/隆帯による無文文/内面煤付着	中期中国/加群1区 I	
第7700-38	深鉢/口縁部				地文縦位し黒系	中期中国/加群1区 I	
第7700-39	深鉢/胴部				地文縦位し黒系/平行隆帯による無文文/内面煤付着	中期中国/加群1区 I	

図番番号	出土 遺構名	種別・形状	口徑・ 長さ	直径・ 幅	高さ・ 厚さ	技法・文様・その他	推定年代
第77図-40	62号住居跡	深鉢・胴部				地文縦位丸縄文/斜位に平行隆帯/胎土:結晶片岩を含む	中期中葉/加賀群Ⅰ
第77図-41		深鉢・胴部				地文縦位丸縄文/隆帯による巻文	中期中葉/加賀群Ⅰ
第77図-42		深鉢・口縁部				嵌状になる口縁部/沈線による巻文	中期中葉/加賀群Ⅰ
第77図-43		深鉢・口縁部				沈線による巻文	中期中葉/加賀群Ⅰ
第77図-44		深鉢・口縁部				突出部/平行する沈線による巻文と見られる	中期中葉/加賀群Ⅰ
第77図-45		深鉢・口縁部				横位の平行沈線、一部沈線に刻突	中期中葉/加賀群Ⅰ
第77図-46		深鉢・口縁部				波状突起部/平行する断面三角形の隆帯を貼り付け	中期中葉/加賀群Ⅰ
第77図-47		深鉢・口縁部				波状突起部/平行する隆帯を口縁・口縁部に貼り付け、胎に沈線を施す	中期中葉/加賀群Ⅰ
第77図-48		深鉢・口縁部				波状口縁/隆帯を貼り付け口縁を厚くし、口唇部に沈線を施した後に胎部による押圧を加え、平行する粘土線を口縁から垂下する/地文縦位和彫糸/内面黒色	中期中葉/加賀群Ⅰ
第77図-49		深鉢・口縁部				※	中期中葉/加賀群Ⅰ
第77図-50		深鉢・口縁部				波状口縁/隆帯を貼り付け口縁を厚くし、口唇部に沈線を施した後胎部による押圧を加え、平行する粘土線を口縁から垂下する/地文縦位和彫糸	中期中葉/加賀群Ⅰ
第77図-51		深鉢・口縁部				粘土線を貼り付け口縁を厚くし、口縁から沈線を垂下	中期中葉/加賀群Ⅰ
第77図-52		深鉢・口縁部				地文縦位和彫糸/胎に粘土線を貼り付け口縁が浮状になる	中期中葉/加賀群Ⅰ
第77図-53		深鉢・胴部				地文縦位和彫糸/粘土線を波状に貼り付ける	中期中葉/加賀群Ⅰ
第77図-54		深鉢・胴部				横位の平行沈線間に上方からの刻突/内外面に被熱によるハジケあり	中期中葉/加賀群Ⅰ
第77図-55	深鉢・胴部				地文縦位和彫糸	中期中葉/加賀群Ⅰ	
第77図-56	深鉢・口縁部				地文斜位和彫糸/多量管状工具の内皮削による巻文	中期中葉/加賀群Ⅰ	
第77図-57	深鉢・口縁部				地文縦位和彫糸/多量管状工具の内皮削による巻文/内面黒色	中期中葉/加賀群Ⅰ	
第77図-58	深鉢・胴部				地文縦位丸縄文/沈線による巻文/胎土:角閃石、まれに金剛石を含む	中期中葉/加賀群Ⅰ	
第77図-59	深鉢・胴部				地文縦位和彫糸/胎土:角閃石を含む	中期中葉/加賀群Ⅰ	
第77図-60	深鉢・胴部				地文縦位和彫糸	中期中葉/加賀群Ⅰ	
第77図-61	深鉢・胴部				地文縦位和彫糸/内面被熱によるハジケ、種実残存?あり	中期中葉/加賀群Ⅰ	
第77図-62	深鉢・底部	(12)			地文縦位和彫糸	中期中葉/加賀群Ⅰ	
第77図-63	深鉢・底部				地文縦位和彫糸/内面炭化し、内外面に被熱によるハジケあり/胎土:角閃石を含む/内面保存層	中期中葉/加賀群Ⅰ	
第77図-64	深鉢・底部				地文縦位和彫糸/内面炭化する	中期中葉/加賀群Ⅰ	
第77図-65	深鉢・胴部				地文縦位丸縄文	中期中葉/加賀群Ⅰ	
第77図-66	深鉢・底部	(10.6)			無文底部/内面炭化し、炭化物が付着する	中期中葉/加賀群Ⅰ	
第77図-67	深鉢・底部	(11.2)			内面に窪み層	中期中葉/加賀群Ⅰ	
第77図-68	深鉢・底部	(6.6)			被熱によるハジケ	中期中葉/加賀群Ⅰ	
第77図-69	深鉢・底部	(6.6)			胎土に砂層を多く含む	中期中葉/加賀群Ⅰ	
第77図-70	深鉢・口縁部				内外面ミガキ/扁平な隆帯による文様	中期中葉/加賀群Ⅰ	
第77図-71	深鉢・口縁部				内外面ミガキ、内面に黒炭/外周被熱によるハジケあり	中期中葉/加賀群Ⅰ	
第77図-72	深鉢・口縁部				内外面ミガキ、黒色を呈する/外周被熱によるハジケあり	中期中葉/加賀群Ⅰ	
第77図-73	深鉢・口縁部				内外面ミガキ	中期中葉/加賀群Ⅰ	
第77図-74	深鉢・口縁部				内外面ミガキ、口唇部に赤色が残存する(内外面に被熱によるハジケあり)	中期中葉/加賀群Ⅰ	
第77図-75	深鉢・口縁部				内外面ミガキ	中期中葉/加賀群Ⅰ	
第77図-76	深鉢・口縁部				部分的に赤色が残存する	中期中葉/加賀群Ⅰ	
第77図-77	深鉢・口縁部				横位に沈線を伴う胎に粘土線を貼り付け、その上に交互刻突/内面ミガキ	中期中葉/加賀群Ⅰ	
第77図-78	深鉢・胴部				外面に赤彩、内面ミガキ・黒色を呈する/外周に被熱によるハジケあり	中期中葉/加賀群Ⅰ	
第77図-79	深鉢・底部				内面ミガキ/外周被熱によるハジケあり、胎土無し	中期中葉/加賀群Ⅰ	
第77図-80	深鉢・底部	(13.0)			無文底部/内面ミガキ	中期中葉/加賀群Ⅰ	
第77図-81	覆付土器・口縁部				覆付の突起/沈線区間に管状工具による刻突を境域/内面黒色でミガキ	中期中葉/加賀群Ⅰ	
第77図-82	土製品/石器	3.8	0.8	(4.8)	沈線による文様/胎土:黒く、被熱か	中期中葉/加賀群Ⅰ	
第77図-83	土製品/石器	1.84	1.83	0.62	筒形/近管状/1.76g	中期中葉/加賀群Ⅰ	
第78図-84	石器/石鏡	2.69	1.75	0.28	石鏡(チャート)灰色・不透明、黒線入り/1.47g/宛形/平基/素材割の形状を生かし、底部の厚縁のみ行う	中期中葉/加賀群Ⅰ	
第78図-85	石器/石鏡	2.48	1.44	0.52	石鏡、黒曜石(灰色・やや不透明)/1.77g/土製品/右側面を調整し、左上側に薄縁割があるため、玉割としての使用の可能性もある	中期中葉/加賀群Ⅰ	
第78図-86	石器/石鏡	7.22	5.43	1.61	石鏡、極細砂粒砂質/62.91g/宛形/粗製/刀部は平基・断面共にやや丸みを帯び、砥はなし	中期中葉/加賀群Ⅰ	
第78図-87	石器/石鏡	7.86	4.24	0.96	石鏡、両面/40.93g/宛形/磨製の中や軽流した石材、3凹縁部分はのみを帯び	中期中葉/加賀群Ⅰ	
第78図-88	石器/打製石斧	(9.57)	(5.06)	(2.26)	石斧、半ルンフェルス/(121.81g)/刃部欠損/側面/自然面を大きく残す、基部はさび状に薄く作られ、左側面に刃溝状の細い刻突	中期中葉/加賀群Ⅰ	
第78図-89	石器/磨製石斧	(8.73)	(2.99)	(1.11)	石斧、極細砂粒砂質/(35.99g)/基部断面破片/打点は上方	中期中葉/加賀群Ⅰ	
第78図-90	石器/製石	13.17	3.84	2.40	石鏡、細砂粒砂質/184.03g/宛形/上下縁部が黒色光沢を持つ、表面面全体的に磨り面	中期中葉/加賀群Ⅰ	
第78図-91	深鉢・口縁部				横位手摺部/平行する押し引き文、縁に刻突/胎土:金剛石を含む	中期中葉/加賀群Ⅱ	
第78図-92	深鉢・口縁部				押し起した口縁に凹形文/内外面赤彩	中期中葉/加賀群Ⅱ	
第78図-93	深鉢・口縁部				扁平な隆帯上に沈線と凹形文、胎に沈線/黒炭有	中期中葉/加賀群Ⅱ	
第78図-94	深鉢・胴部				斜目隆帯、胎に沈線、区画内沈線	中期中葉/加賀群Ⅱ	
第78図-95	深鉢・胴部				沈線による文様	中期中葉/加賀群Ⅱ	
第78図-96	深鉢・口縁部				波状口縁/無文口縁部、胎部部に短突の粘土線/外周黒色	中期中葉/加賀群Ⅱ	
第78図-97	深鉢・口縁部				無文口縁部/被熱によるハジケあり、口唇部へ外面にかけて窪み層	中期中葉/加賀群Ⅱ	
第78図-98	深鉢・口縁部				無文口縁部/被熱によるハジケあり	中期中葉/加賀群Ⅱ	
第78図-99	深鉢・口縁部				無文口縁部	中期中葉/加賀群Ⅱ	
第78図-100	深鉢・口縁部	(26.4)			地文縦位和彫糸/平行隆帯による文様、口縁上に連続した突起と突起/外面に窪み層	中期中葉/加賀群Ⅱ	
第78図-101	深鉢・口縁部				地文縦位和彫糸/平行隆帯による文様/内面ミガキ、光沢有、内外面赤彩	中期中葉/加賀群Ⅱ	
第78図-102	深鉢・胴部				頸部隆帯、平行隆帯による頸部区画/頸部地文縦位和彫糸/胎土:角閃石を含む	中期中葉/加賀群Ⅱ	
第78図-103	深鉢・胴部				平行隆帯による頸部区画/頸部地文縦位和彫糸/隆帯による巻文/№12と同一個体か	中期中葉/加賀群Ⅱ	
第78図-104	深鉢・胴部				地文斜位和彫糸/隆帯による文様	中期中葉/加賀群Ⅱ	
第78図-105	深鉢・胴部				地文縦位和彫糸/隆帯による巻文	中期中葉/加賀群Ⅱ	

図版番号	出土遺構名	種別・西種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	技法・文様・その他	推定年代
第7802-16		深鉢/胴部				地文縦紋向隅糸/粘土層による底行無文/内面窪付着	中期中葉/加曾利Ⅰ
第7802-17		深鉢/胴部				地文縦紋向隅糸/細い隆帯と沈線による無文/沈線によるハジケあり、内面窪付着	中期中葉/加曾利Ⅰ
第7802-18		深鉢/胴部				地文縦紋向隅糸	中期
第7802-19		深鉢/底面				地文縦紋向隅糸/内面に窪付着	中期中葉/加曾利Ⅰ
第7802-20		深鉢/底面				地文縦紋向隅糸	中期
第7802-21		深鉢/口縁部				地文縦紋向隅糸/平行隆帯によるクラク文。片側はやや上向きの溝巻きとなる	中期中葉/加曾利Ⅰ
第7802-22		深鉢/口縁部				地文縦紋向隅糸	中期中葉/加曾利Ⅰ
第7802-23		深鉢/口縁部				地文縦紋向隅糸	中期中葉/加曾利Ⅰ
第7802-24		深鉢/口縁部				地文縦紋向隅糸/隆帯による無文無文帯との区画	中期中葉/加曾利Ⅰ
第7802-25		深鉢/胴部				地文縦紋向隅糸/平行隆帯	中期中葉/加曾利Ⅰ
第7802-26		深鉢/胴部				地文縦紋向隅糸	中期中葉/加曾利Ⅰ
第7802-27		深鉢/胴部～底部	(16)			地文縦紋向隅糸/隆帯による無文/内面窪付着のミガキにより平滑、内面赤彩	中期中葉/加曾利Ⅰ
第7802-28		深鉢/底面				地文縦紋向隅糸/細い隆帯による無文/内面窪付着	中期中葉/加曾利Ⅰ
第7802-29		深鉢/底面				地文縦紋向隅糸/隆帯による無文/粘土角閃石を含む、内面窪付着	中期中葉/加曾利Ⅰ
第7802-30		深鉢/底面				地文縦紋向隅糸/沈線による無文	中期中葉/加曾利Ⅰ
第7802-31		深鉢/胴部				地文縦紋向隅糸/多岐管状工具の沈線による無文/内面ミガキ・底化する	中期中葉/加曾利Ⅰ
第7802-32		深鉢/底面	(8.4)			地文縦紋向隅糸/多岐管状工具の沈線による無文/底面ナデにより平滑/内面窪付着	中期中葉/加曾利Ⅰ
第7802-33		深鉢/底面	(7.8)			地文縦紋向隅糸/底面ナデにより平滑/内面底化みられる	中期
第7802-34		深鉢/口縁部				隆帯による口縁部文様	中期中葉/加曾利Ⅰ
第7802-35		深鉢/胴部				隆帯による口縁部との区画、無文無文/外面に僅かに窪付着	中期中葉/加曾利Ⅰ
第7802-36		深鉢/胴部				隆帯による胴部との区画、無文無文	中期中葉/加曾利Ⅰ
第7802-37		深鉢/胴部				隆帯による胴部との区画、無文無文	中期中葉/加曾利Ⅰ
第7802-38		深鉢/口縁部	(26.1)			4単位底状口縁/無文口縁部/口唇部に沈線/胴部に3条の沈線、沈線による無文/内面に無文によるハジケあり	中期中葉/曾利系
第7802-39	194号住居跡	深鉢/口縁部				底面部/地文縦紋向隅糸/底面部に集約する2本の隆帯、下位の底面部からも隆帯が垂下する	中期
第7802-40		深鉢/口縁部				縦紋に平行する隆帯/内面ミガキ	中期
第7802-41		深鉢/胴部				縦紋の沈線/内面底化する	中期
第7902-42		深鉢/胴部				縦紋の沈線/内面底化する	中期
第7902-43		深鉢/胴部				縦紋条線	中期
第7902-44		深鉢/胴部				縁状工具による沈線で縦帯状の文様	中期
第7902-45		深鉢/胴部				沈線による文様、ナデにより表面平滑	中期
第7902-46		浅鉢/口縁部				内外面ミガキ。黒色を呈す	中期
第7902-47		浅鉢/口縁部				口唇部～外面にかけて黒帯有	中期
第7902-48		浅鉢/口縁部				口唇部に黒帯有	中期
第7902-49		浅鉢/胴部				内外面ミガキ	中期
第7902-50		浅鉢/胴部				内外面赤彩・ミガキ	中期
第7902-51		浅鉢/胴部				外面に赤彩、内外面ミガキ	中期
第7902-52		浅鉢/胴部				沈線による文様、器底部に刻み	中期
第7902-53		浅鉢/胴部				無文/器面に無文によるハジケ顕著	中期
第7902-54		不明				無文/粘土角閃石を含む	中期
第7902-55		浅鉢/胴部				外面ミガキ	中期
第7902-56		深鉢/胴部				胴部無文帯/隆帯による口縁部区画	中期中葉/加曾利Ⅰ
第7902-57		深鉢/底面				隆帯残存7あり	中期
第7902-58		小型鉢/底面		(4.8)		薄手なため、小型の土器と考えられる/外表面窪付着	中期
第7902-59		深鉢/底面				底面ナデ調整により光沢を持つ	中期
第7902-60		石器/石鏃	(2.54)	(1.36)	0.32	石鏃チャート(灰白色、やや不透明)/0.91g/基部欠損/凹溝/側面を縦帯状に加工	中期
第7902-61		石器/打製石片	10.04	4.99	2.29	石鏃-中粒砂岩/129.75g/先形/短形/刃部直線的、表面に摩擦感、左側縁種上潰れ	中期
第7902-62		石器/打製石片	10.00	5.43	2.28	石鏃-細粒砂岩/165.82g/先形/短形/刃部直線的、表面に摩擦感、左側縁種上潰れ	中期
第7902-63		石器/打製石片	7.58	2.87	(1.12)	石鏃-埋藏基灰岩/41.16g/裏面欠損	中期
第7902-1		深鉢/胴部～底部	最大径 34.8	(16.5)	最小径 22	地文縦紋向隅糸/胴部無文/平行隆帯による胴部区画、無文/内面に無文によるハジケや彩色あり	中期中葉/加曾利Ⅰ
第7902-2		深鉢/口縁～胴上部	30.2	(22.8)		口縁に大突起1、小突起3/口縁部(地文縦紋向隅糸、平行隆帯による文様)/胴部無文/胴部(地文縦紋向隅糸、隆帯による無文)	中期中葉/加曾利Ⅰ
第7902-3		深鉢/口縁～胴上部	25.4	(15.4)		口縁部(平行隆帯、単隆帯によるワラビ手文を5単位、区画内は縦紋の平行沈線を見積)/胴部無文/胴部(地文縦紋向隅糸)	中期中葉/加曾利Ⅰ
第7902-4		深鉢/口縁～底部		(8.4)	胴部最大径 19.3	口縁部無文/胴部は縦紋、胴部は縦紋の多岐管状工具による平行沈線を地文とする/細い粘土層による4種類の無文/内面はミガキにより平滑で、胴部以下は黒色を呈する	中期中葉/曾利Ⅰ
第8002-5		深鉢/口縁部				粘土・金雲母・石英を含む	中期中葉/阿玉台
第8002-6		深鉢/胴部				断面三角形の隆帯上に刺突/平行する引文/粘土・金雲母・石英を含む	中期中葉/阿玉台
第8002-7		深鉢/胴部				ヒズ状隆帯/粘土・金雲母・石英を含む	中期中葉/阿玉台
第8002-8		深鉢/胴部				沈線部に用文	中期中葉/曾利Ⅰ
第8002-9		深鉢/胴部				刻目隆帯、脇に沈線、区画内(爪形文)/粘土結晶片を含む	中期中葉/曾利Ⅰ
第8002-10		深鉢/胴部				沈線による文様	中期中葉/曾利Ⅰ
第8002-11		深鉢/胴部				隆帯上に管状工具で刺突	中期中葉/曾利Ⅰ
第8002-12		深鉢/胴部				隆帯上に管状工具で刺突、横位の沈線列	中期中葉/曾利Ⅰ
第8002-13		深鉢/口縁部				隆帯上に交互刺突	中期中葉/曾利Ⅰ
第8002-14		深鉢/胴部				隆帯上に交互刺突	中期中葉/曾利Ⅰ
第8002-15		深鉢/口縁部				無文口縁部/胴部に隆帯	中期中葉/曾利Ⅰ
第8002-16		深鉢/口縁部				無文口縁部/波状口縁部	中期中葉/曾利Ⅰ
第8002-17		深鉢/口縁部				無文口縁部	中期中葉/曾利Ⅰ
第8002-18		深鉢/口縁部				地文縦紋向隅糸/平行隆帯	中期中葉/加曾利Ⅰ

図番番号	出土 遺構名	種別・形状	口徑・ 長さ	直径・ 幅	高さ・ 厚さ	技法・文様・その他	推定年代
第8002-19		深鉢/口縁部				地文綻出し関係/内面黒色	中期中葉/加群I
第8002-20		深鉢/口縁部				地文綻出し関係	中期中葉/加群I
第8002-21		深鉢/口縁部 (54.8)				地文綻出し関係/平行隆帯	中期中葉/加群I
第8002-22		深鉢/口縁部				地文綻出し関係/平行隆帯	中期中葉/加群I
第8002-23		深鉢/口縁部				地文文様関係	中期中葉/加群I
第8002-24		深鉢/口縁部				地文綻出し関係/頸部無文/平行隆帯、整条文	中期中葉/加群I
第8002-25		深鉢/口縁部				地文綻出し関係/頸部無文/平行隆帯	中期中葉/加群I
第8002-26		深鉢/口縁部				地文綻出し関係/平行隆帯	中期中葉/加群I
第8002-27		深鉢/口縁部				地文綻出し関係/頸部無文/平行隆帯、整条文	中期中葉/加群I
第8002-28		深鉢/口縁部				地文綻出し関係/平行隆帯/内面に窪行着	中期中葉/加群I
第8002-29		深鉢/口縁部				地文綻出し関係/隆帯による整条文/内面に窪行着	中期中葉/加群I
第8002-30		深鉢/口縁部				地文綻出し関係/内面窪行着	中期中葉/加群I
第8002-31		深鉢/口縁部				地文綻出し関係/隆帯による整条文	中期中葉/加群I
第8002-32		深鉢/口縁部				地文綻出し関係/類似形状の取り付け文による整条文/内面に窪行着	中期中葉/加群I
第8002-33		深鉢/口縁部				地文綻出し関係/平行隆帯	中期中葉/加群I
第8002-34		深鉢/口縁部				地文綻出し関係/平行隆帯	中期中葉/加群I
第8002-35		深鉢/口縁部				地文綻出し関係/平行隆帯と沈線によるワラビ手文/胎土角閃石を含む	中期中葉/加群I
第8002-36		深鉢/口縁部				地文綻出し関係/平行隆帯/内面窪行着	中期中葉/加群I
第8002-37		深鉢/口縁部				地文綻出し関係/平行隆帯/内面黒色でやや光沢を持つ	中期中葉/加群I
第8002-38		深鉢/口縁部				地文綻出し関係	中期中葉/加群I
第8002-39		深鉢/口縁部				地文綻出し関係/隆帯による滑き文/頸部無文	中期中葉/加群I
第8002-40		深鉢/口縁部				地文綻出し関係/口縁部無文、平行隆帯	中期中葉/加群I
第8002-41		深鉢/口縁部				地文綻出し関係/隆帯による整条文/頸部無文	中期中葉/加群I
第8002-42		深鉢/口縁部				地文綻出し関係/隆帯による整条文	中期中葉/加群I
第8002-43		深鉢/口縁部				地文綻出し関係/隆帯による整条文	中期中葉/加群I
第8002-44		深鉢/口縁部				地文綻出し関係/隆帯による整条文	中期中葉/加群I
第8002-45		深鉢/口縁部				頸部無文等、平行隆帯による区画	中期中葉/加群I
第8002-46		深鉢/口縁部				頸部無文等、平行隆帯による区画	中期中葉/加群I
第8002-47		深鉢/口縁部				地文綻出し関係/唇曲部に多岐管状工具による平行沈線・外皮側角を用いた連続刺突	中期中葉/加群I
第8002-48		深鉢/口縁部		9.8		地文綻出し関係/多岐管状工具による沈行整条文	中期中葉/加群I
第8002-49		深鉢/口縁部				地文綻出し関係/沈線による唇部区画、整条文/頸部無文/内面黒色でやや光沢を持つ	中期中葉/加群I
第8002-50		深鉢/口縁部				地文綻出し関係/多岐管状工具による整条文	中期中葉/加群I
第8002-51		深鉢/口縁部				地文綻出し関係/多岐管状工具による整条文	中期中葉/加群I
第8002-52		深鉢/口縁部				地文綻出し関係/多岐管状工具による整条文/胎土角閃石を含む	中期中葉/加群I
第8002-53		深鉢/口縁部				地文綻出し関係/沈線による整条文	中期中葉/加群I
第8002-54		深鉢/口縁部				地文綻出し関係/沈線による整条文/内面に窪行着	中期中葉/加群I
第8002-55		深鉢/口縁部				多岐管状工具による平行沈線、機率的に爪形文、ボタン状の取り付け文/内面窪行着	中期中葉/群I系
第8002-56		深鉢/口縁部				沈線による堆積文	中期中葉/群I系
第8002-57		深鉢/口縁部				突起部	中期中葉/加群I
第8002-58		有孔筒行土器	14.8	14.5		内外面赤彩/筒部に孔、棒状工具で、3回突き刺して穿孔したと思われる/胴下部に黒泥	中期
第8002-59		有孔筒行土器				№58と同一個体だが結合しない	中期
第8002-60		浅鉢/口縁部				内外面ミガキ/外面に赤・黒彩が一部残る	中期
第8002-61		浅鉢/口縁部				内外面ミガキ/胎土角閃石を含む	中期
第8002-62		浅鉢/口縁部				内外面ミガキ	中期
第8002-63		浅鉢/口縁部				内外面赤彩	中期
第8002-64		浅鉢/口縁部				内外面ミガキ・赤彩/胎土石英を含む	中期中葉/加群I
第8002-65		浅鉢/口縁部				唇曲部に赤彩が残存	中期
第8002-66		浅鉢/口縁部				唇曲部に隆帯/内外面ミガキ、外表面赤・口縁へ内面窪行着	中期
第8002-67		浅鉢/口縁部				内外面ミガキ/口縁へ内面黒色/胎土角閃石を含む	中期
第8102-68		鉢/口縁部→胴部				地文綻出し関係/平行する低い隆帯による滑き文/外面に被刺によるハシゲ	中期中葉/加群I
第8102-69		浅鉢/胴部				隆帯上に2列の刺突、類似沈線が見え、区画内には沈線を見出し、内面ナアにより平滑/微塵、刺れ口ハシゲ	中期中葉/履後II
第8102-70		底部			11.9	内面平滑	中期
第8102-71		土製品/耳栓	1.55		2.81	一部欠損/全面ミガキで丁寧な作り。全体的に黒色を呈し、彩色していたと思われる。重量0.72g/胎土細砂粒を少量含む	中期
第8102-72		石製/小型磨製石片	(1.55)	(1.78)	0.30	石質凝灰岩/暗緑灰色・斑に緑色/(1.45g)/基部欠損	
第8102-73		石製/玉?	2.10	1.64	1.36	石質・滑石に5~6黄色25%4、やや不透明/6.64g/表面は滑らかで弱い光沢がある。明確な加工跡は見られなかった。自然産か	
第8102-74		石製/打製石片	8.73	5.38	1.84	石質・凝灰岩/100.15g/完形/形状は石片に近いがみぞ部を作らない	
第8102-75		石製/打製石片	13.11	4.69	2.25	石質・凝灰岩/173.17g/完形/筒型/刃部・左側面中位までが研磨され光沢をもつ、左側面上位に黒い	
第8102-76		石製/打製石片	(9.66)	4.38	2.08	石質・凝灰岩/(150.17g)/刃部欠損/筒型/左側面溝れ	
第8102-77		石製/打製石片	(4.70)	(3.63)	(1.50)	石質・凝灰岩/(39.26g)/下半欠損/両側面溝れ	
第8102-78		石製/凹み石	(10.40)	(9.64)	(2.23)	石質・凝灰岩/(306.01g)/一部残存	
第8102-1		深鉢/口縁部→胴部	34.8	(21.9)		内湾する無文口縁部/頸部文様形は刺目隆帯による横内面区画を5個持つ。区画内は綻出しの平行沈線/胴部は綻出し関係文、Pn11層土から破片が出たし接合。内面胴部以下の一部に煤の付着と微塵のハシゲが見られる	中期中葉/履後II 新地平次
第8102-2		深鉢	25.1	11.1	39.7	口縁に大突起を1つ持つ。内湾する口縁部は無文。突起部は、頸部くびれ部の前後に連続した把手が付く。胴上半は滑らか、文様が削げられ、高さを持つ隆帯と波頭が滑きく波状文を施す。空白部は平行沈線や滑き文で埋まる。隆帯上や沈線間には細かめの爪形文や交互刺/外表面胴部、内面胴下部に窪行着/胎土・結晶片岩を含む	中期中葉/履後II 新地平次

図版番号	出土 遺構名	種別・西種	口径・ 長さ	底径・ 幅	高さ・ 厚さ	技法・文様・その他	推定年代
第82図-3		深鉢	26.1	10.3	(36.6)	口縁に大突起を1つ持ち、直立する口唇部に凸形文。内溝する口唇部は無文。ややくびれる腹部の縁部は割目線によって区画される。それぞれ異なる文様であるが、共通して縁部による2分割と、沈線による再区画や三叉文が施される／外面の底部以上、内面の口縁以下は被熱による変色が見られ、胎土も全体的に粗い	中期中葉/晩期Ⅱ 新地平9c
第82図-4		深鉢	(14.8)	26.1	(9.2)	縁部の内側型土器。口唇部に文様帯、部分的に粗面凸形文を持つ隆帯が顕著状にめぐる。以下は縦位孔縁系／内面土質は変色。下平は僅か付着しハジケが見られる	中期中葉/晩期Ⅱ 新地平9c
第82図-5		深鉢/口縁一側下部	(26.6)		(37.5)	口唇部が外反する円筒型。上半に文様帯を設け、割目線により区画。大部分を欠損するため全体は不明だが、区画中央の凹文から字状に隆帯が広がる。区画内は管工具を用いた平行沈線と交互刻突文で構成される。下半平は凸形文と縦文内溝下部に埋め付着	中期中葉/晩期Ⅱ 新地平9c
第83図-6		深鉢/口縁一側下部	(27.4)		(23.3)	円筒型土器。胎土平の交差部は部分的に刻みのある凸・隆帯により上下2階に区画される。上段で1つ以上の割目線が交がり確認から推定する。下段は三角・楕円区画。交互は平行沈線や滑文で装飾する／下半平は斜位孔縁文/内面下部に僅か付着、胎土白色粒子を多量、金雲母を含む	中期中葉/晩期Ⅱ 新地平9c
第83図-7		深鉢/口縁一側下部	(22.5)		(23.0)	口縁に突起を持ち、口唇部が肥厚する円筒型土器。割目隆帯によって長方形に区画。上段は平行沈線と刻みによる棒状文。下段は沈線による再区画と刻み、顕著状沈線のもと、沈線間に楕円工具の刻突により凸形文を施したものが見られる。区画以下は無文か／内面下部に埋め付着	中期中葉/晩期Ⅱ 新地平9ab
第83図-8		深鉢/口縁一側下部		10.2	(20.8)	割目隆帯による楕円・三角の断面区画。幅約1.5+1区画で区画内は平行沈線。三角は4区画で区画内は凸形文や三叉文/内面全体的に僅か付着し、見込み部にハジケが見られる。底面は織成がやや厚く、ナ子によりやや平直	中期中葉/晩期Ⅱ 新地平9ab
第83図-9		深鉢/口唇部				縁状把手/土面上に角押文。波状の隆帯に沿う角押文/胎土金雲母を含む	中期中葉/阿玉台
第83図-10		深鉢/胴部				断面三角形的隆帯にボタンの跡が付付文/胎土金雲母	中期中葉/阿玉台
第83図-11		深鉢/胴部				断面三角形的隆帯/胎土金雲母	中期中葉/阿玉台
第83図-12		深鉢/胴部				角押文	中期中葉/阿玉台
第83図-13		深鉢/口唇部				帯起部/胎土金雲母を微量含む	中期中葉/隆帯
第83図-14		深鉢/口唇部				帯起部/楕円形の押印文	中期中葉/隆帯
第83図-15		深鉢/口唇部				帯起部の波状口縁/割目隆帯。帯に連続刻突/口唇部内面に埋め付着	中期中葉/隆帯
第83図-16		深鉢/口唇部				縁位の凸形文。その内側に直交する凸形文/内面に埋め付着	中期中葉/隆帯
第83図-17		深鉢/口唇部				隆帯に沿って凸形文	中期中葉/隆帯
第83図-18		深鉢/口唇部				縁位に顕著状工具を押し引き	中期中葉/隆帯
第83図-19		深鉢/口唇部				口縁に割目	中期中葉/晩期Ⅱ
第83図-20		深鉢/口唇部				口唇部に顕著状に隆帯を貼り付け、一部に割目	中期中葉/晩期Ⅱ
第83図-21		深鉢/口唇部				沈線による文様/外面平直、外面黒色、内面赤彩	中期中葉/晩期Ⅱ
第83図-22		深鉢/口唇部				縁位孔縁文	中期中葉/隆帯
第83図-23		深鉢/口唇部				顕著状突起部/割目隆帯を垂下する	中期中葉/隆帯
第83図-24		深鉢/胴部				割目隆帯。帯に沈線。一部に刻突/胎土角閃石を含む	中期中葉/晩期Ⅱ
第83図-25		深鉢/胴部				帯・胎土結りを貼り付け/内面ミガキ。外面に埋め付着	中期中葉/晩期Ⅱ
第83図-26		深鉢/胴部				割目隆帯による楕円区画。区画内沈線。刻み/下半平は縦位孔縁文/胎土結晶片岩を含む。内面に埋め付着	中期中葉/晩期Ⅱ
第83図-27		深鉢/口唇部		(9.2)		地文縦位・斜位孔縁系/沈線による滑巻文/胎土角閃石を含む	中期中葉/加賀野Ⅰ 併行
第83図-28		深鉢/口唇部				併行隆帯。突起部	中期中葉/加賀野Ⅰ
第83図-29		深鉢/胴部				地文縦位孔縁系/隆帯による平行滑巻文	中期中葉/加賀野Ⅰ
第83図-30		深鉢/胴部				地文縦位孔縁文/沈線による彫巻文	中期中葉/加賀野Ⅰ
第83図-31		深鉢/胴部				縁位孔縁文	中朝
第83図-32		深鉢/胴部				縦位孔縁文	中朝
第83図-33		深鉢/胴一底部	(13.5)	(8.8)		縁位孔縁文/内面炭化	中朝
第83図-34		深鉢/底部				内面に埋め付着	中朝
第84図-35		深鉢/底部				縦位孔縁系/胎土角閃石を含む。内面に埋め付着	中朝
第84図-36		深鉢/底部				内面炭化	中朝
第84図-37		浅鉢/口唇部				口縁に刻み、沈線。内面に縁線を持つ/内外面ミガキ。口唇部→口縁内面に僅かに赤彩が残存する	中朝
第84図-38		浅鉢/口唇部				波状口縁/内面に段を持つ/内外面ミガキ。内外面赤彩。口唇部黒色/胎土結晶片岩を含む	中朝
第84図-39		浅鉢/口唇部				縁位孔縁文/被熱によるハジケが見られる/内面ミガキ	中朝
第84図-40		浅鉢/口唇部				内外面ミガキ。赤彩。内面に黒炭質	中朝
第84図-41		浅鉢/胴部				内外面ミガキ。赤彩/No40と同一體様	中朝
第84図-42		浅鉢/口唇部				内外面ミガキ。赤彩。口唇部に黒炭	中朝
第84図-43		浅鉢/口唇部				内外面ミガキ。口唇部黒炭。外面黒色/胎土結晶片岩を含む	中朝
第84図-1		深鉢/口縁一側上部	24.3		(20.0)	磨らんだ胴部から無文の口唇部が肥厚しつつ直立する。胴部以下は斜位-縦位の孔縁系。外面口唇部直下に僅か付着し、胴部以下はハジケが見られ、内面胴部以下は僅か付着しハジケが特に顕著である。胎土角閃石・白色粒子を含む	中期中葉/隆帯Ⅱ後半
第84図-2		深鉢/口縁一側上部	(42.0)		(21.2)	無文の口唇部は内溝し、口唇部は水平になる。胴部以下は僅かに磨らみ、文様帯を設ける。後半より縁状工具部品の刻突。削工具を施めた連続刻突。凸形文が見られ、区画内は沈線による再区画。連続状の凸文など/内面口唇部一部や胴下部に僅か付着。顕著状の土器よりも風化が進んでいる	中期中葉/隆帯Ⅱ後半
第84図-3		深鉢/口唇部				把手部/口縁に縁状工具の押印。山状の隆帯を垂下。角押文による滑巻文/胎土金雲母・石英を含む	中期中葉/阿玉台
第84図-4		深鉢/口唇部				口唇部肥厚/胎土金雲母・石英を含む	中期中葉/阿玉台
第84図-5		深鉢/胴部				交互刻突。割目線を持つ隆帯を十字に貼り付け/胎土：金雲母・白色粒を含む	中期中葉/阿玉台
第84図-6		深鉢/口唇部				無文口縁。縦位の管状工具の刻突列/内外面黒色。胎土角閃石を含む	中期中葉/隆帯
第84図-7		深鉢/口唇部				波状口縁/外面黒色。胎土：角閃石を含む	中期中葉/隆帯
第84図-8		深鉢/胴部				隆帯部に沈線と粗面凸形文	中期中葉/晩期Ⅱ
第84図-9		深鉢/胴部				隆帯部に棒状の刻み	中期中葉/晩期Ⅱ
第84図-10		深鉢/胴部				割目隆帯。縁状工具部品の押印→刻突を持つ隆帯による滑巻文	中期中葉/晩期Ⅱ
第84図-11		深鉢/胴部				隆帯上に凸形文。ボタンの跡が付付文	中期中葉/晩期Ⅱ
第84図-12		深鉢/胴部				割目隆帯。沈線による文様/内外面黒色	中期中葉/晩期Ⅱ
第84図-13		深鉢/胴部				沈線間に交互刻突/胎土角閃石を含む/外面被熱によるハジケあり	中期中葉/晩期Ⅱ

197号住居跡

198号住居跡

図番番号	出土 遺構名	種別・部類	口徑・ 長さ	直径・ 幅	高さ・ 厚さ	技法・文様・その他	推定年代	
第8402-14	198号住居跡	深鉢/胴部				隆帯・沈線による区画内に列突列/胎土に角閃石を含む。内面に深付着	中期中葉/厩塚Ⅱ	
第8402-15		深鉢/胴部				隆帯区画内に縦沈線/内面に深付着	中期中葉/厩塚Ⅱ	
第8402-16		深鉢/口縁部				縦線状突起	中期中葉/厩塚	
第8402-17		深鉢/口縁部				口縁上突起/付け懸に列突?列/胎土に角閃石を含む	中期中葉/厩塚	
第8402-18		深鉢/口縁部				地文斜位肌艶糸/口唇部に黒直帯	中期中葉/加賀村Ⅰ	
第8402-19		深鉢/口縁部				筒位隆帯、下部に波状の隆帯附付	中期中葉/加賀村Ⅰ	
第8402-20		深鉢/胴部				頸部無文帯/隆帯による頸部との区画/内面縦線によるハジケあり	中期中葉/加賀村Ⅰ	
第8402-21		深鉢/胴部				地文斜位肌艶糸/隆帯による懸垂文/外面縦線によるハジケあり	中期中葉/加賀村Ⅰ	
第8402-22		深鉢/胴部				地文縦位肌艶文/沈線による文様	中期中	
第8402-23		浅鉢/口縁部				無文/外面三方キ	中期中	
第8402-24		浅鉢/口縁部 (28)				無文/外面三方キ	中期中	
第8402-25		浅鉢/口縁部				無文	中期中	
第8402-26		浅鉢/口縁部				無文/外面赤彩、内面下部に深付着	中期中	
第8402-27		浅鉢/口縁部	(26.4)			無文/口唇部へ外面赤彩、内面黒色	中期中	
第8402-28		浅鉢/口縁部				無文/内外面三方キ、外面黒色、赤彩	中期中	
第8402-29		深鉢/底部				縁部で小型カ/縦位肌艶文/内面に深付着	中期中	
第8402-30		深鉢/底部				無文/内面に深付着	中期中	
第8402-31		深鉢/底部				無文/内面に深付着。被熱によるハジケあり	中期中	
第8402-32		深鉢/底部				縦位肌艶文/内面に被熱によるハジケ、内面下部に深付着。隆帯痕跡あり	中期中	
第8402-33		深鉢/底部				縦位肌艶糸/内面に沈線する	中期中	
第8402-34		石皿/石皿	(2.75)	(1.56)	0.43	石質黒曜石灰色・透明度高い、黒色の焼(1/29g)/基部欠損/凹基/側面に製造時に加工		
第8402-35		石皿/石皿	9.24	3.98	0.99	石質黒曜石砂粒/46.09g/壳形/縦型/薄手作り。両側面の縁縁上に中や丸みを帯びる筋あり		
第8402-36		石皿/打製石	(6.79)	(4.68)	2.25	石質黒曜石(3.09g)/刀状破損/筒型/表に自然面を残す		
第8402-37		石皿/打製石	11.37	4.15	1.75	石質黒曜石砂粒(110.47g)/壳形/短筒型/表に自然面を残す		
第8402-38		石皿/打製石	(8.77)	(5.51)	2.98	石質中粒砂粒(218.93g)/両端部欠損/短筒型/表に自然面を残す		
第8402-39		石皿/打製石	(8.22)	(5.80)	2.20	石質ホルンフェルス(151.23g)/一部欠損/ゆるくくびれる分脚型		
第8501-1		199号住居跡	(角丸打製土器)	筒部 16.2	7.2	(14.5)	口縁部欠損/無文。外面三方キ/隆帯状の低い帯と直立する口縁の隆帯部、口縁部に身丸傷つきあり/内外面赤彩、内面底部黒色、外面に黒直帯	中期中
第8501-2			浅鉢	(50.0)	(10.8)	16.8	口縁部は内溝し、口唇部が直立する/内外面三方キ、赤彩、外面黒直帯	中期中葉/厩塚Ⅱ～ 加賀村Ⅰ
第8501-3			深鉢/胴部				断面三角形の隆帯上に押圧/胎土に黒帯・石炭を含む	中期中葉/河玉台
第8501-4			鉢/口縁部				波状口縁/口縁部に斜目隆帯による区画。区画内は平行沈線。胴部は縦位肌艶糸/外面上部黒色。内面に深付着。胎土白色粒子を多量に含む。	中期中葉/厩塚Ⅱ
第8501-5			深鉢/口縁部				内溝する無文口縁部/頸部の壁面部に隆帯を2本/胎土角閃石を含む。口唇部に黒直帯	中期中葉/厩塚Ⅱ
第8501-6			深鉢/口縁部				内溝する無文口縁部/内外面黒色。内面に赤彩	中期中
第8501-7			深鉢/口縁部				内溝する無文口縁部/外面ハジケが顕著で内面から口唇部外面にかけて灰化している	中期中
第8501-8	深鉢/口縁部					無文口縁部、口唇部は折り直し	中期中	
第8501-9	深鉢/口縁部					無文口縁部	中期中	
第8501-10	深鉢/口縁部					波状口縁。無文/外面黒色	中期中	
第8501-11	深鉢/口縁部		(15)			直立する無文口縁部/外面ハジケが顕著/胎土に角閃石を含む。口唇部に深付着	中期中	
第8501-12	深鉢/口縁部					沈線による横杓、円文。下部に低い斜目隆帯/器底ハジケ多い	中期中葉/厩塚	
第8501-13	深鉢/胴部					低い隆帯上に斜目/内面に深付着	中期中葉/厩塚Ⅱ	
第8501-14	深鉢/胴部					斜目隆帯による横杓区画。区画内斜目と爪形文/内面に僅かに深付着	中期中葉/厩塚Ⅱ	
第8501-15	深鉢/胴部					地文縦位肌艶文。低い斜目隆帯	中期中	
第8501-16	深鉢/口縁部					地文縦位肌艶糸/平行隆帯/外面黒色	中期中葉/加賀村Ⅰ	
第8501-17	深鉢/口縁部					地文斜位肌艶糸/平行隆帯/内面赤彩、外面黒直帯	中期中葉/加賀村Ⅰ	
第8501-18	深鉢/口縁部					地文斜位肌艶糸	中期中葉/加賀村Ⅰ	
第8501-19	深鉢/口縁部					地文縦位肌艶糸/外面に深付着	中期中葉/加賀村Ⅰ	
第8501-20	口縁/口縁一部					平行隆帯による口縁部文様。無文胴部との区画	中期中葉/加賀村Ⅰ	
第8501-21	深鉢/口縁部					地文縦位肌艶糸/平行隆帯/内外面に深付着	中期中葉/加賀村Ⅰ	
第8501-22	深鉢/胴部					平行隆帯による無文胴部との区画/内面に深付着	中期中葉/加賀村Ⅰ	
第8501-23	深鉢/胴部					地文縦位肌艶糸/隆帯による無文胴部との区画/内面大きなハジケ	中期中葉/加賀村Ⅰ	
第8501-24	深鉢/胴部					頸部無文帯、平行隆帯縁線による頸部との区画/外面にハジケ	中期中葉/加賀村Ⅰ	
第8501-25	深鉢/胴部					頸部無文帯、平行隆帯による頸部との区画/胴部地文縦位肌艶糸	中期中葉/加賀村Ⅰ	
第8501-26	深鉢/胴部					地文太目の縦位肌艶糸/平行隆帯による弧状の懸垂文/外面にハジケあり	中期中葉/加賀村Ⅰ	
第8501-27	深鉢/胴部					地文縦位肌艶糸/隆帯による斜行懸垂文	中期中葉/加賀村Ⅰ	
第8501-28	深鉢/胴部					地文縦位肌艶糸/隆帯による斜行懸垂文	中期中葉/加賀村Ⅰ	
第8501-29	深鉢/胴部					地文縦位肌艶糸/隆帯による懸垂文	中期中葉/加賀村Ⅰ	
第8501-30	深鉢/胴部					地文縦位肌艶糸/平行隆帯による懸垂文	中期中葉/加賀村Ⅰ	
第8501-31	深鉢/胴部					地文縦位肌艶糸/平行隆帯による懸垂文/土器内面まで灰化している	中期中葉/加賀村Ⅰ	
第8501-32	深鉢/胴部					地文縦位肌艶糸/隆帯による懸垂文/外面部分的に深付着	中期中葉/加賀村Ⅰ	
第8501-33	深鉢/底部		(10.6)			地文縦位肌艶糸/平行隆帯による懸垂文/内面深付着/胎土角閃石を含む	中期中葉/加賀村Ⅰ	
第8501-34	深鉢/底部	(10.6)			地文縦位肌艶糸/隆帯による懸垂文	中期中葉/加賀村Ⅰ		
第8501-35	鉢?/底部	(7.4)			地文縦位肌艶糸/薄手である。内面黒色で平滑/外面ハジケ多い	中期中		
第8501-36	深鉢/底部				地文縦位肌艶糸	中期中		
第8501-37	深鉢/胴部				地文縦位肌艶文/平行隆帯による頸部との区画。斜行懸垂文/内面に深付着	中期中葉/加賀村Ⅰ		
第8501-38	深鉢/胴部				地文縦位肌艶文/隆帯による頸部との区画	中期中葉/加賀村Ⅰ		
第8501-39	深鉢/胴部				地文縦位肌艶文/隆帯による懸垂文/胎土角閃石を含む。内面深付着	中期中葉/加賀村Ⅰ		
第8501-40	深鉢/胴部				地文斜位肌艶文/平行隆帯による懸垂文/内面に深付着	中期中葉/加賀村Ⅰ		
第8501-41	深鉢/胴部				地文縦位肌艶文/多量管状工具内面側の沈線による頸部区画。懸垂文	中期中葉/加賀村Ⅰ		
第8501-42	深鉢/胴部				地文縦位肌艶文/沈線による斜行懸垂文/内面に深付着	中期中葉/加賀村Ⅰ		

図版番号	出土遺構名	種別・西種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	技法・文様・その他	推定年代
第85図-43		深鉢/胴部				地文縦位照糸形/漆黒文	中期中Ⅲ/加賀料Ⅱ
第85図-44		深鉢/胴部				地文不明、縦位ハシ織文/内面に灰行着	中期
第85図-45		深鉢/底部			6.0	縦帯僅かにハジキあり	中期
第85図-46		深鉢/底部				縦帯ハジキあり	中期
第85図-47		深鉢/口縁部				沈降による凹み円	中期中Ⅲ/加賀料Ⅲ
第85図-48		深鉢/口縁部				隆帯による凹み円?/裏面ハジキ顕著	中期中Ⅲ/加賀料Ⅲ
第85図-49		深鉢/胴部				多数管状工具の沈降と連続的変形により横位に区画。以下同工具による縦位沈降/内面に灰行着	中期中Ⅲ/加賀料Ⅲ
第86図-50		深鉢/不明				地文横位の膠漆状工具による条帯/隆帯を貼り付ける	中期
第86図-51		浅鉢/口縁部				内外面ミガキ、内面に黒炭着	中期中Ⅲ/加賀料Ⅲ
第86図-52		浅鉢/口縁部				内外面ミガキ、外面に赤彩顕著	中期中Ⅲ/加賀料Ⅲ
第86図-53		浅鉢/口縁部				内外面ミガキ/胎土赤褐色、口縁部に黒炭着	中期中Ⅲ/加賀料Ⅲ
第86図-54	199号住居跡	浅鉢/口縁部				内外面ミガキ、内外面赤彩/胎土赤褐色	中期中Ⅲ/加賀料Ⅲ
第86図-55		浅鉢/口縁部				内外面ミガキ、口縁へ外面黒色	中期中Ⅲ/加賀料Ⅲ
第86図-56		浅鉢/口縁部				内外面ミガキ、内面黒色、外面赤彩	中期中Ⅲ/加賀料Ⅲ
第86図-57		深鉢/口縁部				外面ミガキ	中期
第86図-58		深鉢/胴部				内外面ミガキ、内外面赤彩/外面ハジキ多数、外面に黒炭着、胎土赤褐色	中期
第86図-59		深鉢/胴部				隆帯上に横位工具側面の押圧と横位丸織文/内外面ミガキ/胎土金雲母・石炭を含む	中期中Ⅲ/阿五台
第86図-60		浅鉢/胴部				横位の平行隆帯、そこから隆帯が垂下する/内外面ミガキ/内面黒色	中期中Ⅲ/加賀料Ⅲ
第86図-61		石器/打製石斧	9.10	5.26	2.11	石質:黒頁岩/119.66g/先形/側形/基部を大きく打ち欠き戻される。表に自然面を残す	
第86図-62		石器/打製石斧	(10.95)	(6.00)	(3.22)	石質:黒頁岩/120.08g/先形/側形/基部を大きく打ち欠き戻される。表に自然面を残す。基部は丸く調整し、縁部にやや厚みが残らる。踵合あり	
第86図-63		石器/磨り石	14.22	10.34	4.99	石質:閃石質/1052.35g/先形/表面黒平滑	
第86図-64		石器/石皿	27.4	18.4	7.05	石質:多孔質頁岩/4.880g/先形	
第87図-1		深鉢/口縁部				V字状に隆帯を貼り付け/胎土金雲母を含む	中期中Ⅲ/阿五台
第87図-2		深鉢/口縁部				縦位のペン先状刻列、横位の爪形文による区画文/裏面黒平滑	中期中Ⅲ/加賀料Ⅱ
第87図-3		深鉢/胴部				隆帯に爪形文/内外面にハジキあり、内面に灰行着	中期中Ⅲ/加賀料Ⅱ
第87図-4		深鉢/口縁部				縦位の沈降時に横位工具による刻列/口縁へ外面黒色	中期中Ⅲ/加賀料Ⅱ
第87図-5		深鉢/口縁部				口縁に無文部を残し、以下に縦位照糸	中期
第87図-6		深鉢/口縁部				無文/外面部分的に灰行着	中期
第87図-7		深鉢/口縁部				無文	中期
第87図-8		深鉢/口縁部				地文横位照糸?/十字に交差する低い平行隆帯	中期
第87図-9		深鉢/胴部				割目隆帯、縁に沈降、区画内に爪形文	中期中Ⅲ/加賀料Ⅲ
第87図-10		深鉢/口縁部	(14.4)		6.80	地文縦位照糸/割目隆帯によるフラヒ手文/胎土結晶片着を含む	中期中Ⅲ/加賀料Ⅲ
第87図-11		深鉢/胴部				口縁部地文縦位照糸が/口縁部とは横位工具側面の押圧を待つ隆帯によって区画	中期中Ⅲ/加賀料Ⅲ
第87図-12		深鉢/口縁部	(14.0)			地文斜位照糸/口縁部下から隆帯による懸文/内外面に僅かに灰行着	中期中Ⅲ/加賀料Ⅲ
第87図-13		深鉢/口縁部				地文(口縁部)斜位照糸、頸部:縦位照糸/平行隆帯による文様/内面にハジキあり/胎土結晶片着を含む、縁部	中期中Ⅲ/加賀料Ⅲ
第87図-14		深鉢/口縁部				底面部/地文横位照糸/大きくせり出す平行隆帯による文様/胎土角閃石を含む	中期中Ⅲ/加賀料Ⅲ
第87図-15		深鉢/口縁部				地文斜位照糸/平行隆帯によるせり出す文様/胎土角閃石を含む	中期中Ⅲ/加賀料Ⅲ
第87図-16		深鉢/口縁部				地文縦位照糸/大きくせり出す平行隆帯による文様/裏面ハジキあり	中期中Ⅲ/加賀料Ⅲ
第87図-17		深鉢/口縁部				地文縦位照糸/平行隆帯によるフラヒ手文	中期中Ⅲ/加賀料Ⅲ
第87図-18		深鉢/口縁部	(23.0)			地文(口縁部)斜位照糸、頸部:縦位照糸/平行隆帯による文様	中期中Ⅲ/加賀料Ⅲ
第87図-19		深鉢/口縁部	(19.8)			地文斜位照糸/平行隆帯による文様	中期中Ⅲ/加賀料Ⅲ
第87図-20		深鉢/口縁部				地文斜位照糸/平行隆帯による文様	中期中Ⅲ/加賀料Ⅲ
第87図-21	200号住居跡	深鉢/口縁部				地文斜位照糸/内外面に灰行着	中期中Ⅲ/加賀料Ⅲ
第87図-22		深鉢/口縁部				地文横位照糸/外面口縁部～内面にかけ黒色	中期中Ⅲ/加賀料Ⅲ
第87図-23		深鉢/口縁部	(15.2)		(9.7)	深鉢口縁/斜位照糸文様、頸部は無文で縦位のケズリ痕がみられる。胴部地文縦位照糸/内面に灰行着	中期中Ⅲ/加賀料Ⅲ
第87図-24		深鉢/口縁部				地文横位照糸/平行隆帯による文様、頸部無文	中期中Ⅲ/加賀料Ⅲ
第87図-25		深鉢/口縁部				地文縦位照糸/平行隆帯による条帯、頸部との区画/胎土赤褐色で白色粉子を含む	中期中Ⅲ/加賀料Ⅲ
第87図-26		深鉢/胴部				地文縦位照糸/隆帯による頸部との区画/胎土赤褐色	中期中Ⅲ/加賀料Ⅲ
第87図-27		深鉢/胴部				地文縦位照糸/隆帯による頸部との区画/内面帯状に灰行着	中期中Ⅲ/加賀料Ⅲ
第87図-28		深鉢/胴部				地文縦位照糸/平行隆帯による縦位	中期中Ⅲ/加賀料Ⅲ
第87図-29		深鉢/胴部				地文縦位照糸/平行隆帯による文様/内面ハジキあり	中期中Ⅲ/加賀料Ⅲ
第87図-30		深鉢/胴部				地文縦位照糸/平行隆帯による文様	中期中Ⅲ/加賀料Ⅲ
第87図-31		深鉢/胴部				地文縦位照糸/隆帯による懸文/内面に灰行着	中期中Ⅲ/加賀料Ⅲ
第87図-32		深鉢/胴部				地文縦位照糸/隆帯による懸文	中期中Ⅲ/加賀料Ⅲ
第87図-33		深鉢/底部				地文縦位照糸/隆帯による懸文/内面灰化	中期中Ⅲ/加賀料Ⅲ
第87図-34		深鉢/口縁部	(26.5)		(17.2)	口縁に大突起/地文横位照糸文/突起に連続する平行隆帯による立体的な文様/頸部無文、胴部と隆帯で区画	中期中Ⅲ/加賀料Ⅲ
第87図-35		深鉢/口縁部				地文横位照糸文/平行隆帯による文様、外面口縁部～内面にかけ赤彩/胎土角閃石を含む	中期中Ⅲ/加賀料Ⅲ
第87図-36		深鉢/口縁部	(27.0)		(9.2)	地文横位照糸文/低い平行隆帯による文様、頸部無文/丁寧なミガキ	中期中Ⅲ/加賀料Ⅲ
第87図-37		深鉢/口縁部				地文横位照糸文/低い平行隆帯による文様	中期中Ⅲ/加賀料Ⅲ
第87図-38		深鉢/口縁部				深鉢口縁/地文横位照糸文/隆帯による文様/胎土角閃石を含む	中期中Ⅲ/加賀料Ⅲ
第87図-39		深鉢/口縁部				深鉢口縁/地文横位照糸文/隆帯による文様、内面赤彩/胎土角閃石を含む	中期中Ⅲ/加賀料Ⅲ
第87図-40		深鉢/口縁部				深鉢口縁地文横位照糸文/平行隆帯による文様/裏面ハジキあり、内面に灰行着	中期中Ⅲ/加賀料Ⅲ
第87図-41		深鉢/口縁部				地文横文/平行隆帯による文様	中期中Ⅲ/加賀料Ⅲ

図番番号	出土 遺構名	種別・部種	口徑・ 長さ	直径・ 幅	高さ・ 厚さ	技法・文様・その他	推定年代
第8802-42		深鉢/胴部				地文縦位乱織文/隆帯による口縁部との区画。胴部無文/内面下部にハジケあり	中期中葉/加賀群Ⅰ
第8802-43		深鉢/胴部				地文縦位～斜位の乱織文/胴部無文。平行隆帯による整帯文。内面赤彩か	中期中葉/加賀群Ⅰ
第8802-44		深鉢/胴部				地文縦位乱織文/平行隆帯による整帯文/内面に埋行着	中期中葉/加賀群Ⅰ
第8802-45		深鉢/胴部				地文縦位乱織文/隆帯による整帯文/内面灰化。外面大きめのハジケあり	中期中葉/加賀群Ⅰ
第8802-46		深鉢/胴部				地文縦位乱織文/多敷管状工具内皮側による沈線/胴部と区画/内面に埋行着	中期中葉/加賀群Ⅰ
第8802-47		深鉢/胴部				地文縦位乱織文/多敷管状工具内皮側による整帯文	中期中葉/加賀群Ⅰ ～Ⅱ
第8802-48		深鉢/胴部				地文縦位乱織文/多敷管状工具内皮側による整帯文	中期中葉/加賀群Ⅱ
第8802-49		深鉢/胴部				地文縦位乱織文/平行沈線による遠風文/外面に黒灰着	中期中葉/加賀群Ⅱ
第8802-50		深鉢/口縁部				沈線による帯風文	中期中葉/曹利
第8802-51		深鉢/口縁部				沈線による帯風文/内面灰化。内外面・割れ口に大きめのハジケあり	中期中葉/曹利
第8802-52		深鉢/胴部				縦位の平行沈線	中期中葉/曹利
第8802-53		深鉢/口縁部	4.6	(3.2)		地文縦位沈線/粘土層による整帯文。遠面ナデ/内面に種実圧着?あり	中期中葉/曹利系
第8802-54		深鉢/口縁部				遠鉢口縁部/地文縦位乱織文/隆帯による狭い口縁部文様。内面黒色	中期中葉/大木
第8802-55		深鉢/口縁部				遠鉢口縁部/隆帯による狭い口縁部文様。遠面筋が滑巻く。胴部地文縦位乱織文。胴部とは沈線で区画	中期中葉/大木
第8802-56		深鉢/口縁部				口縁部突起。粘土層を巻き上げた滑巻文/外面にハジケあり	中期中葉/曹利
第8802-57		深鉢/口縁部				口縁部突起/滑れた円柱状で胴部に沈線で円文。隆帯が垂下する/外面にハジケあり	中期中葉/曹利
第8802-58		深鉢/口縁部				口縁部突起/斜位乱織文	中期中葉/曹利
第8802-59		深鉢/口縁部				遠面筋/隆帯を垂下か。内面に沈線文/輪縁部接合部に多敷管状工具内皮側による押引文のような凹凸	中期中
第8802-60		深鉢/口縁部				地文縦位乱織文	中期中
第8802-61		深鉢/胴部				縦位乱織文/内面に埋行着	中期中
第8802-62		深鉢/遠部	(8.4)			縦位乱織文/沈線による整帯文?遠面ナ調整/内面灰化	中期中
第8802-63		深鉢/遠部	(7.0)			縦位乱織文/遠部付近は左方向にケズリ。遠面光沢を持つ	中期中
第8802-64		深鉢/遠部	(7.8)			縦位乱織文/遠部付近は左方向にケズリ。遠面光沢を持つ/内面灰化	中期中
第8802-65		深鉢/遠部	(8.0)			縦位乱織文/遠部付近は右方向にケズリ/内面灰化/粘土角閃石を含む	中期中
第8802-66		深鉢/遠部	(12.2)			無文	中期中
第8802-67		深鉢/遠部	(7.6)			無文	中期中
第8802-68		深鉢/遠部	(5.6)			地文縦文/遠面付近左方向ナデ/内面に埋行着	中期中
第8802-69		深鉢/胴～底部	(7.0)	(11.0)		地文や斜位の乱織文/地文をすり消した部分に赤・黒色塗彩を施す。内面は上部に赤・黒色の塗彩が僅かに残り、帯状に黒を塗って下部は黒点状に黒色物が付着。遠面は未調整/粘土砂質	中期中
第8802-70		浅鉢/口縁部				口縁やや内湾する/外面赤彩	中期中
第8802-71		浅鉢/口縁部				内外面に黒・赤彩。ミガキ	中期中
第8802-72		浅鉢/口縁部				口縁縁に直垂する/口縁～内面に黒色を呈し、外面は赤彩と見られる	中期中
第8802-73		浅鉢/口縁部				内外面塗彩/粘土白色砂状物質を含む	中期中
第8802-74		浅鉢/口縁部				内外面ミガキ/黒灰着	中期中
第8802-75		浅鉢/口縁部				内外面ミガキ。内面赤彩	中期中
第8802-76		浅鉢/口縁部				内外面ミガキ	中期中
第8802-77		浅鉢/胴部				内外面に黒・赤彩。ミガキ	中期中
第8802-78		浅鉢/胴部				遠面する胴部/外面は斜れ目を境に黒・赤彩を施し、内面は黒彩	中期中
第8802-79		浅鉢/胴部				遠面する胴部/平行する爪痕文と沈線	中期中
第8802-80		土製品/円盤				割れ口摩滅	中期中
第8802-81		土製品/円盤				割れ口摩滅/埋行着	中期中
第8802-82		土製品/耳栓	2.58	1.80	1.50	重量(5.0g)	中期中
第8802-83		石器/石鏝	2.77	2.31	0.75	石質:チャート(灰色・不透明。黒色の縞)/3.4g/未製品	中期中
第8802-84		石器/打製石斧	9.16	4.79	1.79	石質:粗粒砂岩/(106.65g)/一部欠損/輪型/風化していない。表に自然面を残す	中期中
第8802-85		石器/打製石斧	9.06	4.27	1.91	石質:珪質頁岩/99.28g/両形/輪型/表は自然面をそのまま保留。裏面も細かな調整は刃部のみで、主要割離面を残す。裏面の上方部・左側面中位までが摩滅し光沢をもつ	中期中
第8802-86		石器/打製石斧	(9.68)	4.84	(2.28)	石質:粗粒砂岩/(126.63g)/方刃欠損/輪型	中期中
第8802-87		石器/打製石斧	(8.17)	(5.42)	(1.70)	石質:ホルンフェルス/(100.17g)/方刃欠損/輪型/風化強い	中期中
第8802-88		石器/打製石斧	(9.81)	6.02	1.79	石質:珪質頁岩/(142.91g)/方刃欠損/輪型/表に自然面を残す。表面の下部、裏面の左上が摩滅し光沢をもつ	中期中
第8802-89		石器/打製石斧	(5.33)	5.05	1.61	石質:ホルンフェルス/(56.76g)/上半部欠損/輪型	中期中
第8802-90		石器/打製石斧	(4.54)	(6.30)	(2.85)	石質:ホルンフェルス/(70.63g)/基部残存	中期中
第8802-91		石器/打製石斧	(5.91)	(6.85)	(2.65)	石質:ホルンフェルス/(133.67g)/方刃残存/表に自然面を残す	中期中
第8802-92		石器/磨石	(7.77)	4.04	2.27	石質:中粒砂岩/(107.75g)/基部欠損/自然面を多く残す。両側面に割打痕	中期中
第8802-1		深鉢/口縁～胴部	(23.6)	(15.5)		口縁部無文。口縁部内窪する。胴部はひげれ。胴部が大きく膨らむ。胴部地文縦位乱織文。隆帯による整帯文/外縁口縁部に煤が付着し、胴部の一部にハジケが見られる	中期中葉/曹利系
第8802-2		深鉢/口縁部				遠面筋/隆帯と利突	中期中葉/曹利
第8802-3		深鉢/胴部				斜位隆帯。輪に沈線/外面筋に埋行着	中期中葉/曹利系
第8802-4		深鉢/胴部				沈線間に交互刻突	中期中葉/曹利系
第8802-5		深鉢/口縁部				隆帯による口縁部文様/粘土角閃石を含む	中期中葉/加賀群Ⅰ
第8802-6		深鉢/口縁部				隆帯による口縁部文様/内面ナ調整	中期中葉/加賀群Ⅰ
第8802-7		深鉢/胴部				隆帯による無文胴部との区画/粘土結晶片を含む	中期中葉/加賀群Ⅰ
第8802-8		深鉢/胴部				胴部無文。胴部地文縦位乱織文/外面に埋行着	中期中葉/加賀群Ⅰ
第8802-9		深鉢/胴部				平行隆帯による区画/内面にハジケが見られる	中期中葉/加賀群Ⅰ
第8802-10		深鉢/胴部				地文縦文/隆帯による整帯文	中期中葉/加賀群Ⅰ
第8802-11		深鉢/胴部				地文沈線/隆帯による整帯文	中期中葉/加賀群Ⅰ
第8802-12		深鉢/胴部				隆帯による整帯文	中期中葉/加賀群Ⅰ
第8802-13		深鉢/胴部				地文縦位乱織文/低い平行隆帯による文様	中期中葉/加賀群Ⅰ
第8802-14		深鉢/胴部				地文縦位乱織文/隆帯による整帯文	中期中葉/加賀群Ⅰ

図版番号	出土 遺構名	種別・遺種	口径・ 長さ	底径・ 幅	高さ・ 厚さ	技法・文様・その他	推定年代
第8905-15	201号住居跡	深鉢/胴部				地文縦位肌織文/隆帯による懸垂文/内面灰化	中期中Ⅱ/加賀中世Ⅰ
第8905-16		深鉢/胴部				隆帯による懸垂文/摩滅し地文不明	中期中Ⅱ/加賀中世Ⅰ
第8905-17		深鉢/胴部				地文多敷管状工具による縦位の平行沈線/線彩状に斜目を持つ隆帯による懸垂文/内面に窪行着	中期中Ⅱ/加賀中世Ⅰ
第8905-18		深鉢/胴部				地文多敷管状工具による縦位の平行沈線/線彩状に斜目を持つ隆帯による懸垂文/内面灰化	中期中Ⅱ/加賀中世Ⅰ
第8905-19		深鉢/底部	6.6			地文多敷管状工具による縦位の平行沈線/線彩状に斜目を持つ隆帯による懸垂文/底面調整により平滑。内面灰化	中期中Ⅱ/加賀中世Ⅰ
第8905-20		深鉢/胴部				胴部無文帯と胴部を区画で区画/胴部地文縦位肌織文	中期中Ⅱ/加賀中世Ⅰ
第8905-21		深鉢/胴部				胴部と胴部を区画で区画。沈線による懸垂文	中期中Ⅱ/加賀中世Ⅰ
第8905-22		深鉢/胴部				地文縦位肌織文/沈線による懸垂文	中期中Ⅱ/加賀中世Ⅰ
第8905-23		深鉢/胴部				地文斜位肌織文/多敷管状工具の沈線による懸垂文	中期中Ⅱ/加賀中世Ⅰ
第8905-24		深鉢/口縁部				無文口縁部。扉曲部に波状の結土帯を有り付け	中期中Ⅱ/管判系
第8905-25		深鉢/口縁部				無文口縁部/下部に隆帯の高縁あり/隆帯によるハツク。内面の一部に窪行着	中期
第8905-26		深鉢/口縁部				無文口縁部	中期
第8905-27		深鉢/口縁部				無文口縁部	中期
第8905-28		深鉢/口縁部				無文口縁部	中期
第8905-29	深鉢/口縁部				無文口縁部/外面に僅かに窪行着	中期	
第8905-30	深鉢/口縁部				無文口縁部/胎土角閃石を含む/一部割れ口に摩滅が見られる	中期	
第8905-31	浅鉢/胴部				内面ミガキ。内外面赤彩/胎土角閃石を含む	中期	
第8905-32	土製片断				土器片断用/割れ口に摩滅が見られる	中期中Ⅱ/加賀中世Ⅰ	
第8905-33	土製片断				土器片断用/割れ口に摩滅が見られる	中期	
第8905-34	土製片断				土器片断用/割れ口に摩滅が見られる	中期	
第8905-1	深鉢/口縁～胴部	34	(14.5)		地文縦位肌織文/4単位波状口縁。波帯部に合わせて機状把手が付き、把手に接続するように平行隆帯による文様を施す。胴部は無文で胴部とは隆帯によって区画される/内面焼熱によるハツクは少ないが、底面黒色が見られ、4分の1ほどは窪?の付着で黒く変色している	中期中Ⅱ/加賀中世Ⅰ (西/原外・黒屋跡)	
第8905-2	深鉢/口縁～胴部	32	(11.8)		地文縦位肌織文/4単位波状口縁。平行隆帯による十字字紋文。胴部は無文で左方向のクズリによる割裂。胴部とは隆帯で区画される/内面には焼熱によるハツクが見られ、4分の1ほどが黒く変色している	中期中Ⅱ/加賀中世Ⅰ (西/原外・黒屋跡)	
第8905-3	深鉢/口縁部				縦位肌織文	中期	
第8905-4	深鉢/口縁部				隆帯に沈線	中期	
第8905-5	深鉢/胴部				隆帯区画内位に縦位の沈線	中期中Ⅱ/管判系	
第8905-6	深鉢/胴部				斜目隆帯による湯釜文	中期中Ⅱ/管判系	
第8905-7	深鉢/胴部				斜目隆帯部に沈線。沈線による三文文	中期中Ⅱ/管判系	
第8905-8	深鉢/胴部				沈線文/胎土結晶片岩を含む	中期中Ⅱ/管判系	
第8905-9	深鉢/胴部				隆帯による区画文	中期中Ⅱ/管判系	
第8905-10	深鉢/胴部				連線状の隆帯。区画内位に縦位の沈線	中期中Ⅱ/管判系	
第8905-11	深鉢/口縁部				地文斜位肌織文/平行隆帯による文様/胎土角閃石を含む。外面の一部に窪行着	中期中Ⅱ/加賀中世Ⅰ	
第8905-12	深鉢/口縁部				地文縦位肌織文/平行隆帯による文様	中期中Ⅱ/加賀中世Ⅰ	
第8905-13	深鉢/口縁部				波帯部/口縁との接合部にヒタツクの圧痕	中期中Ⅱ/加賀中世Ⅰ	
第8905-14	深鉢/口縁部				機状把手/沈線	中期中Ⅱ/加賀中世Ⅰ	
第8905-15	深鉢/口縁部				機状把手/沈線	中期中Ⅱ/加賀中世Ⅰ	
第8905-16	深鉢/口縁部				地文縦位肌織文/隆帯による文様	中期中Ⅱ/加賀中世Ⅰ	
第8905-17	深鉢/口縁部				地文縦位肌織文/隆帯による文様/内面に窪行着	中期中Ⅱ/加賀中世Ⅰ	
第8905-18	深鉢/胴部				無文帯/口縁部とは隆帯で区画	中期中Ⅱ/加賀中世Ⅰ	
第8905-19	深鉢/胴部				無文帯/胴部とは隆帯で区画	中期中Ⅱ/加賀中世Ⅰ	
第8905-20	深鉢/胴部				地文縦位肌織文/斜目隆帯が強く利用しない/隆帯による懸垂文	中期中Ⅱ/加賀中世Ⅰ	
第8905-21	深鉢/胴部				縦位肌織文	中期	
第8905-22	深鉢/胴部				縦位肌織文/内面灰化	中期	
第8905-23	深鉢/底部				縦位肌織文/内面灰化/底面は平滑で光沢を持つ	中期	
第8905-24	深鉢/胴部				地文縦位肌織文/沈線による懸垂文	中期中Ⅱ/加賀中世Ⅰ ～Ⅱ	
第8905-25	深鉢/胴部				地文縦位肌織文/沈線による懸垂文	中期中Ⅱ/加賀中世Ⅰ ～Ⅱ	
第8905-26	深鉢/口縁部				沈線による線弧文	中期中Ⅱ/管判系	
第8905-27	深鉢/口縁部				隆帯の平行沈線。沈線部に斜突	中期中Ⅱ/管判系	
第8905-28	深鉢/胴部				縦位条線/内面ミガキにより平滑	中期中Ⅱ/管判系	
第8905-29	深鉢/胴部				9本単位の櫛歯状工具による縦位沈線	中期中Ⅱ/管判系	
第8905-30	浅鉢/口縁～胴部	(19.5)	(11.7)		内外面ミガキ。一部赤彩が残存する。内外面に黒屋	中期	
第8905-31	浅鉢/口縁部				外面ミガキ	中期	
第8905-32	浅鉢/口縁部				内面に沈線あり	中期	
第8905-33	浅鉢/口縁部				内外面ミガキ	中期	
第8905-34	浅鉢/胴部				内外面ミガキ。外面赤彩。内面黒色を呈する/胎土角閃石を含む	中期	
第8905-35	浅鉢/胴部				外面扉曲部以下が黒色化している/胎土白色斜状物質を含む	中期	
第8905-36	深鉢/底部		(7.8)		無文/内面灰化	中期中Ⅱ/管判系	
第8905-37	深鉢/底部				無文/内面灰化	中期	
第8905-38	石器/石穂	1.94	1.78	0.30	石質チャート/1.09g/両端欠損/主要刺痕面を残す	中期中Ⅱ/管判系	
第8905-39	石器/打製石片	8.45	4.84	2.03	石質輝石質/128.74g/壳形/短冊型/両端部・両側面に潰れ	中期中Ⅱ/管判系	
第8905-40	石器/打製石片	8.58	4.25	1.37	石質中粒砂岩/84.44g/壳形/短冊型/裏に自然面を残す。両側面に潰れ	中期中Ⅱ/管判系	
第8905-41	石器/打製石片	11.09	5.39	3.25	石質ホルンフェルス/279.48g/壳形/短冊型/右側面に自然面を残す	中期中Ⅱ/管判系	
第8905-42	石器/打製石片	(7.17)	4.06	(2.15)	石質中粒砂岩/92.76g/方頭欠損/短冊型/上端部・両側面に潰れ	中期中Ⅱ/管判系	
第8905-43	石器/打製石片	(7.01)	(4.28)	(2.07)	石質ホルンフェルス/(102.99g)/両端欠損/短冊型/底化が強い	中期中Ⅱ/管判系	
第8905-44	石器/磨り石・ 凹み石	(6.09)	(9.13)	3.44	石質安山岩/(332.55g)/下平欠損/側面以外は摩滅し平滑。表面中央に凹み	中期中Ⅱ/管判系	

図番番号	出土 遺構名	種別・形態	口徑・ 長さ	直径・ 幅	高さ・ 厚さ	技法・文様・その他	確定年代
第8602-1		深鉢/口縁部				無文/外面に僅かに残存	中期中葉/厩塚
第8602-2		深鉢/口縁部				無文	中期中葉/厩塚
第8602-3		深鉢/口縁部				口縁内に残存を貼り付ける	中期中葉/厩塚
第8602-4		深鉢/口縁部				無文口縁部/口縁部に残存	中期
第8602-5		深鉢/口縁部				縦位に横糸/口唇部へ内面にかけ残	中期
第8602-6		深鉢/口縁部				隆帯による口縁部区画内面ミガキ	中期
第8602-7		深鉢/口縁部				横位の隆帯か/胴部に横線状工具による条線文	中期
第8602-8		深鉢/口縁部				地文縦位横糸/平行隆帯による頸部との区画/胎土角閃石を含む	中期中葉/厩塚Ⅰ
第8602-9		深鉢/口縁部		19.0		地文縦位横糸/隆帯による横糸文/底面平滑	中期中葉/厩塚Ⅰ
第8602-10		深鉢/口縁部		(12.2)		地文縦位横糸/隆帯による横糸文/底面平滑/胎土角閃石を含む。内面磨化	中期中葉/厩塚Ⅰ
第8602-11		深鉢/口縁部				地文縦位横糸文/隆帯による横糸文	中期中葉/厩塚Ⅰ
第8602-12		深鉢/口縁部				地文縦位横糸文/平行隆帯による頸部との区画	中期中葉/厩塚Ⅰ
第8602-13		深鉢/口縁部				地文縦位横糸文/胎土無文	中期中葉/厩塚Ⅰ
第8602-14		深鉢/口縁部				地文縦位横糸文/胎土無文	中期中葉/厩塚Ⅰ
第8602-15		深鉢/口縁部				地文縦位横糸文/内面磨化	中期
第8602-16		深鉢/口縁部				地文縦位横糸文/隆帯による横糸文/内面磨化	中期中葉/厩塚Ⅰ
第8602-17		深鉢/口縁部		11		地文縦位横糸文/多角管状工具の沈線による横糸文/底面平滑。内面磨化	中期中葉/厩塚Ⅰ
第8602-18		浅鉢/口縁部				内外面ミガキ/縦糸によるハジケあり。内面磨化	中期
第8602-19		浅鉢/口縁部				内外面ミガキ。内面赤彩/果敢有	中期
第8602-20		浅鉢/口縁部					中期
第8602-21		浅鉢/口縁部					中期
第8602-22		浅鉢/口縁部				内外面ミガキ。内面には赤彩が残る	中期
第8602-23		浅鉢/口縁部				縦糸によるハジケあり。外面に黒色有	中期
第8602-24		浅鉢/口縁部				遺跡未調査。遺部へ外面にかけ黒色化する	中期
第8602-25		石葺/打製石葺	9.97	3.83	1.99	石葺粗粒砂質/(101.76g)/一部欠損/短冊型/表に自然面を残す	中期中葉/厩塚Ⅱ
第9102-1		深鉢/胴部	-	-	10.5	平截管状工具による平縁縁線に連続凹形文。交互凹突文を残し。2種1組による縦4区画。最大径からなる横位区画。区画内には縦中凹形文。交互凹突文によりそれぞれ異なる文様を残す	中期中葉/厩塚Ⅱ
第9102-2		深鉢	(10.4)	6.6	19.5	地文縦位。逆U字の横文。逆U字内を地文横線/内面に残存	中期中葉/厩塚Ⅱ 新
第9102-3		深鉢/口縁部	-	(34.6)	(13.3)	横線状工具による縦位の波状文/内面ミガキ。内面に僅かに赤彩が残る	中期中葉/厩塚Ⅱ
第9102-4		深鉢/胴部	-	-	-	横線状工具による縦位の波状文。波線による横糸文/内面ミガキ。内面黒色/胎土と同一色	中期中葉/厩塚Ⅱ
第9102-5		深鉢/口縁部	-	6.9	(7.3)	地文縦位横糸文/見込みの横線は隆/割れ口に僅かに残存	中期
第9102-6		深鉢/口縁部	-	-	-	隆帯上に斜め。隆帯脇に沈線と刻み	中期中葉/厩塚Ⅱ
第9102-7		深鉢/口縁部	-	-	-	波状口縁/内湾する無文口縁部。くびれた頸部に斜線隆帯。内面黒色ミガキ後赤彩/内外面黒色有	中期中葉/厩塚Ⅱ
第9102-8		深鉢/口縁部	-	-	-	内湾する口縁部/波頭部から高さのある隆帯を垂下し。縦線状の刻みを加える	中期中葉/厩塚Ⅱ
第9102-9		深鉢/口縁部	-	-	-	強く内湾する口縁。隆縁線による縦位文/胎土角閃石を含む	中期中葉/厩塚Ⅱ
第9102-10		深鉢/胴部	-	-	-	縦位黒糸/外面黒色有	中期
第9102-11		深鉢/胴部	-	-	-	新面三角形の隆帯上に縦線状の刻み。脇に沈線	中期中葉/厩塚Ⅱ
第9102-12		深鉢/胴部	-	-	-	沈線による円やY字文/内面ミガキ/外面に残存	中期中葉/厩塚Ⅱ
第9102-13		深鉢/胴部	-	-	-	斜線隆帯。縦位の沈線文	中期中葉/厩塚Ⅱ
第9102-14		深鉢/胴部	-	-	-	縦位に多条沈線。沈線による2条の横文	中期中葉/厩塚Ⅱ Ⅲ
第9102-15		深鉢/口縁部	-	(6.8)	(3.3)	縦位横文を持ち。管型は薄手/縦位横糸文/内面に残存	中期
第9102-16		浅鉢/口縁部	-	-	-	隆帯上に指輪による凹窪	中期中葉/厩塚
第9102-17		浅鉢/口縁部	-	-	-	角ばった隆帯による溝を垂下/内外面ミガキ。赤彩が僅かに残存。窪が浅	中期
第9102-18		浅鉢/口縁部	-	-	-	無文/外面帯状に黒色を呈する/胎土に露骨を含む	中期
第9102-19		浅鉢/口縁部	-	-	-	無文/内外面ミガキ/胎土に露骨を含む	中期
第9102-20		浅鉢/口縁部	-	-	-	無文底面部/内外面ミガキ	中期中葉/厩塚Ⅱ
第9102-21		浅鉢/口縁部	-	-	-	隆帯による溝を垂下/内面一部赤彩/胎土に石炭を含む	中期中葉/厩塚Ⅱ
第9102-22		浅鉢/口縁部	-	(15.4)	(5.6)	部分的に赤彩が残存/胎土露骨/石炭を含む。胎土19&胎土が同一	中期
第9202-1		深鉢/胴部	-	7.6	(12.5)	斜線隆帯による縦位区画。隆帯脇には沈線が沿う。区画内は平行波線/波状沈線/斜め・押し文/内外面に二次被熱跡。外面にハジケが顕著。内面に残存	中期中葉/厩塚Ⅱ
第9202-2		深鉢/口縁部	-	-	-	無文/胎土に露骨を含む	中期中葉/阿玉台
第9202-3		深鉢/口縁部	-	-	-	突起部/口唇部に斜め。ペン先状工具の連続斜突による横文/胎土に露骨を含む	中期中葉/阿玉台
第9202-4		深鉢/口縁部	-	-	-	口唇部に斜め。ペン先状工具の連続斜突による横文/胎土に露骨を含む	中期中葉/阿玉台
第9202-5		深鉢/口縁部	-	-	-	突起部/突起先部に斜め。29%の角閃文/胎土に露骨を含む	中期中葉/阿玉台
第9202-6		深鉢/胴部	-	-	-	ヒダ状区画。波状の沈線を2条/胎土に露骨を含む	中期中葉/阿玉台
第9202-7		深鉢/胴部	-	-	-	新面三角形の隆帯/胎土に露骨を含む	中期中葉/阿玉台
第9202-8		深鉢/胴部	-	9.8	-	遺跡外縁に圧痕有/胎土に露骨・石炭を含む	中期中葉/阿玉台
第9202-9		深鉢/口縁部	-	-	-	隆帯による区画。脇にキャタピル文。区画内に平行角閃文	中期中葉/厩塚Ⅱ
第9202-10		深鉢/口縁部	-	-	-	隆帯脇に平行する角閃文。区画内波状沈線	中期中葉/厩塚Ⅱ
第9202-11		深鉢/口縁部	-	-	-	隆帯による区画。脇にキャタピル文。区画内に角閃文	中期中葉/厩塚Ⅱ
第9202-12		深鉢/口縁部	-	-	-	爪形文による区画内文様	中期中葉/厩塚Ⅱ
第9202-13		深鉢/口縁部	-	-	-	斜線隆帯による区画。区画内は沈線を充填	中期中葉/厩塚Ⅱ
第9202-14		深鉢/口縁部	-	-	-	斜線隆帯による区画。区画内は沈線を充填/胎土13と同一色	中期中葉/厩塚Ⅱ
第9202-15		深鉢/口縁部	-	-	-	突起部/口縁。隆帯上に斜め	中期中葉/厩塚Ⅱ
第9202-16		深鉢/口縁部	-	-	-	突起部/隆帯上に斜め	中期中葉/厩塚Ⅱ
第9202-17		深鉢/胴部	-	-	-	斜線隆帯による区画。区画内縦線状の隆帯とそれに沿う縦位の沈線	中期中葉/厩塚Ⅱ
第9202-18		深鉢/胴部	-	-	-	低い隆帯上に斜め。縦位の沈線	中期中葉/厩塚Ⅱ

図版番号	出土 遺構名	種別・西種	口径・ 長さ	底径・ 幅	高さ・ 厚さ	技法・文様・その他	推定年代
第92図-19	竪穴状遺構	深鉢/胴部				割田隆帯、縦位の角押文	中期中葉/磐坂Ⅱ
第92図-20		深鉢/胴部				割田隆帯、下位に沈線と2条	中期中葉/磐坂Ⅱ
第92図-21		深鉢/胴部				割田隆帯、脇に沈線	中期中葉/磐坂Ⅱ
第92図-22		深鉢/胴部				割田隆帯、脇に沈線、区画内に刺突充填	中期中葉/磐坂Ⅱ
第92図-23		深鉢/胴部				刺突と沈線による同心円、区画内に沈線を充填	中期中葉/磐坂Ⅱ
第92図-24		深鉢/胴部				区画内に沈線を充填、内面黒色	中期中葉/磐坂Ⅱ
第92図-25		深鉢/胴部				棟状工具による沈線	中期中葉/磐坂
第92図-26		深鉢/胴部				棟状工具による沈線と斜位や三叉状	中期中葉/磐坂
第92図-27		深鉢/胴部				縦位沈線と交互刺突による文様	中期中葉/磐坂Ⅱ
第92図-28		深鉢/胴部				縦位沈線と交互刺突による文様/No.27と同一個体	中期中葉/磐坂Ⅱ
第92図-29		深鉢/口縁部				無文口縁部、胴部に割田隆帯による区画か	中期中葉/磐坂Ⅱ
第92図-30		深鉢/口縁部				地文縦位向断系、平行隆帯による文様	中期中葉/加曾利Ⅰ
第92図-31		深鉢/口縁部				地文縦位向断系/口唇直下に隆帯の痕跡あり/口唇部、内面ミガキ、内外面赤彩	中期中葉/加曾利Ⅰ
第92図-32		深鉢/胴部				L断系	中期
第92図-33	深鉢/胴部				斜位L断文/内面に僅かに煤付着	中期	
第92図-34	深鉢/底部				縦位L断文	中期	
第92図-35	深鉢/底部				無文/内面黒化、外面ハジケが顕著	中期	
第92図-36	石器/石器	10.39	4.35	1.68	石質中粒砂岩/103.90g/丸形/縦型石器/左側面縁線上に溝れ		
第92図-37	石器/打製石片	(11.51)	(4.14)	(1.59)	石質粗粒砂岩/279.45g/裏面欠損/扇型?/自然面を残す、刃部摩滅部あり		
第91図-1	竪り込み 遺構	深鉢/胴部				粘土塗布・石面を青む	中期中葉/阿玉台
第91図-2		深鉢/胴部				低い隆帯上に大きめの凹形文	中期中葉/磐坂Ⅱ
第91図-3		深鉢/口縁部				粘土塗布を貼り付け	中期
第91図-4		深鉢/胴部-胴部				地文縦位向断系/屈曲部に連続状の隆帯、隆帯文差部に刺突/器面ハジケあり	中期中葉/加曾利Ⅰ
第91図-5		深鉢/胴部				斜位L断文	中期
第91図-6		深鉢/胴部				縦位平行沈線/器面ハジケあり、内面に煤付着	中期
第91図-7		深鉢/胴部				内外面ミガキ、内面黒色で一部赤彩残存	中期
第91図-8		深鉢/底部				内面煤付着	中期
第91図-9		深鉢/底部	5.6	(1.0)		底部器面にハジケあり	中期
第92図-1	遺構外	深鉢/口縁部				地文縦位向断系/低い平行隆帯による文様/粘土角閃石を青む	中期中葉/加曾利Ⅰ 新
第92図-2		深鉢/口縁部				口縁部に平行沈線、沈線間に刺突列、以下地文条線	中期中葉/曾利系
第92図-3		深鉢/口縁部				無文口縁部	中期
第92図-4		深鉢/口縁部				無文/内外面にミガキ	-
第92図-5		深鉢/底部				地文縦位向断系/沈線による断帯文/内面に煤付着	中期中葉/加曾利Ⅱ
第92図-6		土製品/円盤				側面摩滅	中期
第92図-7		石器/石器	2.23	1.69	0.26	石質チャート(灰黄色・やや不透明)/0.59g/丸形/凹基/薄手で直線的な作り	
第92図-8		石器/石器	1.67	1.55	0.31	石質チャート(灰黄色・やや不透明)/0.70g/丸形/凹基/基部は丸みを帯びる	
第92図-9		石器/打製石片	(7.52)	3.91	1.58	石質頁岩/61.10g/一部欠損/扇型	
第92図-10		石器/打製石片	9.56	4.97	1.58	石質中粒砂岩/105.18g/丸形/ややくびれる扇型/刃部直線的で、右側に刺突が集中する、左側面に溝れ、裏に自然面を残す	
第92図-11		石器/打製石片	(10.33)	(5.14)	(2.35)	石質ホルンフェルス/1172.60g/刃部欠損/ややくびれる扇型/裏に自然面を残す、黒化が強い	

## 第8章 まとめ

2017(平成29)年度の本調査は、本書に掲載した松山遺跡第99地点を除く5件以外に、3件の個人住宅建設に伴う本調査を実施している。3件の本調査については、試掘調査の報告と併せて来年度以降に報告を行う。

以下、遺跡別に総括する。

### 【ハケ遺跡第24地点】

ハケ遺跡第24地点の調査では、縄文時代中期の住居跡を検出した。住居の掘り込みが確認できないほど残りが良くなかったが、榎土器と埋糞が出土している。共に加曾利EⅡ式新段階のものと考えられる。ハケ遺跡で現在までに確認されている住居跡は、そのほとんどが中期につくられたものである。中でも加曾利EⅡ式期の住居が最も多い。遺跡範囲の北西部～西部に集中する傾向にあり、今回発見されたJ36号住居跡もその一連の流れの中に納まるものであろう。また、近世以降の集石土坑から出土した遺物を見ると、縄文時代前期から後期まで様々出土しているが、中でも中期の特徴を持つ土器片が非常に多い。この集石土坑は鏝や土器を廃棄したものと考えられるため、周辺にはこれらの土器を使用していた住居跡が存在していたものと想定できる。このことから、ハケ遺跡に縄文中期の集落が形成されていた可能性が示唆される。しかしながら遺跡範囲の大部分は未調査であるため今後の調査に期待したい。

### 【駒林遺跡第35・37地点】

今回駒林遺跡では第35地点と第37地点の2地点を調査したが、どちらも共通して堀跡を確認した。駒林遺跡ではこれまでの調査で、同様の堀跡を15ヶ所で確認している。いずれも東西または南北方向に走行する。これらの堀跡は駒林遺跡をぐるりと取り囲むように見つかっており、本地点を北限とし、南は第1地点から第23地点のラインまで一連のものと考えれば(第22図参照)、南北の全長約350mの範囲を区画していた堀である可能性が考えられる。

第37地点は南西から北東方向に走行する堀跡である。前述したとおり、現在まで駒林遺跡で発見された堀跡は、東西方向または南北方向を指向するものがほとんどである。第37地点に続くような堀跡は確認さ

れていない。また堀の底部に関しても、これまでに発見されてきた堀は比較的平坦なものが多かったが、第37地点の堀に関しては平坦ではなく、部分的に深く掘り込む部分が見受けられるなど、これまでのものは多少の相違点が見られる。単なる区画としての堀という意味合いだけでなく、防衛的な意味を含んでいる印象を受ける。両端部のレベルを見比べると南西端の方が北東端よりも高く、北側を流れる江川に向かう。しかしながら土層の観察から水が耐水していたような痕跡は見受けられず、他の堀跡同様に空堀であったと考えられる。今後の調査によって解明することであろう。

最後に堀の帰属時期であるが、以前第1地点の調査時に行った土壌サンプル分析によれば、1108年の浅間山噴火の際に降下した火山灰(As-B)を含むことから、12世紀初頭以降に堀の埋没が始まったとされる。今回の2地点に関してもテフラ分析を行ったところ、同様の結果を得ている。両者とも同時期に使用されていた可能性を示唆する結果となった。共存する出土遺物が極端に少ないため、使用時期を絞り込むことが難しいが、こちらも今後の調査に期待したいところである。

### 【東久保南遺跡第43地点】

東久保南遺跡では縄文時代中期の住居跡1軒を検出した。本遺跡ではこれまでに2軒の縄文時代住居跡を検出しているが、いずれも中期に属するものである。特にJ1号住居跡は加曾利EⅡ式期の中相とみられ、今回検出したJ3号住居跡と同時期のものと考えられる。本遺跡は土地区画整理事業に伴う発掘調査で遺跡範囲の大部分を調査しているが、縄文時代住居跡3軒と少ない。本遺跡はさかい川左岸に立地しているが、約400m下流には中沢遺跡(富士見市)が位置しており、これまでの調査で加曾利EⅠ～EⅢ式期の住居跡を80軒以上検出している。また、対岸のさかい川右岸には、210軒以上の住居跡を検出する西ノ原遺跡の大集落が展開している。特に西ノ原遺跡は阿玉台Ⅰ～加曾利Ⅲ式期まで継続するものと考えられるが、その最盛期は加曾利EⅡ式である。西ノ原遺跡の大集落との関係が考えられよう。

### 【西ノ原遺跡第158地点】

西ノ原遺跡第158地点の調査では、縄文時代中期の竪穴住居跡12軒を検出した。西ノ原遺跡に展開する縄文時代中期の環状集落は、西から東へと変遷しており、加曾利EⅡ式期に東へと遷移する。今回の調査地点は環状集落の西端に位置しており、検出した住居跡はおおむね勝坂Ⅲ～加曾利EⅠ式期に集中している。西ノ原遺跡全体を見ると、前述したとおり加曾利EⅡ式期に最盛期を迎えるが、加曾利Ⅲ式期になると住居の数が激減、その後終焉する。

今回検出した12軒のうち8軒が加曾利EⅠ式期のものであり、その中でも新段階が4軒と最も多い。集落の最盛期である加曾利EⅡ式期の前段階に住居が増加する傾向は集落全体の流れと一致する。

住居構造としては、4本主柱穴または5本主柱穴を持つものが多いが、第194号住居跡は6本、第61号住居跡は6本または8本の主柱穴を持つ住居跡と考えられる。それぞれの時期で傾向を見ると、勝坂Ⅲ式期の住居跡は4本または5本主柱穴の構造で、拡張や建替の痕跡は見られない。また、如に土器を設置する埋裏枡を採用している点で共通している。加曾利EⅠ式期の住居跡では、拡張または建替の痕跡を持つものが3軒確認された。特に第196号住居跡と第203号住居跡は確実に拡張を行っており、西ノ原集落の発展から最盛期へ向かう流れと呼応する。ほかに加曾利EⅠ式期に入ると住居の入口付近に埋裏を設置する住居が出現するが、今回の調査では埋裏を持つ住居跡は確認されていない。

出土遺物の傾向としては、全体として浅鉢が多く出土していること、完形ではないが塗彩土器が比較的多いことが挙げられる。また異系統土器を含む住居跡は7軒あり、加曾利EⅠ式以降という点で共通する。今回の地点で出土した異系統土器はそのほとんどが曾利系であるが、第200号住居跡からは僅かに大木式土器も出土している。

西ノ原遺跡は1971年の調査開始以来これまでに遺跡範囲の約63%を調査しているが、今回の調査でこれまで明らかとなってきた縄文時代中期の集落形成過程を補強するような結果となった。住居の有り方といった点ではおおむね明らかになりつつあるが、広場や墓域といった集落全体としての土地利用方法については未だ不明な点が多く、今後の調査に期待したい。

### 〈参考文献〉

- ・埼玉県大井町遺跡調査会編 1996 『埼玉県大井町遺跡調査会報告第6集 西ノ原遺跡』
- ・今井亮、高崎直成、坪田幹男編 2008 『ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第4集 市内遺跡群3』

## 【松山遺跡の堀状遺構について】

わずか6mの堀状遺構の調査をもってその用途を推定するのはきわめて困難を承知で、また土壌サンプリング分析の結果を待つ猶予がないため、現時点で99地点確認の堀状遺構の掘削目的と用途について考えてみる。

堀の主体をなす覆土内に満遍なく褐鉄層（酸化鉄層）が認められた。堀底にはある程度早い流水ならば砂が、滞水するような流水ならばシルト質や粘土質の覆土が確認され、通水と止水が繰り返されるならば酸化鉄層が確認される（2005 梶原勝）。酸化鉄層は通水と止水が繰り返されたことを物語るものか。

当該遺跡からは奈良平安期の住居確認数が52軒に達し、水稻栽培の用水確保で多くの溝を確認しているが、流滞水を確認できた溝（堀）について特記しておく。（第17図に発掘箇所を示した）

## 1. 松山遺跡第10次調査（1991年度調査）

この調査の際に確認面の幅3m、深さ1.2mの溝1を確認している。報文によると壁面は底面よりほぼ垂直に30cmほど立ち上がり、やや開き気味にローム上面に至る。底面はおおむね水平で、全体の断面形は箱形である。底面直上には、粘性をもち灰色がかかった黒色土層があり、水が滲れていたことが推察された。下の層より、鉄分を含んだローム粒子の層、U字状に鉄分を含み粘性をもった黒褐色土層、その内側に砂層があり、一時改修されたものと考えられる。その上は、ロームを含んだ黒褐色土層と表土である。「埋蔵文化財の調査（14）／1992年3月」

## 2. 第60地点（2012年3月調査）

堀跡は南北に延びほぼ直角に東に曲がる。断面は逆台形で、上幅232～240cm、下幅170cm、深さ98cmである。覆土層の観察では中世と見られる。遺物は覆土層から近世の陶磁器が出土する。松山遺跡で確認された中世の堀跡と同型の遺構であろう。として、堀1の土層説明の中で5層に赤褐色酸化土や多く含むとある。



松山遺跡第60地点堀跡



松山遺跡第60地点堀跡

溝1

1a. 黒褐色土 粘り強、粘性有。5mm以下ロームブロック・粒。5cm以下ソフトロームブロック少し含む

1b. 黒褐色土 粘り強、粘性有。5cm以下ロームブロック多く含む

2. 黒山

1. 黒褐色土 粘り強、粘性有。20cm以下ローム粒少し含む

2. 黒褐色土 粘り強、粘性有。20cm以下ローム粒。5～15mm赤褐色の酸化土や多く含む

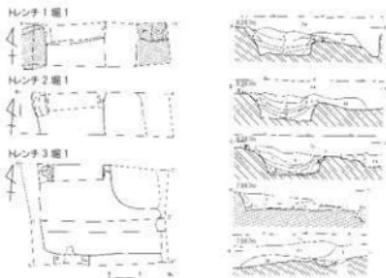
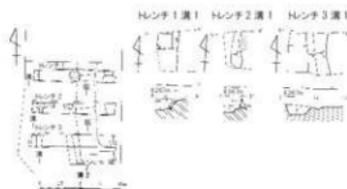
3. 褐黄褐色土 粘り強、粘性有。黒褐色土主体に20cm以下ロームブロック・粒を細密に含む

堀1

1. 黒褐色土 粘り強、粘性有。5mm以下ローム粒少し含む

2. 黒褐色土 粘り強、粘性有。5mm以下ローム粒や多く（3層より少ない）、間層状にローム

土を下部に少し含む



3. 黒褐色土 粘り強、粘性有。5mm以下ローム粒や多く含む（2層よりローム粒多めで黒褐色味がある）

4. 黒褐色土 粘り強、粘性有。20cm以下ソフトロームブロック少し含む

5. 黒山土 粘り強、粘性有。1cm以下ロームブロック・粒・赤褐色酸化土や多く含む

6.5と7の中間的な分色調。ローム粒は状況に中や多い

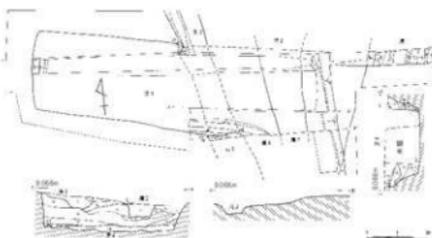
7. 黒褐色土+黄褐色土 粘り強、粘性有。黒褐色土主体に5cm以下ロームブロック。5mm以下ローム粒多く含む。

赤褐色・暗褐色の酸化土も中や多く含む

8. 黄褐色土 粘り強、粘性有。黒褐色土ベース。30cm以下ハードブロック主体

## 3. 第64地点 (2012年6月調査)

溝



- 1 表土、耕作土、暗褐色土、砂り肌  
 2 耕作土、暗褐色土、砂り肌、1～10mm ローム粒やや多く含む  
 3 溝2 暗褐色土（基）砂り肌、1～10mm 粒多く、3cm 大ロームブロック少し含む  
 4 溝2 暗褐色土（基）砂り肌、1～10mm 多、1～3cm 大ロームブロックやや多く含む  
 5 暗褐色土（基）砂り肌、1～5mm 粒多く、表面はテラチラ光る、1層とよび出る  
 6 溝3 暗褐色土（基）砂り肌、1～3mm ローム粒多く、下層は水成堆積の痕跡有り  
 7 4層に1～10mm ローム粒多量に混入  
 8 地下室 黒褐色土、砂り肌、硬い、1mm ローム粒少し、5mm 炭粒少し含む  
 9 地下室 黒褐色土（やや基）砂り肌、1～10mm 粒多く含む  
 10 地下室 褐色土、砂り肌、暗褐色土と1～10mm ローム粒の混合土  
 11 地下室 黒褐色土、砂り肌、黒褐色土と1～10mm ローム粒の混合土、1～3cm 大ロームブロック多く含む  
 12 地下室 褐色土、砂り肌、ローム主体、暗褐色土混入、壁の残ったもの  
 13 地下室 黒褐色土、砂り肌、黒褐色土と1～10mm ローム粒と1～5cm 大ロームブロックの混合土、10層より色が濃い  
 14 地下室 黒褐色土、砂り肌、1～3mm ローム粒少し含む  
 15 暗褐色土、砂り肌、硬い、1～3mm ローム粒やや多く含む  
 16 暗褐色土、砂り肌、1mm ローム粒、塊主体、暗褐色土混入  
 17 黒褐色土、砂り肌、1～10mm ローム粒多、～3cm 大ローム塊多く含む  
 18 暗褐色土、砂り肌、ローム粒・塊主体  
 19 黒褐色土、砂り肌やや有、～3cm 大ローム塊少し含む  
 20 暗褐色土、砂り肌やや有、ローム塊主体、ローム粒混入  
 21 黒褐色土、砂り肌やや有、1～5mm ローム粒多、1～3cm 大ローム塊少し含む  
 22 暗褐色土、砂り肌やや有、ローム塊主体  
 23 暗褐色土、砂り肌、1～5mm ローム粒多く含む  
 24 暗褐色土、砂り肌、1～10mm ローム粒多、1～3cm 大ローム塊少し含む  
 25 暗褐色土、砂り肌、1～10mm ローム粒多、～3cm 大ローム塊多く含む  
 26 暗褐色土、砂り肌、1～10mm ローム粒多、～3cm 大ローム塊多く含む  
 27 暗褐色土、砂り肌、1～10mm ローム粒多、～3cm 大ローム塊多く含む  
 28 暗褐色土、砂り肌、1～10mm ローム粒多、～3cm 大ローム塊多く含む  
 29 暗褐色土、砂り肌、1～10mm ローム粒多、～3cm 大ローム塊多く含む  
 30 暗褐色土、砂り肌、1～10mm ローム粒多、～3cm 大ローム塊多く含む  
 31 暗褐色土、砂り肌、1～10mm ローム粒多、～3cm 大ローム塊多く含む  
 32 暗褐色土、砂り肌、1～10mm ローム粒多、～3cm 大ローム塊多く含む

第51表 松山遺跡第64地点溝一覧表 (単位 cm)

No	断面形態	上幅	下幅	深さ	備考
溝1	V字(兼研堀)	210～235	—	160	古代～中世
溝2	U字	110～120	—	88	近世～
溝3	U字	80～155	—	110	近世～
溝4	V字(箱堀)	250～310	—	104	中世

本文中にはふれられていないが、溝2の第4層と溝4の第13層の土説に水成堆積の痕跡、硬化有りとなされている。

- 22 暗褐色土、砂り肌、5mm 大ロームブロック多多く含む  
 23 暗褐色土、砂り肌、1～3mm ローム粒少し含む  
 24 暗褐色土、砂り肌、1～3mm ローム粒やや多く含む  
 25 暗褐色土(24層と隣)砂り肌、1～3mm ローム粒多く含む  
 26 暗褐色土、砂り肌、3cm 大ロームブロック少し、1～5mm ローム粒多多く含む  
 27 黒褐色土、砂り肌、1～3mm ローム粒やや多く含む  
 28 褐色土、砂り肌、1～5mm ローム粒多多く含む  
 29 褐色土、砂り肌、1cm 大ロームブロック多、1～5mm ローム粒多多く含む  
 30 黄褐色土、砂り肌、ローム粒主体、1cm 大ロームブロック多多く含む  
 31 黄褐色土、砂り肌、ロームブロック主体  
 32 黄褐色土とロームブロックの混合土、砂り肌
- 溝4  
 1 暗褐色土、砂り肌、硬い、1～3mm ローム粒やや多く含む  
 2 黄褐色土、砂り肌、1mm ローム粒・塊主体、暗褐色土混入、暗褐色土の割合が多い  
 3 黄褐色土、砂り肌、1mm ローム粒・塊主体、暗褐色土混入、ロームの割合が多い  
 4 黄褐色土、砂り肌、1mm ローム粒・塊主体、暗褐色土混入、黒色土主体  
 5 黄褐色土、砂り肌、1～10mm ローム粒多、～3cm 大ローム塊多多く含む  
 6 黄褐色土、砂り肌やや有、ローム塊主体、ローム粒混入  
 7 褐色土、砂り肌、ソフトロームブロック多量に混入  
 8 黄褐色土(やや基)砂り肌、3～10mm ローム粒多多く含む  
 9 黄褐色土とロームと黒褐色土の混合  
 10 黒褐色土、砂り肌、3～10mm ローム粒多多く含む  
 11 黒褐色土、砂り肌、3～10mm ローム粒と～5cm 大ロームブロックの混合土  
 12 黄褐色土、砂り肌、～3cm 大ロームブロック・粒主体  
 13 暗褐色土、砂り肌、1～2cm 大ロームブロックとの混合土、ロームブロックは水成のため硬化している

第94図 松山遺跡第64地点溝 (1/160)、土層 (1/300)



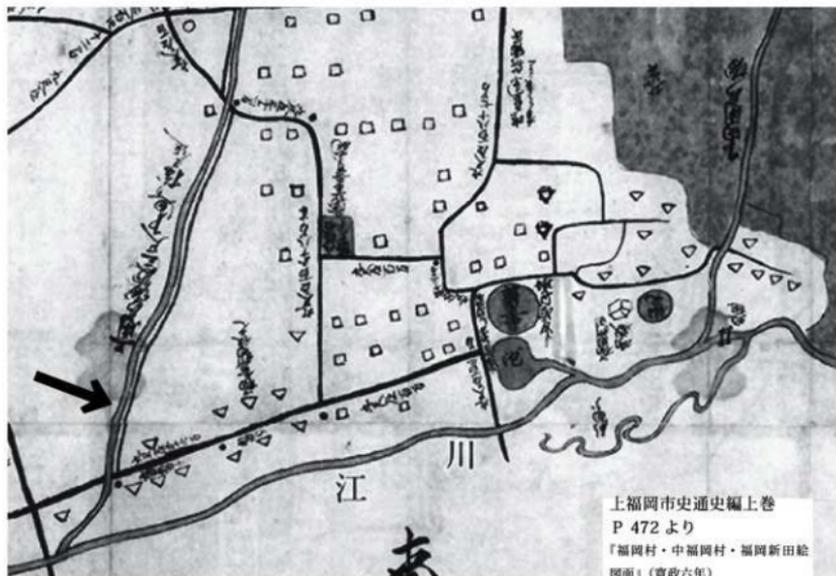
松山遺跡第64地点溝2



松山遺跡第64地点溝4

これらの溝が流滞水したとして、水を求めていたのは何処からか？用水に係る記録をここで引用する。地理的に江川および水天宮池からの引水は容易に想像つく。江川の水量については先述した。赤沼と呼ばれる水天宮池も古く江戸時代からの重要な水源地であった。

- ・『福岡村史』によると江戸期に池の水が枯れることがあったが、地下水が他へ逃げていることが判明したので厚い板を地下水路に並べて打ち込みこれを断ち切って池の方へ湧くように工事を行われたことが今に伝えられている。また、「江川を新田と駒林境でセキ止め畑の間を水路を北に通して中福岡をぬけて耕地に引き相当の用水を作っていた。用水は用が済めば江川のセキをはずすので逆流して濁水するがその逆流がもどってくるのでセキのあったところが落合と言う地名になって残っている」としている。
- ・『新編武蔵風土記稿』の福岡新田には「水田ハ少ク陸田ハ多シ本村薬王寺前ナル沼ヨリ出ル清水ヲモテ用水トナセトモヤヤモスレハ水損ノ患アリ此地元ハ芝野ナリシヲ（後略）」とある。
- ・『福岡村・中福岡村・福岡新田絵図面』（寛政六年）には江川から引いた用水堀が画かれ、「上用水堀三尺下通り拾戸迄」の文字が読める。
- ・松山遺跡は旧中福岡村に位置するが、「用水は、赤沼（薬師手洗いの池）からひいていた。」（上福岡市史通史編）





昭和 35 年頃の赤沼

右端の池のほとりに厳島神社。この池は昭和 43 年頃埋め立てられ、現在は児童公園になっている。

以上の文献からも、松山遺跡内で確認される溝状遺構は用水に供されたものが存在すると推察がつく。99 地点で確認された堀状遺構が用水堀とする決定的な根拠を有さないが、堀の底面ではないが酸化鉄層が認められ、直線的に延びると江川に合流することから、江川から引いた用水堀とみることが妥当であろう。底面標高は東で 9.20 m、西で 9.24 m と江川寄りの方が若干高い。ローム層の底面は掘り方のように凸凹が目立つ。用水堀として使用されていた段階では酸化鉄層が確認される底面上 10 ～ 15 cm まで滞水し、堀の掘削時は掘り方にみられるような荒掘りで用水を通した可能性が考えられよう。今後も、引き続きいねいな調査と使用時期の検討を重ねていくより解明の途はない。

#### 【引用・参考文献】

『上福岡市史通史編上巻』 P 472

梶原 勝 江川南遺跡及び亀久保堀跡遺跡の「堀」について『江川南遺跡Ⅱ 神明後遺跡Ⅰ』（2005 年大井町遺跡調査会報告第 16 集）

『市史調査報告書第 19 集「20 世紀を語る古写真」』2001 年

『福岡村史』

## 附編

## 駒林遺跡第37地点のテフラ分析

バリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

ふじみ野市に所在する駒林遺跡は、荒川中流域右岸に広がる武蔵野台地北部の台地平坦面上に位置する。この付近の武蔵野台地は、広くM2面(約8万年前に形成)に区分されているが、荒川低地に臨む台地縁辺部にはそれよりも一段低い立川面に相当する台地も分布している(久保,1988など)。駒林遺跡は、こうした立川面相当の台地上に位置していると考えられる。

これまでの発掘調査によって、中世の遺物包含層をその埋積層中部に有する溝跡が検出されている。本報告では、溝跡埋積層を対象として指標テフラの検出を行うことにより、溝跡の年代に関わる資料を作成する。

### 1. 試料

試料は、中世の遺物包含層の検出された溝跡の埋積層より採取された。試料の採取された溝跡には35地点および37地点がされている。図1に試料採取層位を示す。

35地点ではA-A'とC-C'の2断面が作成されている。A-A'断面では、埋積層の中部から試料番号1と2が採取され、溝底部の埋積層から試料番号3と4が採取されている。試料番号1の採取された埋積層は中世の包含層とされている。また、C-C'断面では、埋積層中部から試料番号5、埋積層下部から試料番号6、溝底部から試料番号7がそれぞれ採取されている。試料番号5の採取された埋積層が中世の包含層とされている。

37地点ではB-B'とC-C'の2断面が作成されている。B-B'断面では、埋積層の中部から試料番号1と2が採取され、埋積層の下部から試料番号3が、溝底部の埋積層から試料番号4が採取されている。C-C'断面では、埋積層中部から試料番号5、埋積層下部から試料番号6、溝底部から試料番号7がそれぞれ採取されている。

### 2. 分析方法

試料約20gを蒸発皿に取り、水を加え泥水にした状態で超音波洗浄装置により粒子を分散し、上澄みを流し去る。この操作を繰り返すことにより得られた砂分を乾燥させた後、実体顕微鏡下にて観察する。観察は、テフラの本質物質であるスコリア・火山ガラス・軽石を対象とし、その特徴や含有量の多少を定性的に調べる。火山ガラスは、その形態によりバブル型・中間型・軽石型の3タイプに分類した。各型の形態は、バブル型は薄手平板状、中間型は表面に気泡の少ない厚手平板状あるいは破砕片状などの塊状ガラスであり、軽石型は小気泡を非常に多く持った塊状および気泡の長く伸びた繊維束状のものとする。

### 3. 結果

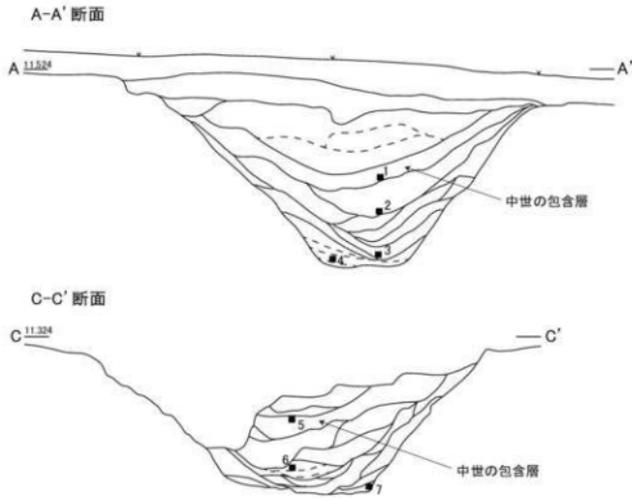
結果を表1に示す。以下に断面ごとに述べる。

#### (1)35地点

##### <A-A'断面>

スコリアは、試料番号1と2に微量、試料番号3と4に極めて微量含まれる。特徴は、いずれの試料もほぼ同様であり、最大径は1mm前後、黒色で発泡不良、黒色で発泡やや不良、褐色で発泡やや不良のスコリアが混在する。火山ガラスは、試料番号1と2に極めて微量、試料番号3と4に微量含まれる。いずれの試料も、無色透明のバブル型と無色透明の軽石型が混在する。

## 35地点



## 37地点

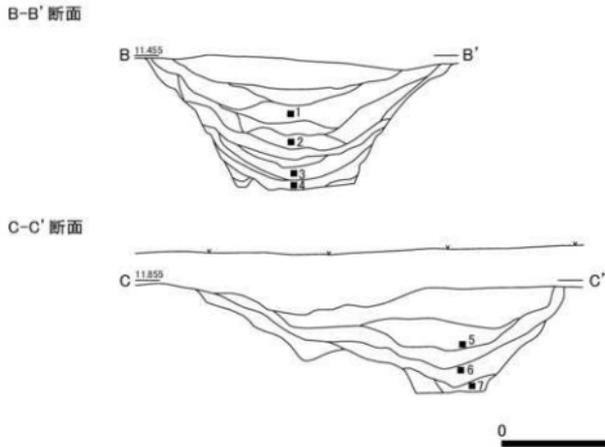


図1. 各地点における試料採取位置

軽石は、試料番号1と2に微量、試料番号3と4に極めて微量含まれる。特徴は、いずれの試料もほぼ同様であり、最大径は0.5mm前後、灰褐色を呈し、発泡はやや不良、斜方輝石の斑晶を包有するものが認められる。

< C-C' 断面 >

スコリアは、試料番号5に微量、試料番号6と7に極めて微量含まれる。火山ガラスは、3点の試料ともに極めて微量含まれる。軽石は、試料番号5に微量、試料番号6と7に極めて微量含まれる。なお、スコリア、火山ガラスおよび軽石ともに、それらの特徴は、35地点A-A'断面の試料とそれぞれほぼ同様である。

(2)37地点

< B-B' 断面 >

スコリアは、試料番号1と2に微量含まれ、試料番号3と4には含まれない。火山ガラスは、試料番号1と2に極めて微量含まれ、試料番号3と4に微量含まれる。軽石は、試料番号1と2に微量含まれ、試料番号3と4には含まれない。スコリア、火山ガラスおよび軽石ともに、それらの特徴は、35地点A-A'断面の試料とそれぞれほぼ同様である。

< C-C' 断面 >

スコリアは、3点の試料ともに微量含まれる。火山ガラスは、3点の試料ともに極めて微量含まれる。軽石は、3点の試料ともに微量含まれる。スコリア、火山ガラスおよび軽石ともに、それらの特徴は、35地点A-A'断面の試料とそれぞれほぼ同様である。

表1. テフラ分析結果

地点	断面	試料番号	量	スコリア		火山ガラス		軽石		
				色調・発泡度	最大粒径	量	色調・形態	量	色調・発泡度	最大粒径
35	A-A'	11	I(+)	B-bB'-sbBr'-sb	1.2 I(+)	I(+)	Icl-bw,cl'-pm	I(+)	GBR'-sb(opx)	0.8 I
		12	I(+)	B-bB'-sbBr'-sb	1.2 I(+)	I(+)	Icl-bw,cl'-pm	I(+)	GBR'-sb(opx)	0.8 I
		13	I(+)	B-bB'-sbBr'-sb	0.6 I(+)	I(+)	Icl-bw,cl'-pm	I(+)	GBR'-sb(opx)	0.4 I
		14	I(+)	B-bB'-sbBr'-sb	1.0 I(+)	I(+)	Icl-bw,cl'-pm	I(+)	GBR'-sb(opx)	0.6 I
		15	I(+)	B-bB'-sbBr'-sb	1.5 I(+)	I(+)	Icl-bw,cl'-pm	I(+)	GBR'-sb(opx)	0.8 I
C-C'	16	I(+)	B-bB'-sbBr'-sb	1.8 I(+)	I(+)	Icl-bw,cl'-pm	I(+)	GBR'-sb(opx)	0.5 I	
		I(+)	B-bB'-sbBr'-sb	1.2 I(+)	I(+)	Icl-bw,cl'-pm	I(+)	GBR'-sb(opx)	0.6 I	
		I(+)	B-bB'-sbBr'-sb	1.8 I(+)	I(+)	Icl-bw,cl'-pm	I(+)	GBR'-sb(opx)	0.7 I	
B-B'	12	I(+)	B-bB'-sbBr'-sb	1.6 I(+)	I(+)	Icl-bw,cl'-pm	I(+)	GBR'-sb(opx)	0.8 I	
		13	I(-)	-	I(+)	Icl-bw,cl'-pm	I(-)	-	-	-
37	C-C'	14	I(-)	-	I(+)	Icl-bw,cl'-pm	I(-)	-	-	-
		15	I(+)	B-bB'-sbBr'-sb	1.7 I(+)	I(+)	Icl-bw,cl'-pm	I(+)	GBR'-sb(opx)	0.8 I
		16	I(+)	B-bB'-sbBr'-sb	1.8 I(+)	I(+)	Icl-bw,cl'-pm	I(+)	GBR'-sb(opx)	0.8 I
		17	I(+)	B-bB'-sbBr'-sb	2.0 I(+)	I(+)	Icl-bw,cl'-pm	I(+)	GBR'-sb(opx)	0.8 I

凡例 一含まれない、(+):きわめて微量、+微量、++少量、+++中量、++++多量

B 黒色 Br 褐色 GBR 灰褐色

g 良好 sg やや良好 sb やや不良 b 不良 最大粒径はmm.

cl 無色透明 bw r/バブル型 pm 軽石型

(opx) 斜方輝石斑晶包有

#### 4. 考察

各断面で検出された火山砕屑物のうち、軽石は、前述した特徴とこれまでの周辺地域におけるテフラの確認事例等から、平安時代の天仁元年(AD1108年)に浅間火山から噴出した浅間Bテフラ(As-B:新井,1979)に由来すると判断される。

一方、軽石とほぼ同様の試料において混在するスコリアは、完新世の富士火山の活動により噴出した新期富士テフラに由来すると考えられる。新期富士テフラは、上杉(1990)により富士黒土層中のS-0から宝永スコリアのS-25まで記載されており、さらにこの中のテフラによっては細分されているものもあることから50枚近くのテフラにより構成されている。ただし、給源から離れた神奈川県東部や東京都の低地の調査例では、検出される新期富士テフラの枚数は各段に少なくなり、縄文時代後期から晩期のテフラであるS-10・11(湯船第一スコリア(Yu-1))、S-13(砂沢スコリア(Zu))、弥生時代中期頃のS-22(湯船第二スコリア(Yu-2))、古墳時代のテフラとされるS-24-1~5、平安時代延暦年間の西暦800~802年の噴火で多量のスコリアを噴出したとされているS-24-7、さらには江戸時代の宝永4年(1707年)に噴出した宝永スコリア(F-Ho)などには限定される。当社では、これまでも神奈川県

県東部や東京都の低地の調査例により、上述した各テフラの試料を得ており、それらの観察から各テフラにはスコリアの粒径や色調および発泡度や斑品の包有状況などの異なるスコリアが複数種混在しており、その混在の度合いが異なることで各テフラの特徴を把握している。今回検出されたスコリアは、その特徴と As-B と混在することから、平安時代に噴出した S-24-7 に由来する可能性が高い。

火山ガラスについては、その産状と形態的特徴から、立川ローム層中に拡散して含まれている始良 Tn テフラ (AT: 町田・新井, 1976) および立川ローム層上部ガラス質テフラ (UG: 山崎, 1978) に由来すると考えられる。

ここで溝埋積層中の各テフラ碎屑物の産状をみると、いずれの地点においても溝埋積層の中で濃集するという状況は認められない。このことから溝埋積層中から検出された各テフラの碎屑物は、溝の埋積時に噴火があって降下堆積したのではなく、溝の埋積以前に溝の周囲にあった土層中にもともと含まれていた可能性がある。すなわち、溝周囲の土層が溝内に流れ込むことによって溝埋積層中にもテフラに由来する碎屑物が含まれていると考えることができる。その場合、溝の構築はテフラの降下後であることから、溝の構築は古くとも検出されたテフラの中で最も新しいテフラである As-B の降灰より以降すなわち 12 世紀初頭以降であると考えられる。このことは中世の遺物包含層が溝内に形成されていることと矛盾しない。

#### 引用文献

- 新井房夫, 1979, 関東地方北西部の縄文時代以降の指標テフラ層, 考古学ジャーナル, 157, 41-52.  
久保純子, 1988, 相模野台地・武蔵野台地を刻む谷の地形—風成テフラを供給された名残川の谷地形—, 地理学評論, 61, 25-48.  
町田 洋・新井房夫, 1976, 広域に分布する火山灰—始良 Tn 火山灰の発見とその意義—, 科学, 46, 339-347.  
上杉 陽, 1990, 富士火山東方地域のテフラ標準柱状図—その 1: S-25 ~ Y-114—, 関東の四紀, 16, 3-28.  
山崎晴雄, 1978, 立川断層とその第四紀後期の運動, 第四紀研究, 16, 231-246.





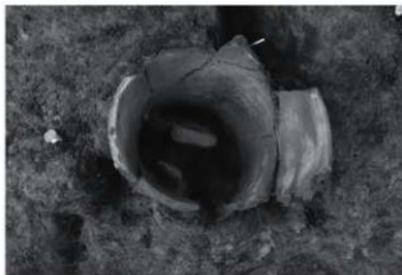
ハケ遺跡第 24 地点 J36 号住居跡完掘



ハケ遺跡第 24 地点 J36 号住居跡集石土坑検出



ハケ遺跡第 24 地点 J36 号住居跡・集石土坑完掘



ハケ遺跡第 24 地点 J36 号住居跡埋裏



ハケ遺跡第 24 地点本調査風景



ハケ遺跡第 24 地点堅穴遺構



ハケ遺跡第 24 地点土坑 1



ハケ遺跡第 24 地点土坑 2



ハケ遺跡第 24 地点ビット 1



ハケ遺跡第 24 地点ビット 2



ハケ遺跡第 24 地点ビット 3



ハケ遺跡第 24 地点ビット 4



ハケ遺跡第 24 地点ビット 5



ハケ遺跡第 24 地点ビット 6



ハケ遺跡第 24 地点ビット 7・8



ハケ遺跡第 24 地点ビット 9



ハケ遺跡第 24 地点ビット 10



ハケ遺跡第 24 地点ビット 12



ハケ遺跡第 24 地点ビット 13・14



ハケ遺跡第 24 地点集石土坑検出状況



ハケ遺跡第 24 地点集石土坑完掘



ハケ遺跡第 24 地点トレンチ 1



ハケ遺跡第 24 地点トレンチ 2



ハケ遺跡第 24 地点トレンチ 2



ハケ遺跡第 24 地点トレンチ 3



ハケ遺跡第 24 地点トレンチ 5



ハケ遺跡第 24 地点トレンチ 6



ハケ遺跡第 24 地点トレンチ 7



ハケ遺跡第 24 地点トレンチ 8



ハケ遺跡第 24 地点トレンチ 9



ハケ遺跡第 24 地点試掘調査風景



ハケ遺跡第 24 地点本調査風景

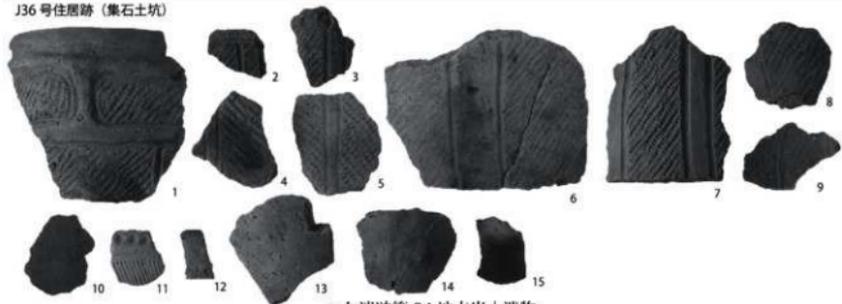


ハケ遺跡第 24 地点博物館実習

## J36 号住居跡



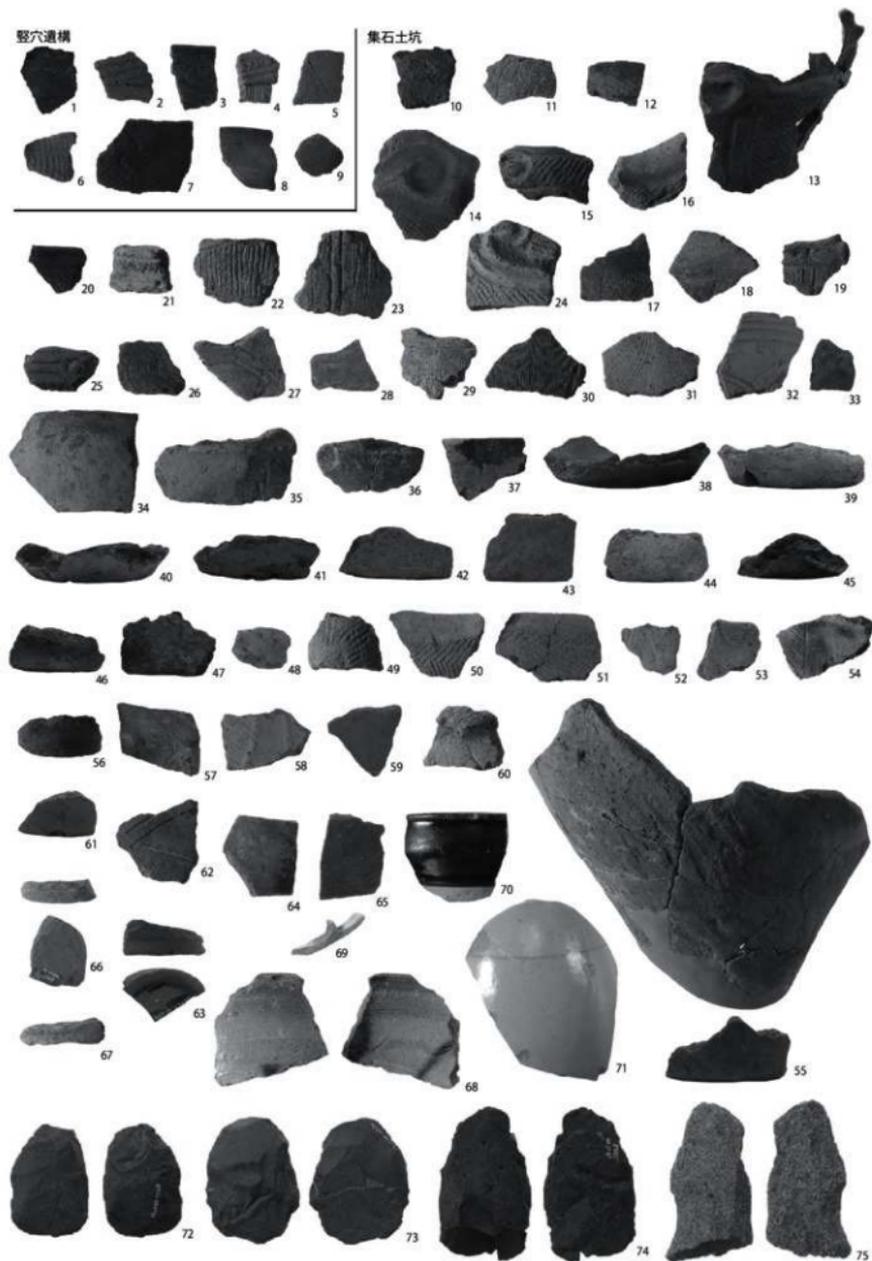
## J36 号住居跡 (集石土坑)

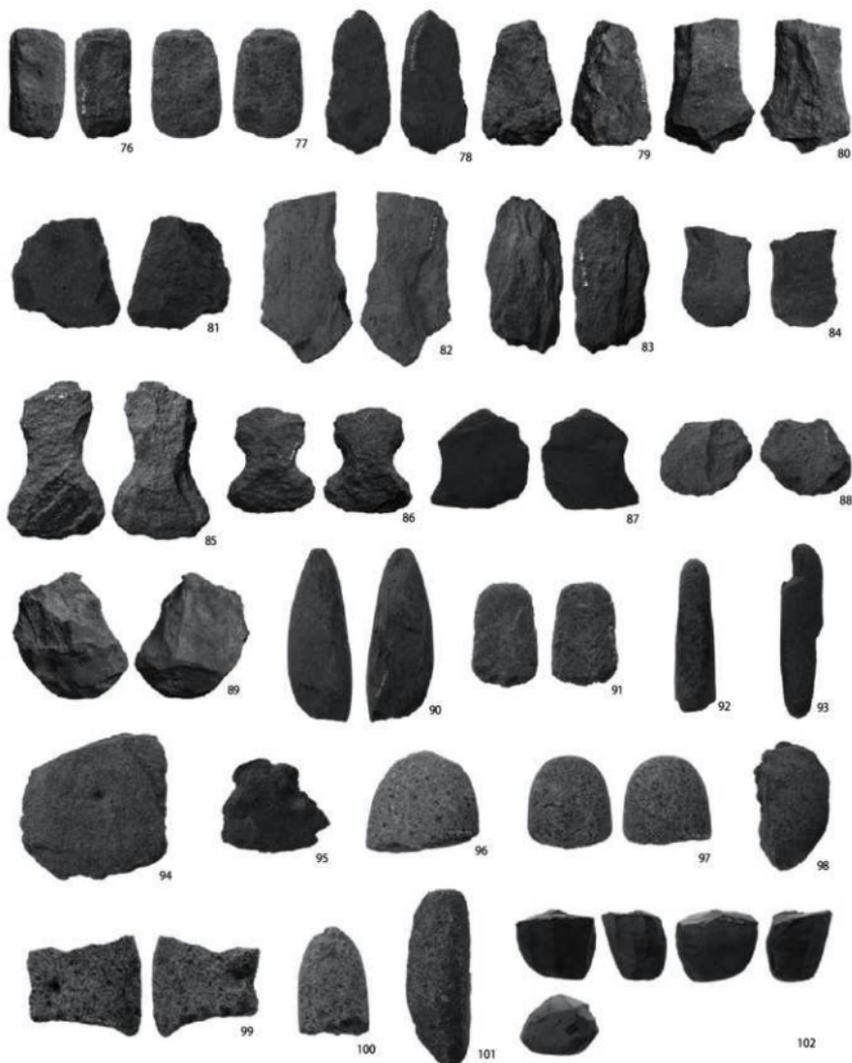


ハケ遺跡第 24 地点出土遺物

整穴遺構

集石土坑





土坑 1



土坑 2



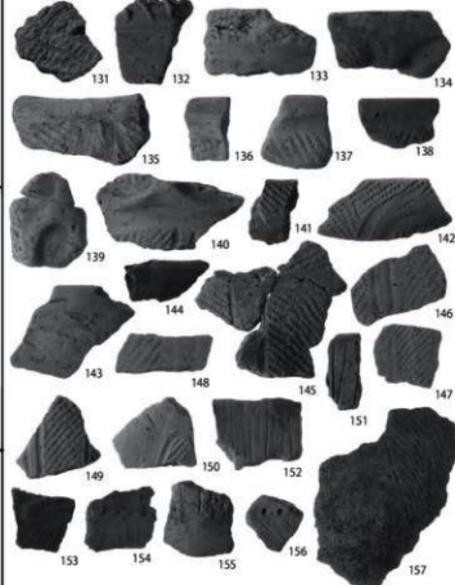
ビット 1



ビット 2



ビット 3



ビット 11



ビット 12



遺構外



ハケ遺跡第 24 地点出土遺物



松山遺跡第 99 地点試掘調査風景



松山遺跡第 99 地点試掘調査風景



松山遺跡第 99 地点試掘調査風景



松山遺跡第 99 地点本調査風景



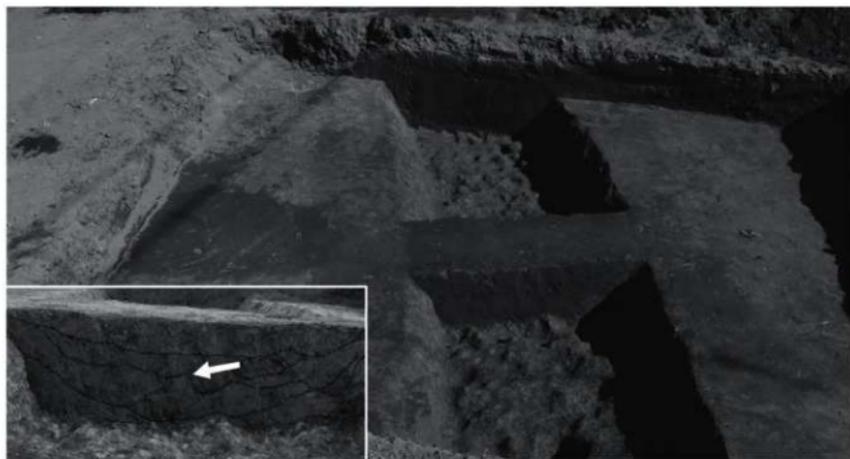
松山遺跡第 99 地点堀状遺構プラン確認



松山遺跡第 99 地点堀状遺構調査風景



松山遺跡第 99 地点堀状遺構調査風景



掘状遺構土層 (矢印が酸化鉄)

松山遺跡第 99 地点掘状遺構全景 (西より)



松山遺跡第 99 地点掘状遺構作業風景と底面掘方



松山遺跡第 99 地点掘状遺構底面ピット



松山遺跡第 99 地点掘状遺構ベルト土層サンプリング風景



松山遺跡第 99 地点出土遺物



駒林遺跡第 35 地点土坑 1



駒林遺跡第 35 地点土坑 2



駒林遺跡第 35 地点掘跡土層



駒林遺跡第 35 地点掘跡完掘



駒林遺跡第 35 地点掘跡完掘 2



駒林遺跡第 35 地点溝 1・4



駒林遺跡第 35 地点溝 2



駒林遺跡第 35 地点溝 3



駒林遺跡第 35 地点トレンチ 1



駒林遺跡第 35 地点トレンチ 2



駒林遺跡第 35 地点トレンチ 3



駒林遺跡第 35 地点トレンチ 4



駒林遺跡第 35 地点トレンチ 5



駒林遺跡第 35 地点トレンチ 6



駒林遺跡第 35 地点トレンチ 7



駒林遺跡第 35 地点トレンチ 8



駒林遺跡第 35 地点トレンチ 9



駒林遺跡第 35 地点トレンチ 10・11



駒林遺跡第 35 地点試掘調査風景



駒林遺跡第 35 地点本調査風景 1



駒林遺跡第 35 地点本調査風景 2



駒林遺跡第 35 地点土壌サンプル採取位置 1



駒林遺跡第 35 地点土壌サンプル採取位置 2



駒林遺跡第 35 地点出土遺物



駒林遺跡第 37 地点堀跡完掘



駒林遺跡第 37 地点試掘調査風景



駒林遺跡第 37 地点堀跡北側



駒林遺跡第 37 地点堀跡内ピット群



駒林遺跡第 37 地点堀跡土層



駒林遺跡第 37 地点溝

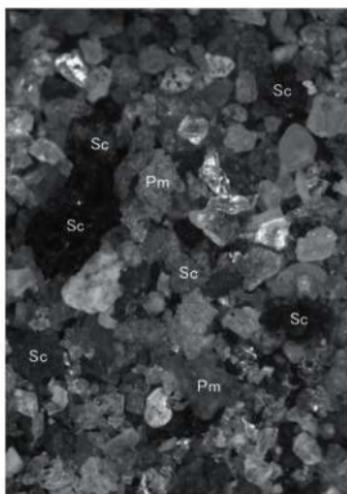


駒林遺跡第 37 地点トレンチ 2

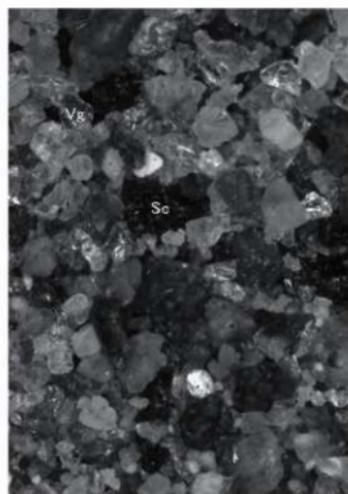


駒林遺跡第 37 地点トレンチ 9

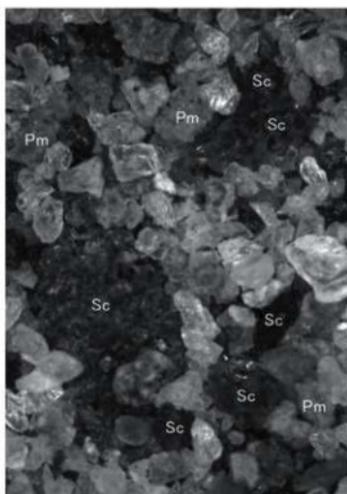
図版1 テフラ・砂分の状況



1. スコリアと軽石(35地点:1)



2. 砂分の状況(35地点:4)



3. スコリアと軽石(37地点:1)



4. 砂分の状況(37地点:4)

Pm: 軽石, Vg: 火山ガラス, Sc: スコリア.

1. 0mm	0.5mm
1, 3	2, 4



駒林遺跡第 37 地点試掘調査風景



駒林遺跡第 37 地点本調査風景 1



駒林遺跡第 37 地点本調査風景 2

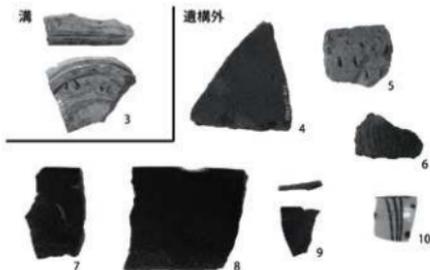
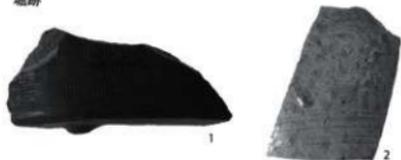


駒林遺跡第 37 地点土壌サンプル採取位置



駒林遺跡第 37 地点調査風景 3

堀跡



駒林遺跡第 37 地点出土遺物



東久保南遺跡第 43 地点 J3 号住居跡



東久保南遺跡第 43 地点 J3 号住居跡炉



東久保南遺跡第 43 地点 J3 号住居跡遺物出土状況



東久保南遺跡第 43 地点ピット 8



東久保南遺跡第 43 地点トレンチ 1



東久保南遺跡第 43 地点トレンチ 2



東久保南遺跡第 43 地点トレンチ 3



東久保南遺跡第 43 地点試掘調査坑検出状況



東久保南遺跡第 43 地点試掘調査風景

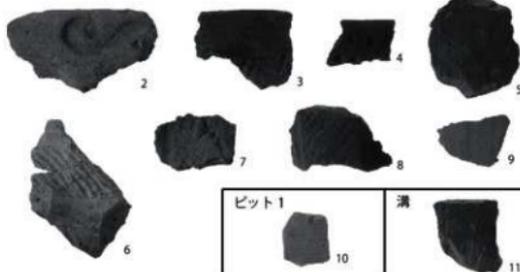


東久保南遺跡第 43 地点調査風景

J3 号住居跡



1



遺構外



12

東久保南遺跡第 43 地点出土遺物



西ノ原遺跡第 158 地点 61 号住居跡完掘



西ノ原遺跡第 158 地点 61 号住居跡炉



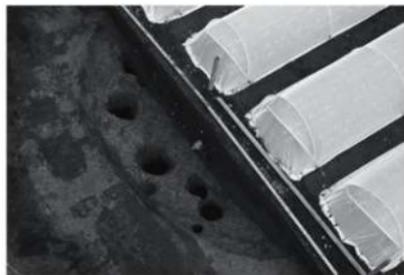
西ノ原遺跡第 158 地点 61 号住居跡遺物出土状況 1



西ノ原遺跡第 158 地点 61 号住居跡遺物出土状況 2



西ノ原遺跡第 158 地点 61 号住居跡調査風景



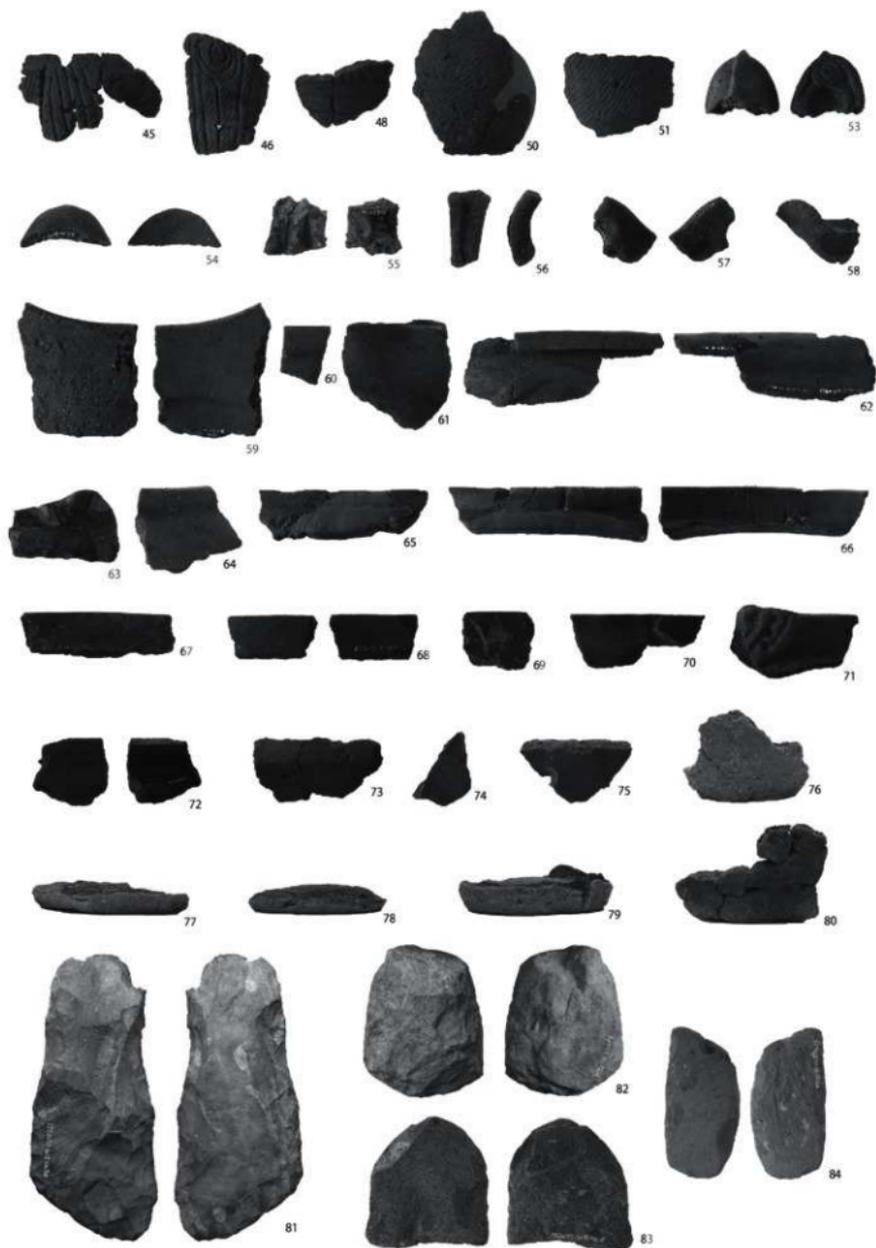
西ノ原遺跡第 158 地点 61 号住居跡完掘 (1991 年調査時)



西ノ原遺跡第 158 地点 61 号住居跡出土状況 (1991 年調査時)



西ノ原遺跡第 158 地点 61 号住居跡出土遺物



西ノ原遺跡第 158 地点 61 号住居跡出土遺物



西ノ原遺跡第 158 地点 62 号住居跡完掘 1



西ノ原遺跡第 158 地点 62 号住居跡完掘 2



西ノ原遺跡第 158 地点 62 号住居跡研完掘



西ノ原遺跡第 158 地点 62 号住居跡焼土 1



西ノ原遺跡第 158 地点 62 号住居跡焼土 2



西ノ原遺跡第 158 地点 62 号住居跡炭化物範囲



西ノ原遺跡第 158 地点 62 号住居跡遺物出土状況 1



西ノ原遺跡第 158 地点 62 号住居跡遺物出土状況 2



西ノ原遺跡第 158 地点 62 号住居跡出土遺物①





西ノ原遺跡第 158 地点 194 号住居跡完掘 1



西ノ原遺跡第 158 地点 194 号住居跡完掘 2



西ノ原遺跡第 158 地点 194 号住居跡炉 1



西ノ原遺跡第 158 地点 194 号住居跡炉 2



西ノ原遺跡第 158 地点 194 号住居跡出土遺物





西ノ原遺跡第 158 地点 196 号住居跡完掘 1



西ノ原遺跡第 158 地点 196 号住居跡完掘 2



西ノ原遺跡第 158 地点 196 号住居跡完掘 3



西ノ原遺跡第 158 地点 196 号住居跡炉 1



西ノ原遺跡第 158 地点 196 号住居跡炉 2



西ノ原遺跡第 158 地点 196 号住居跡遺物出土状況 1



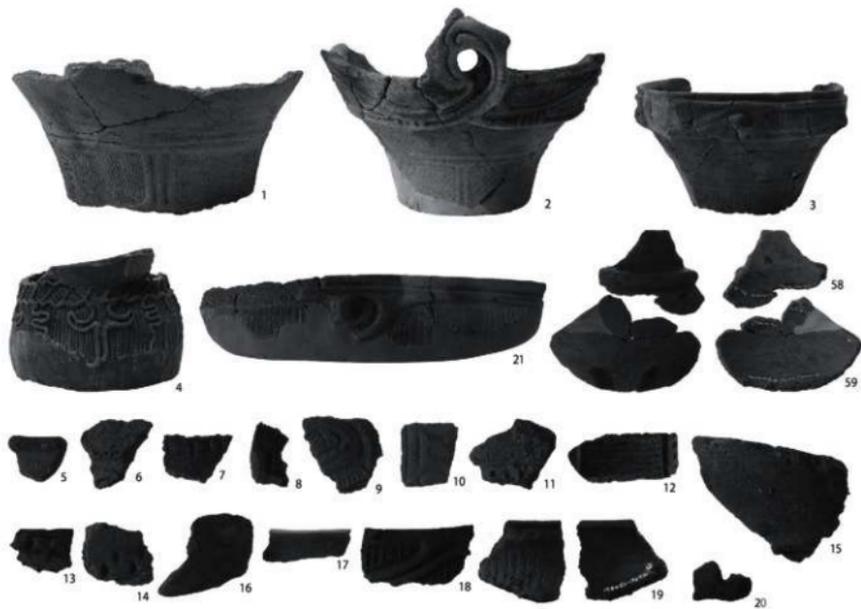
西ノ原遺跡第 158 地点 196 号住居跡遺物出土状況 2



西ノ原遺跡第 158 地点 196 号住居跡遺物出土状況 3



西ノ原遺跡第 158 地点 196 号住居跡耳栓出土状況



西ノ原遺跡第 158 地点 196 号住居跡出土遺物①





西ノ原遺跡第 158 地点 197 号住居跡完掘 1



西ノ原遺跡第 158 地点 197 号住居跡完掘 2



西ノ原遺跡第 158 地点 197 号住居跡炉



西ノ原遺跡第 158 地点 197 号住居跡炉掘方



西ノ原遺跡第 158 地点 197 号住居跡遺物出土状況



西ノ原遺跡第 158 地点 197 号住居跡出土遺物



西ノ原遺跡第 158 地点 198 号住居跡完掘 1



西ノ原遺跡第 158 地点 198 号住居跡完掘 2



西ノ原遺跡第 158 地点 198 号住居跡炉



西ノ原遺跡第 158 地点 198 号住居跡炉掘方



西ノ原遺跡第 158 地点 198 号住居跡遺物出土状況



西ノ原遺跡第 158 地点 198 号住居跡出土遺物



西ノ原遺跡第 158 地点 199・204 号住居跡完掘 1



西ノ原遺跡第 158 地点 199・204 号住居跡完掘 2



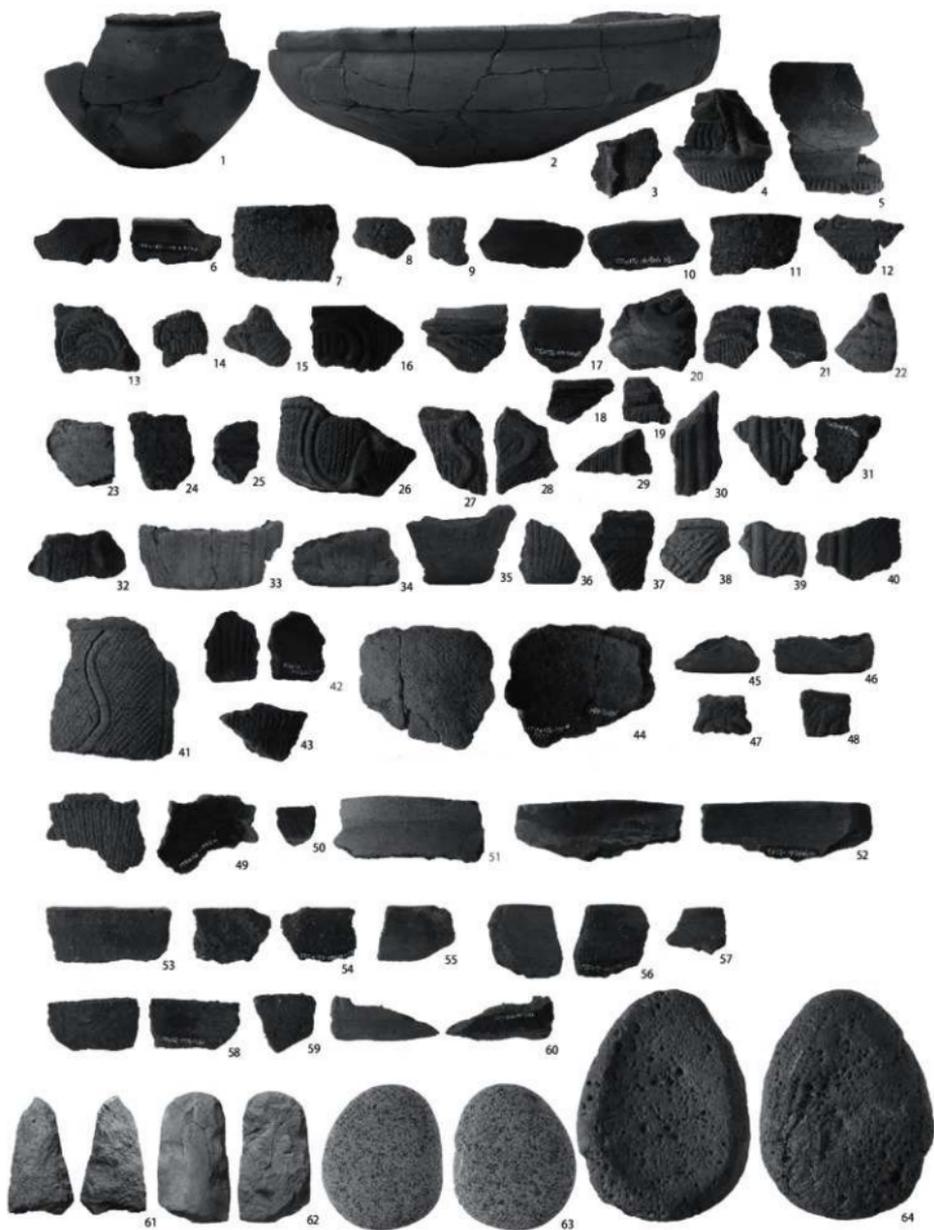
西ノ原遺跡第 158 地点 199 号住居跡炉



西ノ原遺跡第 158 地点 199 号住居跡遺物出土状況 1



西ノ原遺跡第 158 地点 199 号住居跡遺物出土状況 2

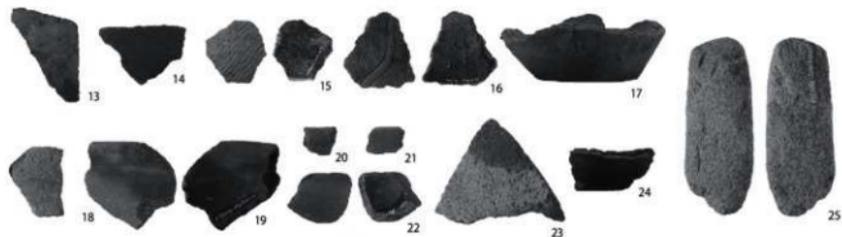
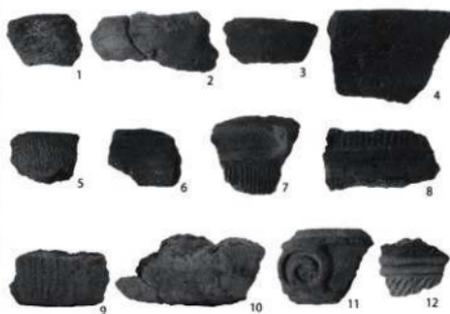




西ノ原遺跡第 158 地点 204 号住居跡完掘



西ノ原遺跡 158 地点 204 号住居跡遺物出土状況



西ノ原遺跡第 158 地点 204 号住居跡出土遺物



西ノ原遺跡第 158 地点 200 号住居跡完掘 1



西ノ原遺跡第 158 地点 200 号住居跡炉 1



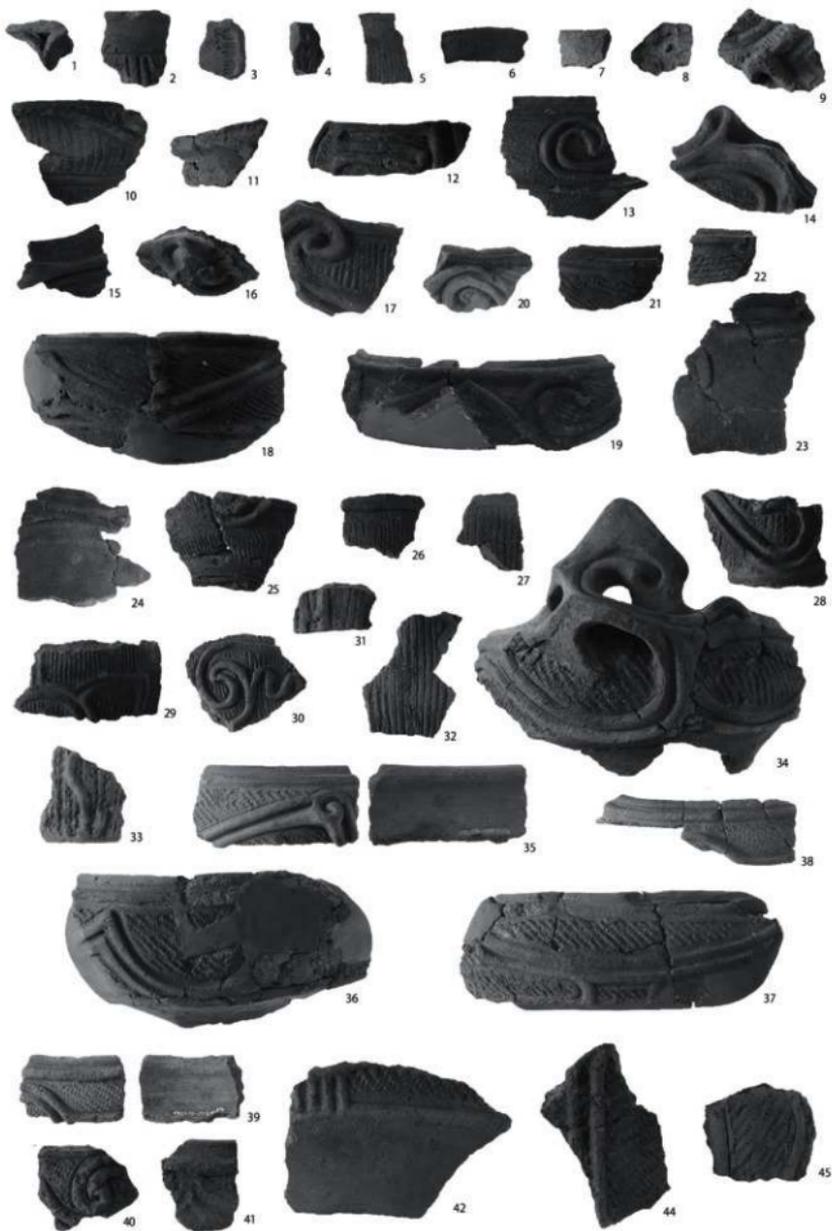
西ノ原遺跡第 158 地点 200 号住居跡炉 2



西ノ原遺跡第 158 地点 200 号住居跡遺物出土状況



西ノ原遺跡第 158 地点 200 号住居跡調査風景



西ノ原遺跡第 158 地点 200 号住居跡出土遺物①



西ノ原遺跡第 158 地点 200 号住居跡出土遺物②



西ノ原遺跡第 158 地点 201 号住居跡完掘



西ノ原遺跡第 158 地点 201 号住居跡炉



西ノ原遺跡第 158 地点 201 号住居跡出土遺物



西ノ原遺跡第 158 地点 203 号住居跡完掘 1



西ノ原遺跡第 158 地点 203 号住居跡完掘 2



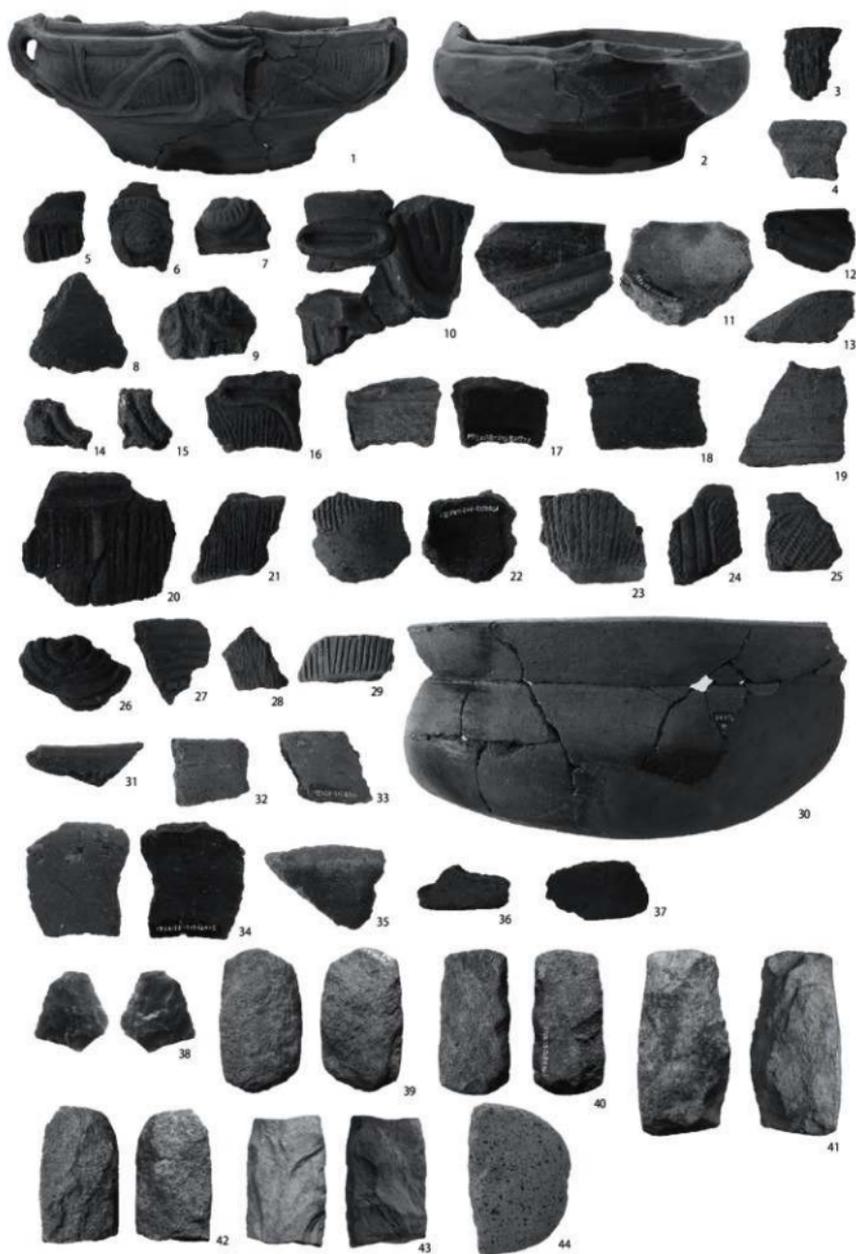
西ノ原遺跡第 158 地点 203 号住居跡完掘 3



西ノ原遺跡第 158 地点 203 号住居跡炉



西ノ原遺跡第 158 地点 203 号住居跡作業風景



西ノ原遺跡第158地点203号住居跡出土遺物



西ノ原遺跡 158 地点 216 号住居跡完掘 1



西ノ原遺跡第 158 地点 216 号住居跡完掘 2



西ノ原遺跡第 158 地点 216 号住居跡炉 A

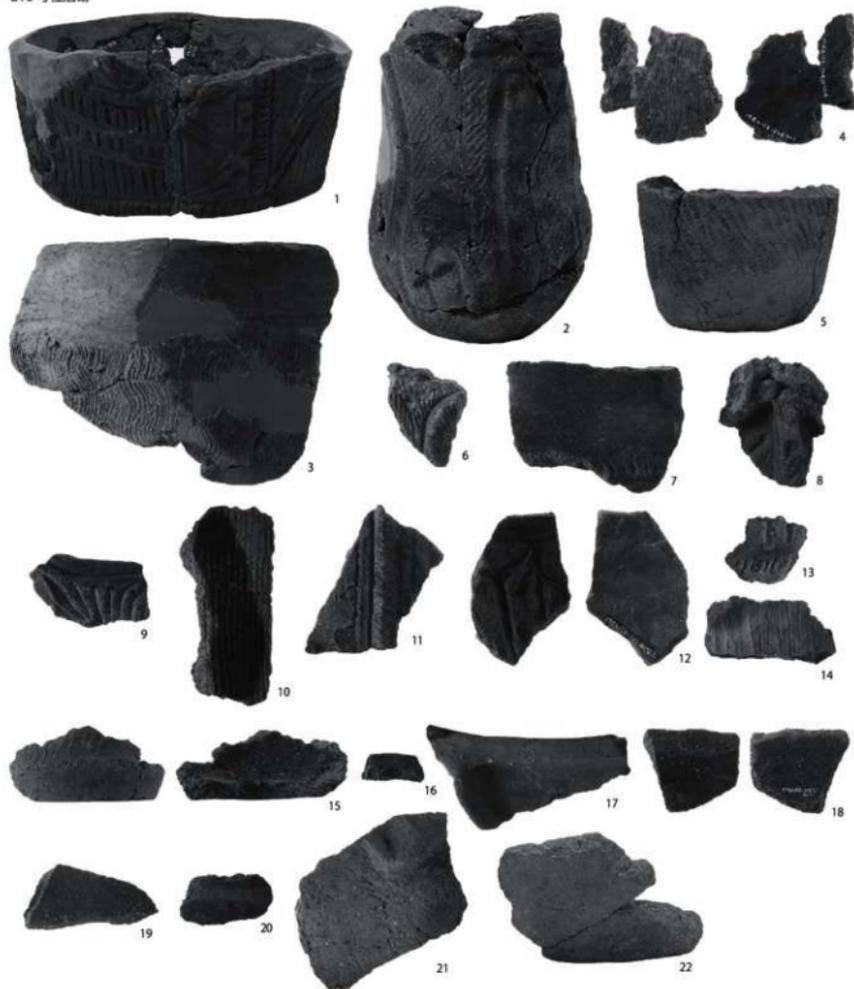


西ノ原遺跡第 158 地点 216 号住居跡炉 B 掘方



西ノ原遺跡第 158 地点 216 号住居跡炉 B 完掘

## 216 号住居跡



## 掘り込み遺構

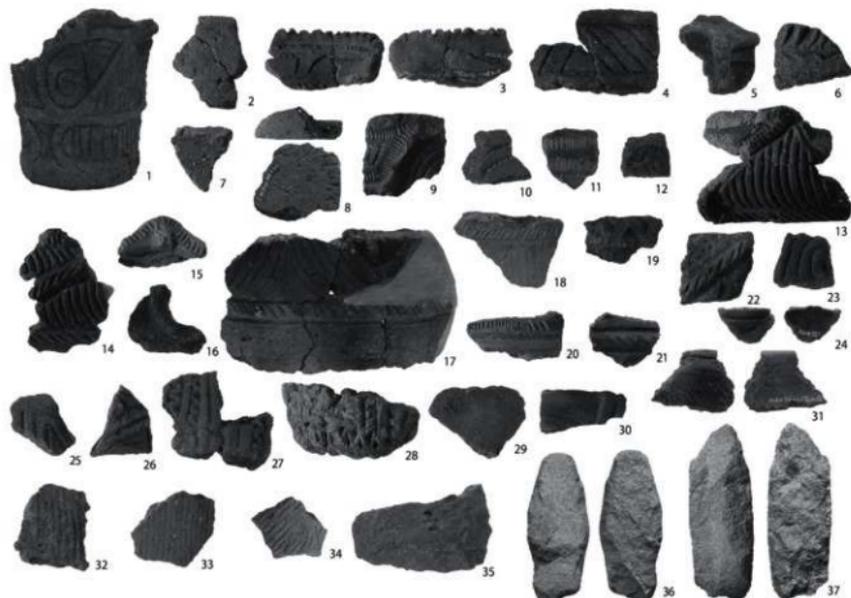




西ノ原遺跡第 158 地点竪穴遺構完掘



西ノ原遺跡第 158 地点竪穴遺構遺物出土状況



西ノ原遺跡第 158 地点竪穴遺構出土遺物



西ノ原遺跡第 158 地点土坑 1



西ノ原遺跡第 158 地点土坑 3



西ノ原遺跡第 158 地点土坑 4



西ノ原遺跡第 158 地点ピット 1



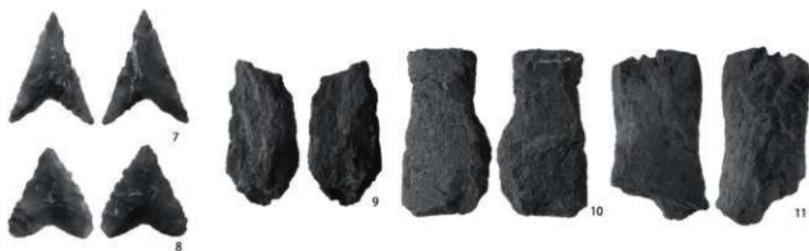
西ノ原遺跡第 158 地点ピット 2～5



西ノ原遺跡第 158 地点ピット 6



西ノ原遺跡第 158 地点ピット 7



西ノ原遺跡第 158 地点遺構外出土遺物

## 報告書抄録

書名	市内遺跡群23	シリーズ名	ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第24集			
編集者	岡崎裕子	著者	岡崎裕子、鎌田翔、長谷川義行、坪田幹男			
編集機関	ふじみ野市教育委員会	所在地	〒356-8501 ふじみ野市福岡一丁目1番1号 TEL. 049 (261) 2611			
発行日	2019年(平成31年)3月29日					
所収遺跡地点名	所在地	市町村コード	北緯	調査開始	調査原因	
		遺跡コード	東経	調査終了	調査面積 ㎡	調査担当者
種別/主な時代/主な遺構/主な遺物						
特記事項						
ハケ遺跡第24地点	埼玉県ふじみ野市福岡三丁目 1178-1、1179-1、1180-1、 1181-1、2066-2、2067	112453	35° 53' 03"	20170719	63.75	宅地造成
		25-005	139° 31' 21"	20170807		岡崎裕子・鎌田翔
	集落跡/縄文時代/縄文時代住居跡1軒・集石土坑1基・竪穴遺構1基・土坑2基・ピット14基/近代/集石土坑1基/縄文土器・須恵器・陶磁器					
確認された縄文時代住居跡は、当地域の縄文時代の集落形成を考える上で貴重である。						
松山遺跡第99地点	埼玉県ふじみ野市仲二丁目4-2	112453	35° 52' 20"	20190111	33.8	分譲住宅
		25-010	139° 32' 02"	20190122		岡崎裕子・坪田幹男
	集落跡/中近世以降/掘状遺構1本・ピット5基/陶磁器・ガラス瓶					
中近世とみられる掘状遺構は、当地域の中世集落の有り方を考える上で貴重である。						
駒林遺跡第35地点	埼玉県ふじみ野市新駒林三丁目 709-1-4、710-1・2	112453	35° 52' 11"	20170727	294	宅地造成
		25-013	139° 31' 37"	20170904		岡崎裕子・鎌田翔
	集落跡/中近世/堀跡1本・土坑2基・溝4条/縄文土器・砥石・凹石・掘跡					
中世とみられる堀跡は、当地域における中世集落を考える上で貴重である。						
駒林遺跡第37地点	埼玉県ふじみ野市新駒林二丁目 216-1、217-1	112453	35° 52' 08"	20180305	180	店舗
		25-013	139° 31' 41"	20180316		岡崎裕子・鎌田翔
	集落跡/中近世/堀跡1本・堀内ピット47基/瓦質土器・陶磁器・縄文土器・泥面子・砥石					
中世とみられる堀跡は、当地域における中世集落を考える上で貴重である。						
東久保南遺跡第43地点	埼玉県ふじみ野市ふじみ野四丁目 11-2・7	112453	35° 51' 29"	20171101	22.5	共同住宅
		30-032	139° 31' 03"	20171115		岡崎裕子・鎌田翔
	集落跡/縄文時代/縄文時代住居跡1軒・ピット/近代/溝/縄文土器					
確認された縄文時代住居跡は、当地域の集落範囲を知る上で貴重である。						
西ノ原遺跡第158地点	埼玉県ふじみ野市旭一丁目15-6 の一部	112453	35° 50' 57"	20170404	700	共同住宅
		30-001	139° 31' 05"	20140718		岡崎裕子・鎌田翔
	集落跡/縄文時代/縄文時代住居跡12軒・竪穴遺構1基・掘り込み遺構1基・土坑4基・ピット8基/縄文土器・石器・耳栓					
確認された縄文時代住居跡は、当地域の集落範囲及び集落形成を知る上で貴重である。						

---

ふじみ野市埋蔵文化財調査報告 第24集

埼玉県ふじみ野市 市内遺跡群 23

2019年3月20日印刷

2019年3月29日発行

発行 ふじみ野市教育委員会

〒356-8501 埼玉県ふじみ野市福野一丁目1番1号

TEL 049-261-2611

FAX 049-261-5100

印刷 関東図書株式会社

---